

14.5-187



1200501215184

14.5

187

畜產彙纂
第四四號

萬國家禽會議

第四回

農林省畜產局編



始



畜產彙纂第四四號

第四回萬國家禽會議

農
林
省
畜
產
局

14.5-187

凡例

本編ハ昭和五年英國ニ於テ開催セラレタル萬國家
禽會議ニ出席シタル畜産試験場技師木村和誠ノ復
命書ニシテ本邦養鶏業ノ發達上裨益スルトコロ尠
カラザルベキヲ以テ參考資料トシテ印刷ニ附セリ

昭和六年五月

農林省畜産局

第四回萬國家禽會議

目次

緒言.....	第一頁
第一會議.....	一頁
(一) 名稱.....	一頁
(二) 會期.....	一頁
(三) 會場.....	一頁
(四) 主催者.....	二頁
(五) 贊同國.....	二頁
(六) 役員.....	二頁
(七) 會議概況.....	三頁
一、會員.....	三頁
二、各國提出ノ報文.....	四頁



第四回萬國家禽會議
 目錄
 緒言
 第一會議
 (一) 名稱
 (二) 會期
 (三) 會場
 (四) 主催者
 (五) 贊同國
 (六) 役員
 (七) 會議概況
 一、會員
 二、各國提出ノ報文

農林部畜產司

二

三、會議日程……………七

四、會議經過……………八

五、次期會議開催地其ノ他……………一五

第二展覽會……………一五

概説……………一五

(一) 列國ノ出陳……………一七

(二) 商品ノ出陳……………二六

(三) 動物ノ出陳……………二八

(四) 其ノ他ノ出陳並活動寫眞……………三四

(五) 餘興設備……………三九

第三 視察旅行……………四一

附 第四回萬國家禽會議報文要旨……………四七

緒 言

第四回萬國家禽會議ハ萬國家禽學會主唱ノ下ニ英國政府ニ依リ組織開催セラレ其ノ目的タル(一)養鶏業ノ進歩發達ニ干與スル當事者ノ會合ニヨリ國際的交誼ノ親厚ヲ期シ(二)斯業各般ノ問題ニ關シ世界各國ニ於ケル最新最善ノ知見ヲ蒐集シ(三)報文ノ發表及討議ニヨリ又列國ノ參考出陳ニヨリ養鶏ニ關スル研究、教育、經濟等各方面ニ於ケル改善進歩ヲ助長シ(四)廣ク列國ニ於ケル優良ナル純粹家禽ノ出陳ニヨリ各國ニ於ケル家禽改良ノ促進ヲ圖リ(五)養鶏業ニ關スル各種商品ノ展示ニヨリ斯業所要品ノ交易ヲ刺戟スルニアリ、而シテ本會議ハ三ヶ年毎ニ開催セラル、例ニシテ第一回ハ和蘭國ヘーグ(一九二一年)、第二回ハ西班牙國バルセロナ(一九二四年)、第三回ハ加奈陀オタワ(一九二七年)ニ開催セラレタル第四回目ナリトス

第一 會 議

(一) 名 稱 第四回萬國家禽會議(The Fourth World's Poultry Congress)

(二) 會 期 一九三〇年七月二二日ヨリ同三〇日ニ至ル九日間

(三) 會 場 英國倫敦クリスタルパレス

(四) 主催者 萬國家禽學會 (World's Poultry Science Association)

英國農漁省、蘇格蘭農務局及北愛蘭農務省

(五) 贊同國 六十一ヶ國

役員

名譽總裁 英國皇帝陛下、同皇后陛下、同皇太子殿下

總裁 英國農漁大臣、蘇格蘭國務長官、北愛蘭農務大臣

副總裁 首席以下七名

首席副總裁 (第四回萬國家禽會議會長)

萬國家禽學會會頭 エフ、シー、エルフォード (加奈陀)

特別委員 委員長以下九名

委員長 農漁省事務次官 サー、チャールズ、ジェー、ハウエル、トーマス

副委員長 農漁省首席書記官 エイチ、イー、デニール

事務總長 農漁省家禽課長 ビー、エー、フランシス

幹事長 農漁省 ヴィ、イー、ウィルキンス

猶英國ニ於テハ中央ニ於ケル右特別委員ノ外全國ニ亘リ十六部長及二百五十七名ノ委員ヨリ

成ル實行委員會ヲ組織シ特別委員ト連繫シテ夫々事務ヲ分擔遂行スルコトトセリ

列國代表委員 主催國以外ノ贊同國中十九ヶ國ニ於テハ各委員長及數名乃至二十餘名ノ委員 (委

員長二十二名、委員二百二名) ヲ舉ゲ會議事務ノ處理ニ當ラシメタリ

而シテ本會議ノ開催進捗ニ關スル特別實行幹部トシテハ上記事務總長フランシス氏及幹事長ウィ

ルキンス氏ノ下ニ副幹事長、幹事、幹事補助等十三名ヲ配置シ會議、婦人會員、營繕、通報及宣

傳、動物陳列及販賣、視察旅行並ニ列國出陳、映畫フィルム番組、會員整理及接待、商品陳列、

印刷及撮映等ニ關スル事務ヲ分擔處理スルコトトセリ

(七) 會議概況

一、會 員 主催國以外ノ贊同各國ヨリ派遣セラレタル各國代表員 (Official delegates) ハ百六十名

ニシテ五名以上ヲ派遣セルハ加奈陀 (二〇名)、北米合衆國 (一八名)、佛蘭西 (一二名)、獨逸 (一

一名)、和蘭 (一名)、伊太利 (九名)、丁抹 (七名)、愛蘭自由國 (七名)、濠洲 (七名)、白耳義 (六

名)ノ諸國 (計一〇八名) トス而シテ本邦ヨリ出席セル代表員ハ畜産試驗場技師木村和誠、農林技

師米田富、種鶏場技師近藤次郎彦ノ三名ニシテ外ニ通常會員トシテ登録セルモノ四名トス

次ニ主催國、加奈陀、北米合衆國及歐米各國ヨリ參加セル一般會員 (Members) ハ前記代表員ヲ合

シテ實ニ二千三百名ノ多數ニ上リ農業關係ノ斯種會議トシテハ殆ド未曾有ノ盛況ヲ呈セリ試ニ主

國別	部別						計
	第一部	第二部	第三部	第四部	第五部	第六部	
白耳義	—	—	—	—	—	—	—
ブルガリヤ	—	—	—	—	—	—	—
加奈陀	—	—	—	—	—	—	—
丁抹	—	—	—	—	—	—	—
蘭佛西	—	—	—	—	—	—	—
獨逸	—	—	—	—	—	—	—
大英國及北愛蘭	—	—	—	—	—	—	—
希臘	—	—	—	—	—	—	—
希臘	—	—	—	—	—	—	—
印度	—	—	—	—	—	—	—
愛蘭自由國	—	—	—	—	—	—	—
伊太利	—	—	—	—	—	—	—
日本	—	—	—	—	—	—	—
和蘭	—	—	—	—	—	—	—
波蘭	—	—	—	—	—	—	—
荷蘭	—	—	—	—	—	—	—
南阿弗利加	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—

要各國ノ參加會員概數ヲ舉グレバ左ノ如シ
 英蘭及威爾斯一、二〇〇名、蘇格蘭一〇〇名、北愛蘭一〇〇名、北米合衆國及加奈陀四八〇名、愛蘭自由國一四〇名、獨逸五〇名、伊太利四〇名、丁抹三〇名、佛蘭西三〇名、西班牙三〇名、其ノ他諸國二〇〇名

二、各國提出ノ報文 贊同各國ヨリ本會議ニ提出セラレタル報文ハ總數三百餘種ニシテ内探擇發表セラレタルモノ百五十六種トス而シテ右報文ハ其ノ要旨「附」ノ通りニシテ左記五部ニ類別セラレ後記ノ日程ニヨリ順次發表セラレタリ(外ニ第六部トシテ家兔ヲ別ツ)

- A 第一部 蕃殖及孵卵 二九種
- B 第二部 榮養及育成 二五種
- C 第三部 疾病及其ノ防遏 三二種
- D 第四部 經濟竝ニ取引 三〇種
- E 第五部 教育及一般 三一種
- F 第六部 家兔 九種

右各國提出ノ報文ヲ國別部別ニ表示スレバ左ノ如シ

計 一五六種

計	萬國農事協會	北米合衆國	瑞 西 瑞 班 牙 典
二九	八	二	
二五	九		一
三二	八		
三〇	一〇		
三一	三	二	
九			
一五六	一	三八	二二一

猶當初本邦ヨリ提出セル報文ハ十種ニシテ内本會議ニ發表セラレタルモノ五種、會議報告書ニ發表セラレベキモノ一種ハ左記ノ如シ

- 一 白色レグホーン種ノ産卵能力増進ニ關スル蕃殖試験(第一部)
農林省畜産試験場 木村和誠
- 一 鶏精子ノ體外ニ於ケル生存期間ニ就テ(第一部)
東京帝國大學農學部 石川兵三郎
- 一 養鶏飼料ノ蛋白質補給材料トシテノ大豆粕(第二部)
農林省畜産試験場 鈴木幸三、波多野正
- 一 鶏蛔虫ノ一種ヘテラキス、ヅエジキュラーリスノ發育及盲腸壁

ニ發見スル寄生性結節ノ性状ニ就テ(第三部)

- 一 日本鶏種(第五部)
東京帝國大學農學部 板垣四郎
東京帝國大學農學部 衣川義雄
- 一 日本農家ニ於ケル養鶏經濟ノ實地調査
農林省畜産試験場 木村和誠、後藤千代三

以上會議報告書ニ發表セラレベキ分

三、會議日程 會議ハ連日午前九時三十分ニ開始セラレ午後一時ニ終了セリ會議前後ニハ倫敦附近各地ノ養鶏其ノ他研究所、生産物市場等ノ視察或ハ家禽關係諸會ノ協議會、總會等行ハレタリ報文ノ發表並ニ討議ハ前記六部ヲ五室ニ配分シ左記ノ如ク同時ニ進行セリ

會議室	(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	摘	要
七、二、二	會議出席並ニ視察旅行登錄、會議事務打合、當夜英國政府ノ歡迎「レセプション」						
二二	E	B	A	C	D	午後開會式	
二三	E	B	A	C	D	午後萬國家禽學會總會 夜英國政府招宴會	

二四	E	B	A	C	D	午後各種動物競賣、 夜英國各家禽關係團體ノ「レセプション」
二五	E	B	A	C	D	午後近郊視察旅行四種 夜英陸軍及空軍ノ特別演技
二六	終日視察旅行(一)	「ケンブリッジ」	方面、(二)	「エセックス」	方面、	夜陸軍及空軍ノ特別演技
二八	F	B	E	C	D	午後萬國家禽學會代表委員會、近郊視察旅行四種 夜「ハンデルス、メッシア」演奏會
二九	F	B	A	C	D	朝倫敦中央市場視察、午後近郊視察旅行、 夜倫敦市ノ「ギルドホール」招待
三〇	終了總會、	午後英國政府ノ「ウィンザー」宮ニ於ケル「ガードンバーター」招待				

四、會議經過

◎七月二十一日(月曜日)

- 一 午前十時ヨリ倫敦「ホワイトホールルームス」ニ於テ參加代表並ニ一般會員ノ召集アリ各自入會金ヲ納付シ登録ヲ了セル後、會員章、日程表並ニ發表報文ノ配付ヲ受ク、各國代表員百六十名、其ノ他諸會員ヲ合シ會員總數二千三百名ヲ算シ大混雜ヲ呈セリ猶會期間ニ於ケル見學旅行並ニ會議終了後ニ於ケル視察旅行ニ對スル會費ヲ支拂ヒ切符ヲ受ク
- 一 午後九時三十分英國農漁大臣「アッデスン」氏同夫人主宰ノ下ニ「ランキャスターハウス」ニ於テ英國

政府ノ歡迎「レセプション」アリ日本代表員木村、米田、近藤ノ三技師參列ス

◎七月二十二日(火曜日、會議第一日)

- 一 午前九時三十分ヨリ會場「クリスタルパレス」ニ於テ各部會一齋ニ開會セラル報文ノ發表ハ「附」ノ通りニシテ午後一時當日ノ日程ヲ終了セリ
- 一 午後三時英國皇子「デューク、オブ、ヨーク」殿下臺臨ノ下ニ「クリスタルパレス」中央會堂ニ於テ開會式舉行セラレ左記要旨ニヨル御演說アリ次ニ農漁大臣「アッデスン」氏ハ政府ヲ代表シ殿下ニ對スル謝詞ヲ述べ會長「エルフォード」氏(加奈陀)及前會長「カステロー」氏(西班牙)ハ夫々萬國家禽學會頭及副會頭トシテ殿下竝ニ英國政府ニ對シ謝辭ヲ述べタリ各國代表ノ外來會セルモノ無慮三千名ニ達シ盛會ヲ極ム式後貴賓室ニ於テ「デューク、オブ、ヨーク」殿下ハ列國代表員ニ對シ特ニ各個接見ノ榮ヲ賜フ
- 一 皇子殿下御演說要旨 海外各國代表及會員ニ對スル歡迎ノ辭ニ始マリ本會議ハ其ノ發表セラルベキ豊富ナル報告ニヨリ經驗智識ノ交換上相互ニ裨益スル所多大ナルノミナラズ各國民間ノ交誼ヲ厚クシ國際間ノ好意友情ヲ強固ナラシムルニ與テカアルベシト述べ現時一般ノ不況ニヨリ各國ノ農業ハ何レモ甚シキ打擊ヲ被ルノ時ニ當リ家禽業ハ窮迫セル多數ノ農家ニ對シ經濟的救助ノ一途タリ得ルハ喜ブベク一面其ノ生産物が一般ノ食品トシテ重要ナルコトハ當會議ヲシテ生産者及消費者ノ何

レニモ有意義ナラシムト述べ更ニ展覽會ノ規模宏大ニシテ嶄新殆ド驚異的ナルコトヲ稱揚シ之ニ對スル各國ノ協贊援助ヲ謝シ進デ研究施設取引改善ノ計劃等ガ斯業ノ改良發達ニ資スル所多大ナルヲ説キ終リニ各國間ニ於ケル信賴互助ノ精神ヲ擴充シ友誼ノ親厚ヲ期シ以テ本會議ヲシテ最大ノ效果ヲ齎ラサシメンコトヲ希望スト結ブ

◎七月二十三日(水曜日、會議第二日)

一 自午前九時三十分至午後一時、報文發表「附」ノ通

當日A部會ニ於テ日本代表木村和誠ハ其ノ提出ニ係ル報文「白色レグホーン種ノ産卵能力増進ニ關スル蕃殖試験」ヲ發表、二、三ノ質問ニ對シ説明ヲ與フ

一 午後一時加奈陀ニ於ケル萬國穀類博覽會竝ニ會議開催當局ノ午餐招待會アリ、一九三二年加奈陀「サスカチオン」州「レギナ」市ニ開催豫定ノ萬國穀類博覽會竝ニ會議(World's Grain Exhibition and Conference)ヲ紹介シ各國ノ贊同援助ヲ希望スル所アリ

一 萬國家禽學會總會(每三年目開會)午後三時ヨリ第三會議室ニ於テ開會二十四ヶ國ヨリ同學會會員九十二名列席ノ上左記事項ヲ議定ス

(一) 第五回萬國家禽會議ハ一九三三年伊太利國羅馬市ニ開催ノコト

(二) 次期萬國家禽學會會頭ニハ丁抹政府養鶏顧問「コック」氏當選ス

(三) 副會頭以下次期役員ノ發表竝ニ各國代表委員ノ指名アリ日本代表委員トシテ木村和誠指名セラレ

一 午後八時ヨリ「ヴィクトリアホテル」ニ於テ英國政府ノ招宴會アリ

蘇格蘭國務長官「アダムスン」氏主宰ノ下ニ各國代表(日本三名)竝ニ列國大公使等招待セラレ

◎七月二十四日(木曜日、會議第三日)

一 自午前九時三十分至午後一時、報文發表「附」ノ通

一 午後三時ヨリ各種動物ノ競賣行ハル

一 午後七時ヨリ「クリスタルパレス」ニ於テ英國各家禽關係團體聯合ノ「レセプション」アリ

◎七月二十五日(金曜日、會議第四日)

一 自午前九時三十分至午後一時、報文發表「附」ノ通

當日A部會ニ於テ本邦石川兵三郎提出ニ係ル報文「鶏精子ノ體外ニ於ケル生存期間ニ就テ」ノ發表アリ

一 午後視察旅行四種ノ内「サセックス」州「ラッチウイック」ニ於ケル科學的養鶏家協會所屬試驗場視察一行ニ參加ス

一 午後七時三十分ヨリ「クリスタルパレス」競技場ニ於テ陸軍及空軍ノ特別演技アリ

○七月二十六日(土曜日)

一 本日ハ終日ニ亙ル視察旅行ニシテ「ケンブリッジ」、「エセックス」ニ方面ノ内前者ニ参加ス、午前八時三十分倫敦發「ヒストン」所在「チウァース」氏農産品加工場、農場特ニ家禽部ヲ詳細視察ノ後「ケンブリッジ」大學ヲ見學ノ上夕景倫敦ニ歸着ス

○七月二十七日(日曜日) 休會

○七月二十八日(月曜日、會議第五日)

一 自午前九時三十分至午後一時、報文發表「附」ノ通

當日E部會ニ於テ本邦衣川義雄提出報文「日本鶏種」ノ發表アリ木村技師代讀ノ後各種ノ質問ニ對シ詳細説明セリ猶G部會ニ於テ本邦板垣四郎提出報文「ヘテラキス、ヴェジキユラーリス」ノ發育及盲腸壁ニ發見スル寄生性結節ノ性状ニ就テ」ノ發表アリ

一 午後二時ヨリ萬國家禽學代表委員會開カレ會頭以下役員及各國代表委員三十餘名參集、會則ノ改正、學會ノ擴張竝ニ經濟的基礎ノ充實其ノ他ノ重要事項ニツキ協議ヲ行フ本邦代表委員トシテ木村技師出席ス

一 米田、近藤二技師ハ午後視察旅行四種ノ内「パークシャー、ウオアフィールド」所在帝國化學產業會社所屬研究所視察一行ニ参加ス

一 午後八時ヨリ「クリスタルパレス」中央會堂ニ於テ「ハンデル」ノ「メツシア」演奏會アリ

○七月二十九日(火曜日、會議第六日)

一 午前七時十五分ヨリ倫敦市「スミスフィールド」中央市場視察一行ニ参加ス

一 自午前九時三十分至午後一時、報文發表「附」ノ通

當日B部會ニ於テ本邦鈴木幸三、波多野正提出報文「養鶏飼料ノ蛋白質補給材料トシテノ大豆粕」ノ發表アリ木村技師代讀ノ後二、三質問ニ對シ應答ス

一 午後「サレー」州「ミルフォード」所在全國産卵檢定会視察旅行アリシモ差支ノタメ参加セズ

一 當夜各國代表ニ對シ倫敦市ノ「ギルドホール」ニ於ケル「レセプション」ニ招待アリ午後八時ヨリ「ギルドホール」内「ライブラリー」ニ於テ倫敦市長同夫人ハ倫敦市幹部員陪席ノ上列國代表ニ對シ各個面接ノ儀式ヲ行フ、右了リテ講演及舞踏會竝ニ茶菓ノ饗應アリ

○七月三十日(水曜日、會議第七日)

一 午前十時ヨリ第二會議室ニ於テ終了總會ヲ開ク會長「エルフォード」氏ヲ議長トシ參會スルモノ各國代表其ノ他會員約三百名、別項議事ヲ終リテ午後一時散會ス、而シテ第四回萬國家禽會議ニ於ケル右議決事項ハ直ニ萬國家禽學會ニ回付セラレタリ

一 右議決ヲ受理セル萬國家禽學會ハ午後二時ヨリ緊急幹部會ヲ開キ之ガ處理竝ニ實現方ニツキ協議

ヲ遂ゲタリ

一 午後四時三十分ヨリ英國政府ノ「ウィンズル」宮ニ於ケル「ガードンパーター」招待アリ茶菓ノ饗應
竝ニ宮殿案内アリ

一 第四回萬國家禽會議終了總會ニ於ケル決議案左ノ如シ

(一) 第四回萬國家禽會議各國代表員竝ニ會員ハ謹テ

英國皇帝陛下カ其ノ政府ヲ通シテ賜リタル優渥ナル聖慮ニ對シ奉リ深厚ナル感佩ノ微忱ヲ捧ク

(二) 同上各員ハ萬國家禽學會、本會議當局役員、特ニ事務總長「フランシス」氏及幹事長「ウィルキン
ス」氏、各種關係委員、視察先各位及「クリスタルパレス」總支配人「バックランド」氏等ノ熱誠ナル
努力、懇切ナル厚意ニ對シ深甚ナル感謝ノ意ヲ表ス

(三) 同上各員ハ大英國及北部愛蘭政府就中農漁省ノ甚大ナル援助、懇到ナル厚遇ニ對シ深甚ナル感
謝ノ意ヲ表ス

(四) 贊同各國政府ニ於テハ假性鶏「ベスト」病ノ輸入ヲ警戒シ之ガ防遏ニ關シ適切ナル處置ヲ執ルベ
キコトヲ勸告ス

(五) 各國政府ハ農業統計調査ヲ行フニ際シ須ク家禽ニ關スル統計ヲ包含セシムベシ

(六) 各國ハ凡テノ冷蔵卵ニ對シ國際的ニ協定セル「マーク」ヲ捺印スベシトノ意見アリ之ガ解決ニ達

セシガタメ速ニ各國政府代表者ノ協議會ヲ開催スルノ手段ヲ講ズベキコト

(七) 産卵檢定ヲ施行スル政府當局及主催團體當局ハ檢定當初ヨリ「オンス」ノ標準ヲ適用スルコト
ノ得策ナルヲ考慮センコトヲ望ム

(八) 萬國家禽學會代表委員會ハ今後三ケ年間ニ分科委員會ノ助力ニヨリ凡テ家禽種類ニ對シ世界共
通ノ家禽標準ヲ作成シ之ヲ次回ノ萬國家禽會議ニ提出スルコト

以上決議案中(一)號(二)號(三)號ハ滿場一致可決、(四)號乃至(七)號ハ字句ノ變更又ハ一部修正ノ上可決セ
ラレタルガ(六)號案ニツキテハ議論沸騰採決容易ナラズ意外ニ長時間ヲ要セリ、(八)號ハ否決セラル、
猶本總會ニ於テ二、三ノ緊急提議アリ夫々即時採決セラレタリ

五、次期會議開催地其ノ他 會議經過二十三日ノ部ニ述ベタルガ如ク第五回萬國家禽會議ハ一九三
三年伊太利國羅馬市ニ於テ開催セラルルコトニ決定ヲ見、次期萬國家禽學會頭ニハ丁抹政府養
鶏顧問「ニック」氏 (Stats Konsulent W. A. Kock; Copenhagen, Denmark) 當選セリ

第一 展覽會

自七月二十二日至同月三十日
毎日午前十時ヨリ午後十時マデ公開

概 說

第四回萬國家禽會議ニ附隨シテ會場「クリスタルパレス」内ニ開催セラレタル家禽ニ關スル展覽會

ハ規模宏大ニシテ設備嶄新何レモ觀覽者ノ注目ヲ喚起スルト共ニ其ノ知見ノ啓發ニ資セルモノ極メテ大ナリトス參加列國ハ其ノ出陳ニ於テ爭テ自國養鶏ノ特色ヲ紹介シ且ツ其ノ進歩改良ノ顯著ナルヲ示シ以テ國際的信用ヲ高メ家禽、生産物、機械器具等ニ於ケル交易上ノ優位ヲ確保スルニ努メタリ

展覽會ハ之ヲ三類ニ大別スルヲ得ベク其ノ(一)列國ノ出陳トシテハ凡ソ二十五ヶ國之ニ參加シ何レモ自國ニ於ケル養鶏改良及進展ノ狀況ト其ノ特色トヲ展示シ作業實演、實物陳列、映寫、電光利用、運轉裝置等ニヨリ觀衆ノ注意ヲ促スニ力メ又概ネ管理者ヲ附シ説明ニ當ラシメタリ、其ノ(二)家禽ニ關スル商品ノ陳列ニアリテハ十ヶ國ニ於ケル百二十二ノ商會、商社等之ニ參加シ各種ノ養鶏器具、機械類及飼料等ヲ主トシ極メテ多種多様ニ涉レリ、其ノ(三)動物ノ出品ニアリテハ參加セルモノ二十三ヶ國ニシテ鶏ヲ主トシ七面鳥、珠鶏、鳩、鶯、鶯及家兔ヲ合シ實ニ三千百餘點、六千九百羽ノ多數ニ達セリ、而シテ各國何レモ其ノ特有ナル實用鶏種竝ニ特有家禽ヲ出品セルハ勿論特ニ英國ニ於テハ優秀ナル産卵記録鶏及産卵記録鶯ノ多數ヲ出品セリ

以上三類ノ出陳内容ニ關シテハ左記説明竝ニ諸表ニ示スガ如クナルモ猶各種ノ參考出品、紹介陳列、其ノ他各國ノ養鶏ニ關スル活動寫真ノ映寫等アリ又本會議開催中ニハ「クリスタルパレス」ニ於テ海外參加會員ノ慰勞竝ニ一般觀覽者ノ慰安ニ供センガタメ餘興トシテ英國特異ノ各種演奏及

演技ヲ紹介セリ、就中「サー・トーマス・ビーチャム」指揮B、B、C管絃團ニヨル「ハンデル」作曲ノ聖

樂「救世主」ノ演奏竝ニ英國陸軍及空軍ノ特別演技ノ如キハ其ノ莊嚴盛觀特筆ニ値スルモノトス

(一) 列國ノ出陳

埃 太 利

(第一二五號)

主ニ一九一九年以降ニ於ケル同國養鶏ノ發達狀態ヲ紹介セルモノニシテ生産物ノ消費、生産、輸入殊ニ鶏卵生産ノ増加狀況ヲ示シ更ニ養鶏ノ改良ニ對スル國家ノ助成、改良蕃殖計劃竝ニ鶏卵、食鶏ノ販賣ニ關スル圖解アリ、猶「ステリア」鶏及「サルムタール」鶏竝ニ戰後ニ於ケル「ロードアイランドレッド」採用ニ關スル參考資料ヲモ出陳セリ

白 耳 義

(第一一七號)

養鶏竝ニ養兔ニ關スル表ヲ主トシ次ノ各種寫真ニヨリ説明ヲナセリ(一)産卵鶏(淘汰、蕃殖、孵卵器、育雛器、一般農場及專業家ノ養鶏狀況)(二)食鶏 (Coucou de Malines、鶏卵、孵卵器、育雛、屋内及屋外飼育、肥育、屠殺及調理)(三)家兔(「ベルヂアン」種、兔毛皮及兔肉ノ中央市場)ニシテ鶏卵取引ニ關スル統計ヲ表示ス、猶生産及市販原料、輸出貿易、輸出入及家兔ノ毛皮ニ關スル出品アリ

加 奈 陀

(第一〇〇號)

本出品ハ主ニ同國ニ於ケル蕃殖種鶏ノ經濟價值ヲ示セルモノニシテ大規模ノ模型ニハ加奈陀ノ風景竝

ニ各種産業ノ隆盛ナル状態ヲ「バノラマ」式ニ取入レ代表的高级鶏群及能力優秀ナル加奈陀種鶏ヲ陳ベ
 此レ等ガ合理的ニ蕃殖家ヨリ孵化場ヲ經テ各農場ニ配給セララルル状況ヲ示シ活動寫真ニヨリ血統登録
 ニヨル加奈陀種鶏ノ資質向上状態ヲ示シ又光線利用ニテ晝夜ノ變景ヲ現シ頗ル美觀ヲ呈セリ、猶加奈
 陀各地方ノ出品ハ(一)海岸地方(第一〇一號)、(二)平原地方(第一〇二、一〇三、一〇四號)、(三)「オンタ
 リオ」州(第一〇五號)、(四)「クエベック」州(第一〇六號)、(五)「ブリタッシュ、コロンビヤ」州(第一〇七號)
 ト各別ニ陳列セリ

「チエコスロバキヤ」

(第一二〇號)

(一)該國ニ於テ養鶏ノ行ハルル地方ノ自然情况(森林及農耕地方)、(二)農産物ヲ異ニスル地方ノ養鶏ニ及
 ボス影響(甜菜、穀物、馬鈴薯)、(三)面積及人口ト鶏ノ分布状況、(四)同ジク鷺ノ分布状況、(五)該國ニ於
 ケル養鶏團體ノ組織等ヲ圖示シ猶全農産物ニ對スル養鶏生産物及同輸出入、産卵檢定成績等ノ圖表並
 ニ着色卵、復活祭卵及羽毛標本等ヲモ出陳セリ

丁 抹

(第一三〇號)

(一)同國ニ於ケル養鶏ノ發達状態ヲ示ス彩色圖及統計、(二)丁抹ノ代表的養鶏農場、種鶏育成場及鶏卵包
 装所等ノ自轉幻燈、(三)公認産卵競技會用鶏舍模型、(四)丁抹養鶏家選用ノ鶏舍模型、(五)同國主要鶏種ノ
 卵及輸出鶏卵ノ包装等ヲ陳列セリ

加之養鶏器具、繪畫、寫真、同國養鶏ニ關スル書籍、文獻類、小冊子等ヲ出品セリ

帝國市場局(英國海外貿易局ノ出品)

(中央陳列場)

加奈陀ノ部——同國政府農務省ノ養鶏ニ關スル研究事業ニヨリ養鶏ノ進歩ヲ達成セル状態ヲ示ス出品
 物ヲ中心トシ兩側ニハ穀類及園藝品ヲ陳列セリ

濠洲「ビクトリヤ」州ノ部——同州ノ寫真ヲ展示セリ

南阿弗利加聯邦ノ部——最近ニ於ケル南阿聯邦養鶏ノ顯著ナル發達狀況、養鶏改良ト適種選擇ニ關ス
 ル事項及各官立農科大學ニ於ケル研究事項ヲ示シ主要鶏種ノ體型標本、輸出鶏卵標準格付、冷凍鶏標
 本及養鶏場ノ寫真ヲ陳列セリ

愛蘭自由國ノ部——一九二五年鶏卵法通過以降ニ於ケル鶏卵ノ包裝、檢査格付方法ノ改善状態ヲ示
 ス

印度ノ部——印度ニ於ケル貴賤兩族ノ生活状態並ニ其ノ各ニ於ケル養鶏状態ヲ現シ兩者ノ間ニハ格段
 ノ差異アルヲ示セリ尙優良鶏並ニ種卵ノ配付、共進會、講習會、宣傳等ニヨル獎勵狀況ヲ示セリ

佛 蘭 西

(第一一一號)

本出品物ハ同國養鶏發達ノ過程ヲ物語ルモノニシテ國外ニ於テ名聲ヲ博シツアル「ルマン」及「ラブレ
 レッス」ノ去勢鶏及若雌、「ソローニユ」ノ七面鳥、「ウーダンファブロール」、「ガテネエス」等ノ代表

鶏種ヲ示セル大規模寫眞ヲ掲グ、全國産卵能力檢定会ニ於ケル各鶏種ノ成績ヲ示セリ、猶同出品中兔毛皮及鶯綿毛ノ裝飾品ハ婦人ノ注目ヲ惹キ英國ニ於テ未ダ目新シキ「ホワイトブースカ」及「カスターレッキス」等ノ兔毛皮ノ出品アリ其ノ他同國ニ於ケル馬、牛及緬羊ノ發達状態ヲ示ス寫眞ヲモ出陳セリ

獨逸

(第一一〇號)

獨逸ノ參考出品物ハ養鶏及鶏卵販賣ノ經濟的重要性、飼養及育雛、蕃殖改良新式養鶏ノ指導、疾病手當ノ五部ニ分タレ同國養鶏家竝ニ種禽業者ノ遭遇スベキ諸問題ノ解決ニ資ス

匈牙利

(第一一四號)

本出品ハ(一)各種家禽生産物、同加工品、同國獵鳥飼育場及養鶏農場模型、羽毛、養鶏發達ニ關スル統計、(二)同國各種農産物、(三)著名ナル匈牙利葡萄酒及礦水等ヨリ成レリ、其ノ他各種野菜、果物、蜂蜜、罐詰果物、「バター」、「チーズ」、「カゼイン」、「ベーコン」、羊毛、煙草、絹及羊皮工藝品等ヲ陳列シ猶各種農民藝術品、蜜菓等ヲ陳列セリ

愛蘭自由國

(第一〇八號)

本出品ニ於テハ同國養鶏各方面ノ改善發達ニ資センガタメ同國農務省ガ實施シツツアル指導竝ニ利益増進施設ヲ詳細ニ展示セリ

伊太利

(第一一八號)

出品ハ之ヲ三區トナシ第一區ハ同國人ノ養鶏ニ關スル豊富ナル藝術竝ニ文獻ヲ示スモノニシテ同國古昔ニ於ケル鶏、鴨、孔雀ノ大理石彫刻、青銅像等又古代器物ニ現ハレタル鶏ノ寄嵌繪ノ寫眞ヲ出陳セル外古學者ノ家禽蕃殖ニ關スル文獻、各種家禽圖等ヲ出品セリ
第二區ニハ「ギギー」教授ノ家禽遺傳ニ關スル圖表、家禽試驗場、養兔試驗場等ノ出品ニ係ル各種寫眞ノ外雛ノ發生ニ關スル顯微鏡寫眞、鶏、珠鶏、鶯、鶯ノ特徴遺傳ニ關スル材料、「ワクチン」、家禽ニ關スル書籍雜誌等ヲ陳列セリ

和蘭

(第一一六號)

本出陳ニ於テハ特ニ小農家ニ對スル副業養鶏ヲ最モ有利ニ經營セシムル指導上ノ各種統計、繪圖及寫眞等ヲ陳列シ各種研究機關ニ於ケル養鶏ニ關スル試驗成績ヲ發表ス、更ニ同國原産ノ優良實利鶏「バルネフェルダー」及「ウエルズムマー」二種ノ代表鶏ヲ陳列シ其ノ改良過程ヲ説明セリ、右二種ノ褐色卵ヲ出陳シ卵質改善竝ニ鶏卵販賣統制狀況ヲ圖示セリ

新西蘭

(第一二三號)

本出陳ハ同國養鶏ノ發達竝ニ將來ノ進展ヲ展示シ其ノ他「バター」、「チーズ」、蜂蜜及苹果等ノ同國輸出品ヲモ出品セリ

諾 威

(第一二二號)

本出陳ハ二部ヨリナリ(一)養鶏團體及農業團體ノ組織、生産及販賣高、地方集卵所及鶏卵輸出組合、種鶏蕃殖所、指定種鶏場及指定養鶏場等ヲ示ス略圖、(二)人口及耕地面積ト養鶏生産物ノ増加狀態、指定種鶏場ニ於ケル平均生産量、指定種鶏場ニ於ケル三ヶ年間ノ一羽平均産卵數等ヲ示ス圖表ヲ陳列ス、其ノ他標準容器ニ依ル鶏卵ノ包裝、四十年來ノ生産及消費圖、同國最大ノ養鶏場、養鶏學校及集卵所等ノ寫真其ノ他養鶏ニ關スル小冊子、參考書等ヲモ出陳セリ

波 蘭

(第一二四號)

當國出陳ハ鶏卵及食鶏ノ輸出、養鶏場及養鶏團體ノ分布ニ關スル地圖、同國ノ代表的鶏舎、兎舎、鳩舎模型竝ニ鶏種、家兎、鳩及農家ノ寫真出陳セラレ、「ワルサウ」ニ於ケル鶏卵及牛乳共同販賣組合ノ輸出鶏卵各種モ出陳セラレタリ、其ノ他養兎生産物及同國養鶏ニ關スル書籍、同國地方養鶏家特異ノ服裝ヲナセル人形、復活祭用染卵竝ニ同國田園家屋ノ裝飾ニ用ヒラルル羽毛等ヲモ出陳セリ

「ソヴェット」聯邦

(第一〇九號)

陳列場ニ於ケル圖表ハ該國養鶏ノ發達、生産消費、養鶏生産物ノ國內取引竝ニ輸出狀態ヲ説明セルモノニシテ(一)「ソヴェット」聯邦ニ於ケル鶏、同生産物ノ集荷及整理、(二)養鶏ノ位置、(三)其ノ發達狀態、(四)家禽聯合ノ生産スル鶏及生産物ノ集荷場竝ニ生産量、五ヶ年計畫實施ニ伴フ生産等ヲ示ス電氣仕掛ノ圖表、(五)家禽聯合ノ模型、(六)食鶏、鶏卵及羽毛ノ國內消費及輸出、(七)食鶏及鶏卵ニ對スル政府ノ標準格付、(八)鶏ノ飼養及養鶏生産ニ關スル資本給源等ヲ示セリ

西 班 牙

(第一一五號)

當出陳ハ(一)「アレニー、ド、マール」國立養鶏學校ノ教育事業及印刷物、遺傳、飼養及淘汰等、(二)「マドリード」市「カステリヤ」中央實驗農場、畜産部ノ統計資料、(三)「マドリード」獸醫學校ノ家禽家畜病理寫真竝ニ「ブレバライト」、(四)中央畜産聯合會出品ノ産卵競技會ノ統計資料竝ニ報告、其ノ他私立ノ養鶏學校及養鶏研究所等ヨリノ出品物竝ニ印刷物ヨリナル

瑞 典

(第一二二號)

本出陳ハ同國ノ養鶏狀況、鶏卵輸出貿易、各種教育竝ニ研究事業等ヲ紹介セルモノニシテ就中鶏ノ蕃殖、鶏卵ノ生産、輸送等ノ狀況ヲ電氣仕掛ニテ現シタルモノ及鶏病ニ關スル研究ノ寫真及圖表等ハ特ニ興味ヲ惹ケリ其ノ他鶏卵ノ輸出、養鶏羽數等ヲ圖示シ且ツ瑞典ノ代表的鶏種ノ寫真等ヲモ出陳セリ

瑞 西

(第一一九號)

該出陳ハ「ユングフラウ」ヲ背景トシ同山腹海拔八、〇〇〇呎ノ歐洲最高位ノ地ニアル養鶏場ニ於テ一ケ月間ニ能ク二十八卵ヲ生産スル狀況ヲ説明シ且ツ統計及圖表ニ依リテ同國鶏卵共同販賣組織ノ發達、養鶏改良事業、養鶏ノ密度、瑞西養鶏組合支部ノ地方的分布、養鶏共進會ノ發達等ヲ示セリ、猶同國ニ於ケル唯一ノ産卵能力檢定所ノ模型及其ノ優秀鶏ノ寫眞ヲ出陳シ各種養鶏器具、養鶏書籍、印刷物ヲモ陳列セリ

大英國及北愛蘭

(中央陳列場、第一二六、一三一、一三二、一三三、一三四號)

出陳物ヲ二分シ一ハ主トシテ養鶏ニ關スル教育及研究事項ニシテ他ハ取引ニ關スルモノナリ、教育及研究部ハ中央陳列場ニテ帝國市場局出品ノ鶏其ノ他ノ生産物ト共ニ陳列セラレ中央ナル「金門」ハ成功ニ導クノ門戸ニシテ養鶏業發達ノタメ教育者、指導者及研究者ガ重要ナル任務ヲ演ジツアルヲ標示シ同産業ノ地位ト進歩ノ状態ハ統計資料ノ圖表ニ示サレタリ、而シテ教育事業ニ關スル出品ハ同國養鶏指導獎勵事業ガ地方養鶏指導者、農科大學、地方農事試驗場及其ノ他ノ機關ニ依リ實施サレツアル狀況ヲ説明セリ、當出品中ニハ養兔業ニ關シ「アンゴラ」被服(「アンゴラ」毛紡績實演アリ)、毛皮局出品ノ兔毛皮被服ノ陳列アリ、「ハロッツ」商會ハ其ノ窓飾ヲ施シ「マネキン」ヲモ提供セリ、又研究事業ニ關シテハ各研究機關ニ於テ其ノ研究者ガ養鶏業ノ各方面即チ蕃殖、榮養、管理、疾病、經濟、販賣等ニ關スル緊要問題ノ解決ニ努力シツアルヲ示セリ

次ニ販賣取引ニ關スル陳列ハ大要左ノ如シ

英蘭及威爾斯——國定商標ニヨル鶏卵處理場ニ於ケル卵ノ出荷準備ヲ實演シ(一)格付鶏卵ニ對スル價格ノ正解、(二)單獨檢卵、(三)「フロスト」類別器ニ依ル國定標準從量格付、(四)鶏卵ノ木箱及「ファイバー」箱包裝、六箇及十二箇紙箱包裝等ノ實況ヲ示セリ、又別ニ國定商標家禽肥臘場ニ於ケル作業ヲ實演シ荷物受入、秤量及品質ニヨル支拂、棚箱肥育、強制肥育ノ状態、屠殺、毛引、整理、冷却、整形及格付、荷造等ノ實況ヲ示シ併セテ關係印刷物ヲ配布セリ

蘇格蘭——蘇格蘭特定ノ鶏卵ニ對スル國定商標ノ説明ニ關スルモノニシテ國定格付標準ニ基ク各種鶏卵秤量器(各等級ノ卵十二箇ノ最低重量ヲ示スモノアリ)國定商標貼付容器等ヲ陳列シ併テ各種關係印刷物ヲ配布セリ

北愛蘭——北部愛蘭ニ於ケル鶏卵販賣狀況ヲ紹介セルモノニシテ其ノ組織及經營ニ關スル重要事項竝ニ鶏卵ノ生産者ヨリ消費者ニ到ル配給統制ノ狀況ヲ示シ併テ説明ノ小冊子ヲ配布セリ

北米合衆國

(第一二七、一二八號)

同國ノ出品ハ二部ニ分タレ一ハ食鶏及鶏卵生産ノ物語ニシテ他ハ生産物ノ取引方面ヲ説明セルモノナリ前者ハ蕃殖、孵卵、育雛及衛生ニ關スル出品物ヨリナリ蕃殖改良ニ關シテハ産卵持續性、連産性、就巢性及早熟性ガ卵ノ生産ニ及ボス影響ヲ現ハサンガタメ寡産、普通、多産各級ノ模擬産卵鶏ニ對シ

夫々可動性鶏卵、鶏卵計、硝子製産卵箱等ヲ用ヒ右ノ關係ヲ説明セリ、
 孵卵及育雛法ノ歴史及發達過程ハ自動幻燈ニヨリテ之ヲ現ハシ、榮養ニ關シテハ大形模型鶏ヲ陳ベ榮
 養、生産等ニ關スル體內諸器官ヲ機械トスル工場トシテ之ヲ現ハシ機械仕掛ニテ運轉シ消化竝ニ各種
 成分ノ鶏卵構成ニ與ル役割ヲ演出セシメ同時ニ蓄音器ヲ用ヒテ鶏自身ノ物語ヲナサシメ頗ル觀衆ノ興
 味ヲ喚起セリ

販賣取引ニ關スル出品トシテハ大時計ニヨリ其ノ振子ノ一動毎ニ每秒一、〇〇〇箇ノ鶏卵ヲ生産シツ
 ツアルコトヲ通報セシムル仕掛ケトナシ同國ニ於ケル卵ノ莫大ナル生産量ヲ示シ猶食鶏及鶏卵生産ノ
 狀況、生産物ノ利用狀況、季節的の生産量及價格ノ變動狀態ヲ示セリ、又鶏卵ノ品質選別ヲ燈光檢卵ニ
 ヨリテ實示シ冷蔵裝置ノ下ニ各種ノ鶏卵ヲ示シ標準鶏卵箱及包装材料等ヲモ出陳セリ、食鶏ノ出陳ニ
 付キテハ美事ニ整理箱詰セル屠鶏ヲ主トシ罐詰製品モアリ又同國ノ鶏及鶏卵ノ生産狀況ハ大地圖ヲ以
 テ示サレ生産物ノ農場ヨリ消費者ニ至ル全過程ハ自動的ニ映寫幕ニ寫示セラレタリ

ユーゴースラビヤ

(第一二九號)

本出品ハ地方鶏種ノ選擇竝ニ養鶏ノ發達及其ノ獎勵機關等ヲ示セルモノニシテ統計及圖表ニ依リ養鶏
 ニヨル生産ヲ説明シ養鶏ニ關スル各種印刷物竝ニ當國農產物寫真等ヲ陳列セリ

(二) 家禽ニ關スル商品ノ出陳

(イ) 家禽關係商品別出陳數

大	英	國	一〇二
北	愛	蘭	一
北	米	合衆國	七
加	奈	陀	六
「	ニユー	ファウンドランド」	一
白	耳	義	一
瑞	典	出陳	一
和	蘭		一
獨	逸		一
丁	抹		一
計			一二二

(ロ) 家禽關係商品種類別出陳點數

一	一般飼料	一二
二	特殊飼料	一〇

三 器具及材料	四七
四 藥品類	六
五 出版物	八
六 包裝、輸送ニ關スルモノ	九
七 標本、寫眞、解圖類	一九
八 其ノ他	一一
計	一二二

(三) 動物ノ出陳

參加二十三ヶ國ノ出陳ニ係ル家禽及家兎ノ出品點數ハ鷄二、一一六點、其ノ他ノ家禽六四九點、家兎三五七點、總計三、一二二點ノ多數ニ上リ其ノ國別種別出品、雌雄別出品竝ニ鷄品種別國別出品ノ詳細ハ次ノ諸表ニ示スガ如シ而シテ鷄ノ品種別點數ニアリテハ「レグホーン」種ノ五三九點(二五・五%)、最モ多ク「ワイヤンドット」種ノ四四三點(二〇・九%)、「ロードアイランド」種ノ三二四點(一五・三%)、「ブリマスロック」種ノ一五八點(七・五%)、「サセックス」種ノ九八點(四・六%)等順次之ニ次ゲリ
出品動物ノ賣買ニハ幹旋所設ケラレ七月二十四日午後ニハ部類別ニ順次競賣行ハレタリ猶動物陳列場ニハ參考トシテ觀賞用雉及同水禽竝ニ高齡鷄ノ出陳等アリ

觀賞用雉及水禽ノ出品

雉ノ諸品種ハ Golden, Silver, Reeves, Lady Amherst, Melanotte, Corean Ring Neck, Lineated, Swinhoe, Borneo Fireback, Impeyan, Satyr Tragopan, Horsfield, Pure and First Cross Versiedor, Chinese, Pure and First Cross Mongolian, &c.
水禽ノ諸品種ハ East Indian Ducks, White Call Ducks, Mandarin Ducks, Carolina Ducks, Tufted Ducks, Pochards, Common Teal, Garganey Teal, Shovellers, Wigeon, Pintailn Shell Ducks, White-eyed Pochards, Rosybill Ducks, Chilean Teal, &c.

高齡雌鷄ノ出品	名稱	年齡	點數
	“Sally”	一二年	一羽
	Japanese Hen	一五	一
	“Silkie”	一四	一
	Bantams	一〇	一
	“Grannie”	一八	一
	Wyandotte	一七	一

加 奈 陀	種別		合 計	チ	丁	佛	白	伊	蘭	和	印	ビ	瑞	獨	匈							
	雄	雌		エ	ツ	コ	ス	ロ	バ	キ	ヤ	抹	西	義	利	度	蘭	度	マ	西	逸	利
一八六羽	雄	雞	二、一六		八	三	八	二	三	九	六	三	一	三	八	九						
四四二羽	雌	雞	七四		一					一	七				二	六						
四羽	雄	矮雞	六一		二	二																
八羽	雌	矮雞	九九		五	四				一	八				二							
一四羽	雄	七面鳥	三八		四	三				三												
一四羽	雌	七面鳥	三五七			一	〇	二	四	一	〇											
一〇羽	雄	鷺	三六五		二	八	三	一	五	〇												
二〇羽	雌	鷺	一一二							一	三											
一六羽	雄	鷺	三、一二二		二	五	一	八	七	四	七				一	〇	五	一	八	七	六	三
一六羽	雌	鷺																				
二四羽	雄	兔																				
四八羽	雌	兔																				
一一羽	雄	鳩																				
一一羽	雌	鳩																				
一羽	雄	珠雞																				
一羽	雌	珠雞																				

雌雄別出品羽數 (總計 六、八八五羽)

國名	種別	雞	矮雞	七面鳥	鷺	鷺	兔	鳩	珠雞	計
加奈陀	雞	二四六		一四		一六		二四		三二五
米	雞	一〇四		六				一一		一一六
西班	雞	一四								一四
亞爾	雞	四五								四五
英蘭	雞	一〇								一〇
蘇格	雞	四三								四三
北愛	雞	七三								七三
愛蘭	雞	一三〇								一三〇
加奈陀	矮雞		四							四
加奈陀	七面鳥			一四						一四
加奈陀	鷺				一〇					一〇
加奈陀	鷺					一六				一六
加奈陀	兔						二四			二四
加奈陀	鳩							一一		一一
加奈陀	珠雞									
加奈陀	計	三二五	四	一四	一〇	一六	二四	一一		三二五

第四回萬國家禽會議動物展觀會各國出品點數表

計
不明
English Game
Crowing hen
一六
一六
一七
一一

國名	品名	種
加奈陀	レグホ	五〇
ニューファウンドランド	クソロツマ	七五
米	トワイヤ	三一
ニューギニア	ロード	二五
西班	オトンビ	一五
亞爾然	カミノル	一〇
ブルガリヤ	ブラマ	四
匈	ヤンシ	三
獨	ナアンコ	七
瑞	クサセツ	
	ベルダネ	
	其ノ他	二六
	計	二四六

鶏品種別各國出品點數表

計	北愛蘭	愛蘭自由國	チエツコスロバキヤ
(外不明ノモノ元羽)	(外不明ノモノ元羽)	(外不明ノモノ元羽)	(外不明ノモノ元羽)
一三二五三	二一〇七五	八六一〇	一〇〇
七四一四八			
五九四四	五七		
五六五	四		
一四二			
三八三	一		
三五七	一九七		
七七一			
三六五	二五		
三六五	二五		
一二			
一二			

蘇格蘭	英及威爾斯	丁佛蘭	白耳	伊太	蘭領東印	和蘭	印度	ビマ	瑞	獨逸	匈	ブルガリヤ	亞爾然	西班	米	ニューファウンドランド
五二五	八九	三八	八	二	一三	六	三	一	三	九	三	五	四	二	一〇	四
(外不明ノモノ元羽)	一七	七	一	四	三	八	六	二	八	一	六	一	八	六	二	八
六四	一				四			二	六							
一					七											
二	八				三			四	二							
一〇	二			二											六	
一	二			二											六	
五	七	五	四	五	二	二			一	七	二	五				
一	三	一		一	六	四			二	四	四	一				
〇	四	〇	八	〇								〇				
	七	四	三	三								二				二
	六	四	一	三								二				二
				一	〇	二										
三	九			二	四	二										
四				四	八	〇										
一	九	八	三	一	五	〇						一	三	五		
一	九	八	三	一	五	〇						一	三	五		
				二												
				二												

合 計	愛 蘭 自 由 國	北 愛 蘭	蘇 格 蘭	英 蘭 及 威 爾 斯	丁 抹	佛 蘭 西	白 耳 義	伊 太 利	和 蘭	印 度	ビ ル マ
五三九	二七	二〇	一七	三五四	二七	三	二	二	三		
一五八	七	二		三七	一二				三		
四四三	五七	三二	一五	二五九	二				八		
三三四	二二	一〇	四	二二一	一九	一			二		
五九	一			三八	一						
二九		一	一	三	三				二		
一五				五					一		
一五				八							
二五			一	一四	一						
九八	一〇		四	八四							
三九			一	一三					二五		
三七二	六	一	五	一七	五	三四	六	二	五四	六	三
二、一六	一三〇	七六	四八	一、一五三	八九	三八	八	二三	九八	六	三

三四

備考

數品種ヲ合シテ出品一點トナレルモノハ「其ノ他」ノ項ニ編入セリ

(四) 其ノ他ノ出陳

(イ) 英國皇太子殿下ノ農場

英國皇太子殿下ノ農場模型ハ百呎×五十呎ノ大規模ノモノニシテ農場ノ一部建物ヲ含ム七十五「エー

カー」ヲ現ハセルモノナリ建物十七棟ヲ縮尺模型トシ場内ノ川流ニハ通水シ背景ニハ加奈陀「ロッキー」山脈ノ秀峯ヲ配シタリ、本農場ハ英國皇太子殿下ノ加奈陀ニ於ケル別莊ニシテ六千「エーカー」ヲ有シ「アルバータ」州「カルガリ」市ノ南西四十哩ノ地ニ位シ環境、風景、施設等眞ニ加奈陀ニ於ケル農業生活ノ代表的情景ヲ現ハスモノナリ

常農場ニ於テ最モ興味アルハ農事方面ノ研究ニシテ高級家畜ノ蕃殖モ其ノ目的ノ一ナリ當初主トシテ純粹「ショートホーン」牛ヲ飼養セシガ現在ハ牛、羊、鶏、馬ノ各純粹種ヲモ飼養蕃殖セリ

(ロ) 各種團體紹介所並ニ教育機關紹介出品

英國毛皮兔協會 (The British Fur Rabbit Society)

「ロンドン」鶏卵取引所 (The London Egg Exchange)

全國農業者聯盟 (The National Farmers' Union)

全國婦人會聯合會 (The National Federation of Women's Institutes)

全國實用鶏協會 (The National Utility Poultry Society)

家禽俱樂部 (The Poultry Club)

動物愛護會 (The Royal Society for the Prevention of Cruelty of Animals)

科學的養鶏業者組合 (Scientific Poultry Breeders' Association, Limited)

實利養鶩俱樂部 (Utility Duck Club)

教育機關

「チエシヤ」農業學校 (Cheshire School of Agriculture)

國立養鷄研究所及「ハービーアダムス」農科大學 (National Institute of Poultry Husbandry and the Harper Adams Agricultural College)

「レディング」大學農學及園藝科 (Faculty of Agriculture and Horticulture, Reading University)

南東地方農科大學 (South-Eastern Agricultural College)

「シールヘーン」農科大學 (Seale-Hayne Agricultural College)

萬國家禽學會 (The World's Poultry Science Association)

本學會ハ萬國家禽會議ノ主催體ニシテ其ノ役員ハ次ノ如シ

Honorary Past President : Sir Edward Brown. (England)

President : Mr. F. C. Elford, Ottawa, Canada.

Secretary and Treasurer : Dr. G. F. Heuser, Cornell University, Ithaca, N. Y., U. S. A.

First Vice-President for Continental Europe : Prof. Salvador Castello. (Spain)

Secretary for Continental Europe : Dr. B. J. C. Te Hennepe, State Serum Institute, Rotterdam.

Holland.

Vice-Presidents : Mr. W. A. Koek (Denmark)

Prof. J. E. Rice (U. S. A.)

Mr. T. R. Robinson (England)

Mr. C. S. Th. Van Gink (Holland)

Prof. Chas. Voiteller (France)

(ハ) 活動寫真フィルム

埃 太 利

ステリア鶏 (The Syrian Fowl)

ブルガリヤ

ブルガリヤの養鷄 (Poultry Breeding in Bulgaria)

加 奈 陀

「オンタリオ」農科大學と其の事業 (The Ontario Agr. College & its Work)

「オンタリオ」の養鷄視察 (A Poultry Travelogue of Ontario)

加奈陀「シャントック」鶏 (The Canadian Chantecler Hen)

「クエムック」州楓糖業 (The Maple Sugar Industry in Quebec)

「サスカチェワン」州の農産業と國情 (The Agr. Industry of Saskatchewan)

加奈陀苹果の栽培と其の出荷 (The Growing & Marketing of Canadian Apples)

英蘭及威爾斯

養鶏繁昌への道 (The Path to Poultry Prosperity)

鶏卵の出荷 (The Marketing of Eggs)

鼠の脅威 (The Rat Menace)

獨逸 (隨時出題)

印度

印度の養鶏 (The Poultry Industry in India)

西班牙

西班牙に於ける養鶏教育及鶏の改良 (The Poultry Education & Breeding in Spain)

北米合衆國

鶏卵の出荷事業 (The Egg Marketing Industry)

合衆國に於ける食鶏の出荷状態 (The Poultry Marketing Industry in the U. S.)

大卵多産への鶏種改良 (Breeding for More & Bigger Eggs)

七面鳥の飼養 (The Turkey Business)

雛の育成 (Brooding and Rearing Chicks)

鶏卵及食鶏の共同出荷 (Co-operative Marketing of Eggs & Poultry)

幼雛育成上の諸注意 (Early Care of Baby Chicks)

優良雛の生産 (Producing Quality Chicks)

多産鶏か寡産鶏か。(Layers or Layers?)

米國養鶏業物語 (The Romance of the American Poultry Industry)

(五) 餘興演奏並演技目錄

七月二十二日 (火曜日)

午後二・三〇——五・〇〇 H・M・ワールドストリームガーズ音楽隊

同 六・〇〇——七・三〇 同 右

同 八・〇〇——無線軍樂隊演奏 (中央會堂)

同 二十三日 (水曜日)

午後三・〇〇——五・〇〇 H・M・ワールドストリームガーズ音楽隊

同 七・三〇——一〇・〇〇 同 右

同 二十四日(木曜日) 午後三・〇〇——四・三〇 H・M・ウエルシュガーズ音楽隊

同 五・三〇——七・〇〇 同 右

同 七・三〇—— 聲樂、管絃樂演奏會(中央會堂)

同 二十五日(金曜日)

午後三・〇〇——五・三〇 H・M・アイリッシュガーズ音楽隊

同 七・三〇—— 陸軍及空軍特別演技(クリスタルパレス・スタデウム)

同 二十六日(土曜日)

午後三・〇〇——五・三〇 H・M・アイリッシュガーズ音楽隊

同 三・三〇—— ダート・トラック・レース(ロンドン自動車競技)

同 七・三〇—— 陸軍及空軍特別演技(クリスタルパレス・スタデウム)

金、土兩日夜防空第二十大隊等ノ探照實演アリ

同 二十八日(月曜日)

午後五・〇〇——七・三〇 H・M・スコッチガーズ音楽隊

同 八・〇〇—— ハンデル演奏會

同夜演奏會後プロック煙花實演

同 二十九日(火曜日)

午後三・〇〇——五・三〇 H・M・スコッチガーズ音楽隊

同 七・三〇——一〇・〇〇 同 右

同 三十日(水曜日)

午後三・〇〇——五・三〇 H・M・スコッチガーズ音楽隊

同 八・〇〇——一〇・〇〇 同 右

同 三・〇〇——五・〇〇 露西亞バラライカ演奏會(中央會堂)

同 六・〇〇——八・〇〇 同 右

猶二十九、三十ノ兩日「クリスタルパレス」ニ於テ英國畜犬品評會アリ又二十九日ニハ犬ノ調教實演アリタリ

第三 視察旅行

第四回萬國家禽會議ニ引續キ行ハレタル視察並見學旅行ハ英蘭、威爾斯、蘇格蘭、北愛蘭及愛蘭

自由國ノ各要地ヲ縫ヒ縦横ニ巡歴セルモノニシテ會議後旅行(The Post-Congress Tour)ト稱シ會議終了ノ翌日七月三十一日朝倫敦ニ旅程ヲ開始シ八月十一日終了倫敦ニ於テ解散セリ而シテ本旅行ニ參加セルモノハ十九ヶ國ヲ代表セル會員三百二十名ニシテ本邦ヨリハ木村、米田、近藤ノ三技師之ニ加ハリ概要左記日程ノ如ク進行セリ

◎七月三十一日(木曜日)晴

午前八時倫敦「ニーストン」停車場出發「レミングトン」ヨリ「シャラバン」ニテ「シエクスピーア」ノ生誕地「ストラトフォード・オン・エヴォン」其ノ他二、三ノ史蹟ヲ探リ「バーミンガム」ヲ經テ「シェロプシャー」、「ヒューボート」所在「ハーバー・アダムス」農科大學竝ニ國立養鶏研究所(Harper Adams Agricultural College and National Institute of Poultry Husbandry, N. P.)及産卵能力檢定場(Eggs Laying Trials)ヲ視察シ茶菓ノ饗應ヲ受ケタル後「チェスター」ヲ經テ午後八時半「リバプール」着一泊

◎八月一日(金曜日)曇、夕方ヨリ雨

午前九時「シャラバン」ニテ「リバプール」出發北威爾斯「デンビーシャー」、「ルーセン」所在州立「リスファシイ」短期農業講習所(Llysifasi Farm Institute)視察午餐ノ饗應ヲ受ケタル後北威爾斯ノ高原地方ノ景勝「ベトッシュイコイド」及「ランベリス」ノ嶮路ヲ越ヘ「カーナルヴォン」及「バンゴール」ヲ經テ「ホ

ーリーヘッド」ニテ乗船愛蘭自由國ニ向ヒ「キングスタウン」ニ上陸汽車ニテ夜十二時「ダブリン」着一泊

◎八月二日(土曜日)雨、午後晴

午前八時同地出發汽車ニテ愛蘭自由國ノ中心農牧地帯ヲ貫キ南端「コーク」市ニ達シ近郊ナル同國農務省所管「マンスター」農事講習所(Munster Institute)ヲ視察同國政府ノ午餐饗應ヲ受ク午後「コーク」市ヨリ往路ニ依リ六時半「ダブリン」歸着滞在

◎八月三日(日曜日)曇、驟雨

午前中休養、午後「シャラバン」ニテ「ウイクロウ」州「アンナモー」ニ至リ「ロバート・バルトン」氏養鶏場ヲ視察(茶菓ノ饗應アリ)セル後「グレンダロー」ノ溪谷ヲ經テ九時半「ダブリン」歸着滞在

◎八月四日(月曜日)曇、午後晴

午前六時二十分「ダブリン」發北愛蘭ニ向フ、午前九時「ベルファスト」着、二隊ニ分レ一隊ハ造船場、他ノ一隊ハ製麻工場ヲ見學セル後市外ナル北愛蘭總理大臣官邸所在地「ストルモン」城ニ至リ其ノ境内ニ於ケル北愛蘭産卵檢定場(Egg-Laying Test, Nor. Irel. Ministry of Agriculture)ヲ視察ス
午後「ベルファスト」郊外「ヒルスボロー」所在北愛蘭農事試驗場(Agricultural Research Station of N. Irel.) (家畜ノ營養研究ヲ主トス)竝ニ英帝國市場局所管養鶏營養研究所(Poultry Research Station)ヲ視

察シ茶菓ノ饗應ヲ受ク、當夜八時北愛蘭農務大臣「サー・エドワード・アーチデール氏(本會議總裁) 主宰ノ下ニ「コアルスターホール」ニ於テ同國政府ノ晚餐招待會アリ席上指名ニヨリ木村技師謝辭ヲ述ブ、「ベルファスト」一泊

◎八月五日(火曜日)晴、驟雨

午前九時「ベルファスト」出發「シヤラバン」ニテ「バリメナ」、「ボートラッシュ」ヲ經テ北海岸ニ於ケル偉觀タル「ジャイアンツ・コーズウェー」ノ玄武岩叢ヲ探勝シ「アントリム」沿海道路ノ景趣ヲ賞シツツ「ガロントワー」ヲ經テ「ラーン」ニ至リ午後七時同港發海路蘇格蘭ニ向ヒ九時過「ストラランラール」港上陸、汽車ニテ夜十二時半「グラスゴー」着一泊

◎八月六日(水曜日)晴

午前九時「グラスゴー」發「シヤラバン」ニテ「キルマーノック」所在西蘇格蘭農科大學養鶏部(Poultry School of the West Scotl. Agr. College) 視察ノ後「オーキンクルーヴ」ニ新築移轉中ノ同大學研究部(Research Station of the W. of Scotl. Agr. College)ヲ視察午餐ノ饗應ヲ受ケタリ
午後「エーア」ニ詩人「バーンス」ノ生誕地其ノ他遺跡ヲ訪ヒ西部蘇格蘭ノ農牧地ヲ通過シ午後六時半「グラスゴー」ニ歸着滞在

◎八月七日(木曜日)晴

午前八時四十分「グラスゴー」發九時五十分「エデンボロ」着、同市郊外「シーフィールド」ナル蘇格蘭産卵檢定場(Scottish Egg-Laying Test)ヲ視察ノ上「ベニクイク」ニ「カムミングス」養鶏場ヲ視察シ午後「コーストアフライン」ナル「バタックアップ」養鶏場(Poultry Farm of the Buttercup Dairy Co., near Eding.)ヲ視察ス同場ハ實ニ驚クベキ大規模ノモノニシテ二十萬羽ノ産卵鶏ヲ收容シ三十萬羽ノ育雛ヲ行フノ設備ヲ有ス、歸途「フォースブリッジ」一見「エデンボロ」歸着、午後八時同市「アッセンブリールーム」ニ於テ國務長官「アダムスン」氏竝ニ養鶏官「ミラー」氏主宰蘇格蘭政府ノ「レセプション」アリ、同市一泊

◎八月八日(金曜日)曇、後晴

午前中「エデンボロ」大學附屬動物蕃殖學研究部(Animal Breeding Research Dpt., Univ. of Eding.) 視察ノ上午後三時「エデンボロ」出發九時「リバプール」着滞在

◎八月九日(土曜日)雨、後晴

午前八時三十分發「シヤラバン」ニテ英蘭養鶏ノ中心地タル「ランカシャー」地方ニ於ケル養鶏狀況ヲ視察ス、先ヅ「プレストン」市附近ノ「サットン」氏養鶏場、次デ同「ニューロングトン」所在「ランカシャー」實利鶏協會(Lancashire Utility Poultry Society) 經營ノ國際産卵檢定並蕃殖場(International Egg Laying Test and Breeding Station, New Longton) 視察午餐ノ饗應アリ

午後「プレストン」郊外「バートン」ニ「レンノール」氏養鶏場一覽ノ後同「キャットフォース」ナル「トム・パ
ロン」氏養鶏場ヲ視察シ茶菓ノ饗應アリテ午後七時「リバプール」歸着、午後七時半「リバプール」歸
着、午後七時半「アデルファイ」ホテルニ於テ「ランカシャー」農會主催ノ「レセプション」竝晚餐招待會
アリ會頭「サー・ジョン・ルサフォード」氏主宰、「リバプール」市當局其ノ他要路ノ諸氏參會セリ、同市
滞在

◎八月十日（日曜日）曇、雨

午前八時出發「ジャラバン」ニテ英蘭湖水地方「ウインダーミア」、
「アルズウォーター」、
「ケスウィック」
等探勝ノ上「リバプール」歸着、午後七時同地發午後十一時倫敦「ユーストン」驛着一泊

◎八月十一日（月曜日）晴

朝食ノ後本視察旅行ヲ解散ス、而シテ本視察旅行ニ繼續的ニ計劃セラレタル數種ノ大陸旅行ニ參加セ
ル者ハ同日午後夫々倫敦出發大陸ニ向ヘリ

附記

以上旅程ニ於テ數々視察方面ヲ二分セルモ參加セザリシ方面ニツキテハ之ヲ省略セリ猶右旅行ニ
關スル取扱萬端ハ「ワァゴンリー」會社及「トーマス・クック」社ニ一任セラレ經費ハ乗車船賃竝宿
泊（朝食付）及手荷物運賃等ヲ含メニ六磅五志（「ホテルルーム」ノ設備ニ對シテ更ニ六磅餘ヲ要
セリ）ニシテ食費、雜費等別ニ約十磅ヲ要セリ

附

第四回萬國家禽會議報文要旨

第四回萬國家禽會議報文目次

◎第一部 蕃殖及孵卵

第一號	近親蕃殖ノ孵化率ニ及ボス影響	デユモン	(白)
第二號	鶏卵ノ受精	クレバロフ	(勃)
第三號	長期産卵檢定ニ代フベキ各種間隔檢定ノ採用可能性ニ就テ	ヴォアトリエー	(佛)
第四號	卵巢内分泌物ニ依リ隠蔽サレタル伴性遺傳ノ一例	キャリドロア及レニエー	(佛)
第五號	孵卵試験	ワインミラー	(獨)
第六號	獨逸ニ於ケル系統蕃殖ト一般ノ實用蕃殖トノ關係	シヤットツァーベル	(獨)
第七號	多産能力ニ關スル試験	バンネット	(英)
第八號	鶏ニ於ケル卵巢機能ニ關スル試験	グリーンウッド及ブリス	(英)
第九號	ランシャヤーノ改良蕃殖方法	トム・パロン	(英)

- 第一〇號 近親蕃殖ノ影響
- 第一一號 純粹レグホーン、伊太利地方種間雜種中ヨリ産卵
鶏ノ選抜ニ就テ
- 第一二號 胚雛ニ於ケル心臟組織ノ發達竝ニ成長ニ關スル試
驗
- 第一三號 鳥類ノ「エンブリオ」期ニ於ケル卵巢竝ニ輸卵管ノ
解剖學的脈管狀態及其ノ官能的意義
- 第一四號 鶯ニ於ケル諸形質ノ遺傳
- 第一五號 鶏精絲ノ體外ニ於ケル生存期間
- 第一六號 白色「レグホーン」種ニ於ケル産卵能力増進ニ關ス
ル蕃殖試驗
- 第一七號 「バルネフェルダー」種竝ニ「ウエルズンマー」種ノ起
原及和蘭實用鶏種ノ産卵狀況
- 第一八號 品種ノ純粹性ニ關聯セル鶏ノ外部特徴
- 第一九號 遺傳學者ガ種鶏蕃殖家ト協力シ得ベキ諸方途

ダンカーリー (英)

アルラ・タイベル (伊)

オリグオ (伊)

ジャコモニ (伊)

アニタ・ヴェッキ (伊)

石川兵三郎 (日)

木村和誠 (日)

ワイク及ウッペルス (蘭)

フワン・ギンク (蘭)

ハーゲドールン (蘭)

第二〇號 卵殻重量ノ變異ト其ノ卵量ニ對スル關係

第二一號 多産鶏ノ選擇ニ限度存スベキカ

第二二號 短脚鶏及逆羽鶏ノ遺傳學竝ニ生物學的研究

第二三號 鶏ニ於ケル卵ノ大サ竝ニ多産性ニ關スル因子間ノ
連鎖關係

第二四號 孵卵ニ於ケル濕度ノ條件

第二五號 鶏ニ於ケル活力ノ遺傳

第二六號 「コーネル」大學試驗場ニ於ケル多産寡産兩系統ノ
「レグホーン」蕃殖二十年間ノ結果

第二七號 孵化力ノ遺傳

第二八號 孵卵中ニ於ケル胚雛死滅ノ起ル時期竝ニ其ノ原因

第二九號 産卵鶏ノ個體別産卵重量變化ノ經濟的意義

◎第二部 榮養及育成

第三〇號 紫外線ト養鶏

第三一號 榮養ト孵化力

ホール及マーブル (米)

ジャヤル (米)

バイヤリ (米)

トンプスン (米)

ブーオン (白)

グレーム (加)

- 第三二號 孵卵中胚ノ榮養ニ變化ヲ與フル實驗
 - 第三三號 養鶏飼料ニ關スル試驗
 - 第三四號 養鶏飼料中纖維ノ用
 - 第三五號 産卵鶏用飼料ノ配合ニ對スル肝油ノ價值
 - 第三六號 家禽甲状腺ノ大サ及其ノ沃土含有量ニ影響スル諸因子
 - 第三七號 雛ノ榮養ト其ノ成長、成熟、産卵及斃死率トノ關係
 - 第三八號 家禽ノ榮養ニ關スル新研究
 - 第三九號 養鶏ニ於ケル蛋白質飼料ニ就テ
 - 第四〇號 食鶏生産ニ對スル鶏種ノ適否
 - 第四一號 家禽榮養上沃土ノ作用
 - 第四二號 育雛竝ニ若雌ノ飼料配合上澱粉價ノ適量ニ就テ
 - 第四三號 甲状腺分泌物ニ對スル血液ノ影響
 - 第四四號 養鶏飼料ノ蛋白質補給材料トシテノ大豆粕
- ブルンテス、バスケット及ロバートスン (英)
 - マックドーナルド及オール (英)
 - ローマックス (英)
 - フアーモア (英)
 - ケリー (英)
 - シール (愛自)
 - ジャコミニ (伊)
 - 鈴木幸三及波多野正 (日)

- 第四五號 産卵鶏ノ榮養
 - 第四六號 雛鳩ノ肉特ニ其ノ蛋白質ノ分布ニ關スル研究
 - 第四七號 幼雛ノ初期生長ハ時間ヨリモ寧ろ攝食量ノ函數ナリ
 - 第四八號 飼料ニ調合貯藏セラレタル肝油ノ佝僂病ニ對スル效力
 - 第四九號 單冠白色「レグホーン」種ノ生長ニ必要ナル榮養分ノ最少量
 - 第五〇號 雛ノ生長速度ニ對スル蛋白質量ノ影響
 - 第五一號 孵化率高キ種卵ノ生産ニ對スル「ヴァイタミン」Dノ效力限度
 - 第五二號 舍飼養鶏ニ就テ
 - 第五三號 雌鶏ニ於ケル鶏卵ノ成生ニ關スル化學的事項
 - 第五四號 鶏及吐綬鶏ノ舍飼ニ就テ
- ハンソン (瑞典)
 - エルマー・ヒルベルグ及ハウ (米)
 - ダイタス及ヘンドリックス (米)
 - ベイン (米)
 - ミッチェル、カード及ハミルトン (米)
 - ヒューザー及ノーリス (米)
 - ケンナード及ベスケ (米)
 - ベスケ及ケンナード (米)
 - バックナー、マーテン及インスコ (米)
 - ナデル (米)

◎第三部 疾病及其ノ防遏

- 第五五號 「サルモネラ」屬ニ因ル鳩ノ疾病
ラヘエー及ウイレムス (白)
- 第五六號 加奈陀ニ於ケル家禽ノ害虫竝ニ外部寄生虫
キブスン (加)
- 第五七號 白色「レグホーン」種及横斑「ブリマスロック」種ニ
於ケル斃死ノ原因竝ニ産卵能力ト斃死率トノ比較
ウイーヴァー (加)
- 第五八號 鳥類及哺乳類ヨリ得タル結核菌ニ依ル發病狀態ノ
差異
ミツチエル、マッキントッシュ及デュセー (加)
- 第五九號 白痢病防遏ノ爲ノ孵卵器消毒
マーセラ、グワトキン及グローヴァー (加)
- 第六〇號 經濟的ニ有用ナル水禽ノ寄生虫竝ニ寄生性疾病
ウィックウエーア (加)
- 第六一號 佛國ニ於ケル家禽傳染病ノ防遏
ストップ及トリューシュ (佛)
- 第六二號 小家畜ノ衛生及病理ニ關スル「アルフォール」試驗
レブーイリー (佛)
- 第六三號 獨逸ニ於ケル主要鶏病ト其ノ防遏
ラインハルト (獨)
- 第六四號 細菌性白痢症即チ鶏「チフス」
ミースナー (獨)
- 第六五號 家禽結核
ベラ (獨)

- 第六六號 家禽痘病(家禽「デフテリア」)ト其ノ防遏
ツウイック (獨)
- 第六七號 細菌性白痢
ダーリング及ウォルラック (英)
- 第六八號 鶏痘
ドイール (英)
- 第六九號 「ゲーブ」症特ニ野鳥ト鶏ノ「ゲーブ」症トノ關係
テエーラー (英)
- 第七〇號 鳥類ノ「コクシデウム」症
マセソン (英)
- 第七一號 匈牙利ニ於ケル白痢病竝ニ鶏結核ニ對スル防遏策
マンニンガー (匈)
- 第七二號 印度ニ於ケル濾過性病毒ニヨル鶏ノ新疾病(Ranikhet
disease)
クーバー (印)
- 第七三號 七面鳥ノ黒頭病
クレーグ (愛自)
- 第七四號 伊太利ニ於ケル鶏ノ疾病ニ關スル研究
ランフランキー (伊)
- 第七五號 伊太利ニ於ケル過去三ケ年間ノ家禽疾病ノ減少
衛生省 (伊)
- 第七六號 「ポー」河流域ニ於ケル小家畜ノ疾病
スタッチ (伊)
- 第七七號 鶏ノ盲腸壁ニ於ケル寄生性結節ノ性状及「ヘテラ
キス、ヴェジキュラーリス」ノ發育
板垣四郎 (日)
- 第七八號 「コクシデウム」ノ防遏
クライグスマン (瓜哇)

- 第七九號 白痢病ニ對スル抵抗性ノ遺傳
- 第八〇號 鷄ノ腸寄生線虫(Ascaridia Lineata)ノ重要性竝ニ其ノ防遏法
- 第八一號 北米合衆國ニ於ケル白痢病防遏ノ現況
- 第八二號 畜産局ニ於ケル家禽疾病ニ關スル研究事業
- 第八三號 白痢病ノ傳播竝ニ防遏ニ關スル研究
- 第八四號 鷄「チフス」
- 第八五號 鷄「コレラ」ノ疫學的所見
- 第八六號 家禽ニ於ケル寄生性線虫ノ生活史
- ◎第四部 經濟竝取引
- 第八七號 白耳義ニ於ケル鷄卵ノ取引ト標印
- 第八八號 白耳義ニ於ケル鷄卵ノ取引狀況
- 第八九號 「サスカチエワン」州ニ於ケル鷄卵、鷄ノ共同販賣
- 第九〇號 加奈陀ニ於ケル共同販賣事業ノ養鷄ニ對スル貢獻
- 第九一號 「プリンテッシュ・コロンビア」州ニ於ケル農場調

- 第九二號 查ト鷄飼養ノ狀況
- 第九三號 一般農場ニ於ケル養鷄
- 第九四號 大英國ニ於ケル鷄卵、鷄ノ價格
- 第九五號 北愛蘭ニ於ケル鷄卵ノ取引狀況
- 第九六號 蘇格蘭ニ於ケル鷄卵ノ生産ト其ノ取引狀況
- 第九七號 英國ニ於ケル輸入卵市場
- 第九八號 英國ニ於ケル輸入食鷄市場
- 第九九號 倫敦ニ於ケル鷄卵小賣ノ狀態
- 第一〇〇號 國定商標計劃ニヨル家禽生産物ノ取引
- 第一〇一號 各國ニ於ケル家禽及卵ノ生産竝ニ取引ノ統計的資料
- 第一〇二號 愛蘭自由國ニ於ケル鷄卵竝ニ鷄ノ取引狀況
- 第一〇三號 伊太利ニ於ケル家禽竝ニ卵ノ取引狀況
- 第一〇四號 伊太利ノ冷蔵工業ト家禽及卵ノ取引トノ關係
- 第一〇五號 和蘭ニ於ケル鷄卵取引ト其ノ取締
- 第一〇五號 葡萄牙ニ於ケル養鷄業ト其ノ可能性

- 第一〇六號 南阿聯邦ニ於ケル養鶏業ト生産物取引ニ就テ スペーサー(南阿)
- 第一〇七號 米國ニ於ケル鶏卵冷凍業ノ經濟的重要性 グリオンリー(米)
- 第一〇八號 太平洋岸鶏卵生産者組合ノ販賣方策、配車、輸出 ベンジャミン(米)
- 第一〇九號 標準格付ニ依ル鶏卵ノ購買ニ就テ ペイエン(米)
- 第一一〇號 紐育市卵、鶏ノ市況通報ニ於ケル仲介業ノ位置ト諸問題 アーナー(米)
- 第一一一號 米國ニ於ケル家禽及卵ノ外國貿易 ウルフアート(米)
- 第一一二號 養鶏生産物ニ對スル政府ノ市況通報並ニ等級統一事業ノ發達ト範圍 デーヴィス及スローカム(米)
- 第一一三號 中部加州ニ於ケル卵、飼料、家禽ノ共同組合業況 ローラ(米)
- 第一一四號 鶏、卵出荷ニ對スル新聞雜誌類ニ依ル指導機能 ボール・マンドヴィル(米)
- 第一一五號 市俄古商業取引所ノ使命ト其ノ事業 エルドレック(米)
- 第一一六號 丸雛ノ罐詰 キヤシユマン(米)

◎第五部 教育及一般

第一一七號 「ブルガリヤ」ニ於ケル養鶏並ニ其ノ發達ニ對スル

方策

- 第一一八號 七面鳥ノ等級査定登録 クレバロッフ(勃)
- 第一一九號 丁抹ニ於ケル鶏卵ノ生産及輸出 コルミ(加)
- 第一二〇號 丁抹ノ養鶏 ハラード・ファーバー(丁)
- 第一二一號 佛蘭西ニ於ケル養禽教育 コック(丁)
- 第一二二號 養禽ト自然科学 デランシャル(佛)
- 第一二三號 佛蘭西ニ於ケル七面鳥ノ飼育 ブランシャール(佛)
- 第一二四號 婦人ノ養鶏管理ニ於ケル習練ト農事ニ於ケル任務 フラウ・フォン・トロイエンフェルス・ダメロー(獨)
- 第一二五號 産卵能力檢定實施上ノ二、三ノ問題 クローサー(英)
- 第一二六號 産卵鶯ノ管理 カーリングトン(英)
- 第一二七號 英國家禽改良ニ對スル能力檢定ノ影響 ヘルム(英)
- 第一二八號 英國及威爾斯國立養鶏研究所ノ業績及其ノ影響 バークハースト(英)
- 第一二九號 英國及威爾斯ニ於ケル養鶏教育並ニ研究 デーラー(英)

- 第一三〇號 「インデアランナー」鶯ノ起原ト沿革
- 第一三一號 北部愛蘭ニ於ケル養鶏ノ發達
- 第一三二號 蘇格蘭ニ於ケル養鶏教育
- 第一三三號 希臘ノ養鶏
- 第一三四號 匈牙利ニ於ケル養鶏ノ現状
- 第一三五號 熱帶地ニ於ケル鶏ノ飼養
- 第一三六號 愛蘭自由國ニ於ケル養鶏指導竝ニ教育
- 第一三七號 國立種鶏場ノ地方設置ト其ノ成果
- 第一三八號 國粹黨全國農業者同盟ノ指導統轄ニヨル養鶏獎勵
- 第一三九號 日本 鶏 種
- 第一四〇號 産卵鶏ノ更新年度ニ就テ
- 第一四一號 和蘭農業者ニ對スル養鶏教育
- 第一四二號 波蘭ニ於ケル養鶏獎勵
- 第一四三號 瑞西ニ於ケル外貌ニヨル實用鶏審査法
- ミス・チザム (英)
- ジョーン・ゲッター (英)
- ミス・キンロックス (英)
- アントニアデス及ゾグラフィオス (希)
- ケレメン (匈)
- ミセス・フォーケス・アンセル (印)
- マリー・ヘンナーター (愛自)
- 農務省 (伊)
- ギギ (伊)
- 衣川義雄 (日)
- トゥカ (蘭)
- ケイザ (蘭)
- トゥリップルスキ (波)
- ホイッセル (瑞西)

- 第一四四號 瑞西ニ於ケル養鶏
- 第一四五號 養鶏實地指導事業ノ組織
- 第一四六號 豊家婦人ハ養鶏ニ就テ何ヲ爲セシヤ又爲シ得ルヤ
- 第一四七號 「バツテリー」育雛ニ於ケル管理及榮養
- ク レ プ (瑞西)
- シュレーダー (米)
- ミセス・シムモンズ (米)
- ピッタンベンダー (米)

◎第六部 家 兔

- 第一四八號 白耳義ニ於ケル養兔改良及生産物ノ共同販賣
- 第一四九號 家兔毛皮ノ生産ト取引
- 第一五〇號 家兔ノ成長ニ及ボス諸事情
- 第一五一號 家兔ニ於ケル受精力ノ調節
- 第一五二號 「アンゴラ」毛ノ成長
- 第一五三號 「アンゴラ」毛生産ノ過去及現在
- 第一五四號 家兔ニ於ケル二三ノ疾病
- 第一五五號 英國養兔業ノ發達
- 第一五六號 家兔ノ妊娠期間竝ニ産仔數ニ及ボス諸條件ニ關スル豫備研究
- テイルマン (白)
- ブラムウェル (英)
- キング・ウィルソン (英)
- ハムモンド (英)
- チェンバース (英)
- マクドールガル (英)
- グレ (英)
- ピッカー (英)
- ピッカー (英)
- ピッカー (英)

第一部 蕃殖及孵卵

白耳義

第一號 近親蕃殖ノ孵化率ニ及ボス影響

「ルーバン」大學講師、白耳義農會聯合會試驗場長 A. G. Dunon

最近四ヶ年間約六千羽ノ鶏ニ就キテ遺傳學的研究ヲ行ヘル結果著者ハ近親蕃殖ニ於テ屢々觀察サルル退化現象ヲ説明シ得ベキ事項ヲ指摘セリ而シテ以上ノ實驗ヨリ得ラレタル結論ハ次ノ如シ(一)異族系統間ノ交配ハ近親蕃殖ノ惡影響ヲ除ク故甚シキ危害ヲ被ルコトナクシテ遺傳式ヲ出來得ル限リ純粹ナラシムル爲ニ多少ノ近親蕃殖ヲ行フコトヲ得(二)如上ノ系統ヨリ得タル純粹蕃殖ノ雄ハ近親蕃殖ヲ受ケザル雌鶏ノ遺傳的性質ヲ研究スルニ便ナリ(三)實地蕃殖ニ際シテハ最良血統ノ雄ヲ異族ノ良血統ニ配スベシ(四)新血統ヲ作ルニハ若雌ハ常ニ遺傳學的分析ヲ行ハザルベカラズ即チ(1)若雌ハ確實ニ血統ヲ異ニスル雄ト交配シ(2)雄ハ出來ルダケ目的ノ形質ニ對シテ劣性ナルヲ要ス(五)斯クシテ優秀ナル若雌ハ優秀ノ雄ニ交配スベシ

ブルガリヤ

第二號 鶏卵ノ受精

G. S. Chebaroff

「ソフィア」ニ於ケル中央養禽實驗所ニ於テ白色「レグホーン」、黑色「ミノルカ」、黑色「シユメンカ」及白色「セヴリーヅカ」四十四羽ノ試験鶏ヲ以テ鶏卵ノ受精試験ヲ行ヘリ其ノ結果次ノ如シ(1)一回交尾後間モナク其日ニ産ミシ卵ハ常ニ無精卵ナリ(2)最初ノ受精卵ハ原則トシテ交尾後二日目ニ生産セラレ若シ二日目ニ産卵無クバ最初ノ受精卵ハ三日目、四日目又ハ五日目トナルベシ(3)最後ノ受精卵ハ試験鶏ノ大部分ガ二週目中(三八件、七七・五%)ニ産メリ二羽(四%)ハ一週ノ終ニ九羽(一八・四%)ハ三週目中ニ産ミシガ交尾後十九日目(二件)ヨリ遅キハナシ(4)一回ノ交尾ニヨル受精卵ノ數ハ雌鶏産卵速度及雄鶏ノ交尾慾ノ強サニヨリ著シク變化シ本試験ニアリテハ最高八箇ナリキ

佛 蘭 西

第三號 長期産卵檢定ニ代フベキ各種間隔檢定ノ採用可能性ニ就テ

國立農學研究所(巴里) Ch. Voitellier

「ベルサイユ」ノ産卵檢定会ニ於テ連日ノ産卵檢定ノ實績ト(1)四十八週間ヲ通ジテ一週ニ一日(2)同ジク一週ニ連續二日(3)各四週毎ニ一週間記録スル場合トノ比較調査ヲ行ヒタリ而シテ一週ニ一回水曜又ハ木曜日ノミノ産卵ハ全生産數ノ七分ノ一即チ一四・二八%ヲ表示スベキ筈ナレドモ事實ハ水曜日檢査鶏ハ一四・五四%木曜日檢査鶏ハ一三・三〇%ニシテ此ノ兩日ニ連續檢定セル結果ハ二八・五

六%ノ代リニ二七・八四%ヲ示シタリ次ニ毎四週ニ一週間ツツ檢定セル場合ハ理論的ニ二五%ヲ表示スベキ筈ナルニ二ヶ年間ノ實績ハソレゾレ二四・四九%及二五・五二%ヲ示セリ但シ上記何レノ場合ニ於テモ個體毎ノ變差ハ相當大ナリトス此等ノ方法ヲ採用センニハ「トラップネスト」ニハ取ハズシ得ベキ前板ノ設備ヲ必要トスルモ此間歇の調査ニ依リ多大ノ勞力ヲ節約スルコトヲ得即チ毎週二日連續ノ調査ヲ爲ス場合ニハ一人ニテ能ク永期調査式ニ於ケル三倍ノ産卵鶏ヲ取扱ヒ得ベク毎四週ノ内一週間ノ檢定ヲナス場合ニハ一人ニテ四倍ノ分量ノ調査ヲ爲シ得ル理ナリ

第四號 卵巢内分泌物ニ依リ隱蔽サレタル伴性遺傳ノ一例

佛蘭西大學生理學研究所 F. Caridroit and V. Regnier

銀色「アルデンネ」ノ雄ニ金色「アルデンネ」ノ雌ヲ配セル場合ハ第一代ニ於テ金色ノ雄ト黑色ノ雌ヲ生ズ此等ノ雄ニ姉妹ノ卵巢ヲ移植シテ雌化セシムレバ黑色ノ雌トナル雜種雌ノ卵巢ヲ割去セバ銀色ノ雌トナル即チ卵巢ノ作用ニヨリ隱蔽サレシ伴性遺傳ノ新例ト見做シ得ベシ此等ノ雌ノ卵巢ガ金色種竝ニ銀色種ニモ同様ニ作用スルヤ否ヤハ問題ナレドモ少クモ此等ノ事實ハ遺傳學ニ於テ現象型ノ研究竝ニ解釋ニ當リ環境ニ依ル作用(此ノ場合ハ内部ノ環境)ノ重要性ヲ強調ス

第五號 孵卵試驗

「ミュンヘン」市外「エルデング」 L. Weimüller

一九二八年及一九二九年ニ「エルデング」ノ地方家禽研究所ハ孵卵中ニ於ケル卵ノ廻轉、孵卵中ニ於ケル酸素ノ必要量及卵ヲ包圍スル空氣ノ濕度ニ就テ九十八區合計五千八百九十箇ノ卵ヲ用ヒ試験セリ最モ判然タル結果ハ卵ノ廻轉問題ニ就テ得ラレタリ入卵最初ノ一週間ニ卵ヲ一日十二回廻轉スル時ハ胚ノ大部分ガ發育シ第二週ニハ同様ノ廻轉ヲ屢々繼續スルヲ不可トシ後回轉數ヲ減ジ第二週中ニ一日二乃至三回ノ廻轉トナスヲ最モ良トシ入卵十八日後ハ廻轉ヲ停止スベシ勿論此方法ハ孵卵器ノ構造ガ廻轉式ナル場合ニ於テ實行サルルモノニシテ若シ手ニテ廻轉スル場合ハ最初ノ一週間ハ一日三回第二週以後十八日迄ハ一日二回又ハ一回廻轉スルヲ可トス

酸素ノ必要ハ入卵後十二日目頃ヨリ起リ濕度ハ餘程高クトモ孵卵ニ有害ナルコトナク第三週ニハ卵ノ四圍ガ十分濕潤ニシテソノ間ニ孵化セシムルヲ得策トスレドモ酸素ト濕度ニ關シテハ孵卵器ノ構造ト地方ノ氣候狀態ニヨリ影響ヲ受クルコト多シトス

第六號 獨逸ニ於ケル系統蕃殖ト一般ノ實用蕃殖トノ關係

伯 林 A. Schachtzabel

獨逸ニ於ケル趣味養鶏ガ純粹種ノ成立ヲ助長シ純粹種ノ保存サレシコトガ後日實用鶏ヲ純粹種ヨリ作り出スニ役立チタリ系統蕃殖ハ猶一部分ニ於テ贅澤視サルルモ實ハコノ蕃殖法ガ實用的蕃殖ニ基礎ヲ與ヘシモノニシテ將來亦其ノ基礎タルベシ「純粹種ノ高能率化」主義ノ實現ハ極メテ密接ナル關係

ニ於テ系統及實用蕃殖ノ一致ヲ來タサシム即チ(1)系統蕃殖ハ近代ノ家禽實用蕃殖ノ基礎ヲ代表ス(2)系統蕃殖モ實用蕃殖ニ對シテ最モ重大性ヲ有シ兩者ノ關係ハ相互的ナリ(3)系統蕃殖ハ假令多少ハ愛玩ノ目的ニ利用サルルトモソレハ實用蕃殖ノ分枝ト思ハザルベカラズ

大英國及北愛蘭

第七號 多産能力ニ關スル試験

「ケンブリッジ」大學 R. C. Punnett

此試験ハ伴性因子モ亦相互ニ連鎖ヲ示スト云フ原理ニ基キタリ曾テ「パール」氏ガ暗示セル如ク若シ高キ産卵能力ヲ現ス伴性因子ガ存在スルトセバ銀色竝ニ横斑羽裝ヲ現ス因子ト共ニ同一ノ連鎖系統中ニ見出サルルナラン主ナル試験ニ於ケル第一代雜種ノ雄鶏ハ横斑(B)ト銀色(S)ヲ有スル産卵能力高キ「ホワイトワイヤンドット」ノ雌ニ産卵能力ノ低キ金色無横斑「インデアングーム」ノ雄ヲ交配シテ作りタリ此ノ第一代雄鶏ヲ絹糸鶏(能力ノ低カルベキ金色無横斑)ノ雌鶏ニ交配セルニ着色セル四組ノ雌鶏即チ銀色横斑、銀色無横斑、金色横斑及金色無横斑ヲ生ジタリ若シ多産性ヲ現ハス伴性因子アリトセバ無横斑ヨリモ横斑ノ中ニ或ハ金色ヨリモ銀色ニ或ハ横斑、銀色双方ニ多産性ヲ高率ニ生ズベキ理ナリ試験ノ結果ハ他ノ試験ノ結果ト同様ニ多産性ノ伴性因子ノ存在ヲ示サザリキ然シ其ノ存在ノ可能性ヲ試ムル爲更ニ進ミシ實驗ヲ行ヒツツアリ

第八號 鶏ニ於ケル卵巢機能ニ關スル試験

「エデンバラ」大學畜産研究部 A. W. Greenwood and Janet S. S. Blyth

正常ナル雌鶏ニ卵丸移植ヲ試ミタル結果鶏ノ卵巢機能ノ度ハ卵巢ニ作用スル或ル他ノ生理的因子ニ關聯スルヲ見出シタリ刺戟物ノ性質ハ未ダ不明ナレドモ「サント」氏ガ假說セル如ク生殖腺ノ發達及作用ニ必要ナル或種ノ食物物質ノ存在ヲ考ヘザルヲ得ズ其ノ論據ハ好結果ノ卵丸移植ガ産卵ヲ抑制シ且ツ附屬生殖器ノ發達ヲ制限スル事實ニ基キタリ

第九號 「ランカシャー」ノ改良蕃殖方法

「トム、バロン」養鶏場主、「キヤットフォース」(プレストン) Tom Barron

一定ノ方針ノ下ニ全國家禽評議會ノ承認セル産卵檢定会ニ於テ優良ノ成績ヲ擧ゲタル鶏ヲ「ランカシャー」實用家禽組合ノ建設セル蕃殖場ニテ交配ス而シテ其雛ヲ育成シ生後三ヶ月ニ達シタル時親鶏ノ所有者ニ交付ス鶏ノ所有者ハ一羽ニ付キ一磅ノ加入料ヲ拂ヒ育成サレシ雛一羽ニ付キ七志ノ割合ニテ育成料ヲ支拂フ鶏種ハ「ホワイトレグホーン」、「ロードアイランドレッド」、「ホワイトワイヤンドット」、「バフロック」、「ブラックレグホーン」及「アンコナ」ノ六種類ナリ一九二九年ノ春季ニハ七十二羽ノ雌鶏ガ右蕃殖場ニ收容サレ千二百羽ノ雛ヲ育成シ一九三〇年ニハ二百二羽ヲ收容シ約三千羽ノ雛ヲ育成シタリ

第一〇號 近親蕃殖ノ影響

農漁省全國家禽研究會議北部蕃殖副委員會議長

J. S. Dunkerly, Northern Breeding Sub-Committee

次ノ二型ニ屬スル近親蕃殖試験ノ結果ヲ報告ス即チ(一)血統ノ異ナル兩親ヨリ生ジタル娘鶏ニ再ビ其ノ父鶏ヲ配スル型、(二)父母ヲ同ジフスル雄雌ヨリ出デタル娘鶏ニ再ビ父鶏ヲ配スル型ノ二型ニツキ交配ノ結果ヲ同ジ雄鶏ヲ用ヒタル遠親交配ノ結果ト比較セリ

- (一)多産性 統計學的ニハ明確ニ差異ヲ認メ難キモ産卵能力高キ個體ハ右ノ内交配ノ何レヨリモ外交配ニ多ク生ズルガ如シ
 - (二)無精性 多クノ場合ニ於テ外交配ヨリモ内交配ニ依ル仔鶏ニ多ク現ル
 - (三)孵化力 父子交配ノ多數ハ對照區ヨリモ孵化力ヲ低下ス
 - (四)生育力 凡テノ父子内交配及只一例ヲ除ク父子外交配ニ於テハ外交配ノ對照區ヨリ生育成績不良ナリ孵化後十六週ニ於ケル雛數ヲ入卵數ニ比スルニ試験區ハ何レモ對照區ニ比シテ著シク低率ナリ
 - (五)性的成熟期 多數ノ場合孵化ヨリ初産ニ至ル日齡ハ内交配ニ依テ生ジタル鶏ノ方大ナリ
 - (六)成熟時ノ體量 内交配及外交配ニ依ル仔鶏ノ成熟時ニ於ケル平均體量ノ差ハ僅少ナリ
- 孵化並ニ育成ノ成績ハ明ニ近親交配ノ不利ナルコトヲ示セリ産卵能力ニアリテモ内交配ニ依ル仔鶏

ニ於テハ寧ロ低下ヲ示セリ平均二百卵以上ノ雌ト産卵能力高キ系統ノ雄トノ間ニ生ゼル、兄妹ノ交配ハ平均約百六十卵ノ鶏ヲ生ズ同交配ニ於テハ無精卵ノ生産ハ餘リ多カラザルモ孵化率ハ僅ニ五〇%ナリ又育成率モ外交配鶏ヨリ低ク性的成熟ニ達スルニハ三十週ヲ要セリ

伊 太 利

第一一號 純粹「レグホーン」伊太利地方種間雜種中ヨリ産卵鶏ノ選抜ニ就テ

ロビゴー Anita Taibell

通常「イタリー」種ノ産卵數ニハ甚シキ變異アルモ概シテ多産ナルモノ稀ナリ之ニ多産系統ノ純粹白色「レグホーン」種雄ヲ交配セル結果著シク産卵ノ増加ヲ認メ、産卵鶏ノ改良上正確ナル遺傳學的淘汰蕃殖、特ニ雄鶏ノ選抜ノ重要ナルヲ述ブ

第一二號 胚雛ニ於ケル心臟組織ノ發達竝ニ成長ニ關スル試驗

「トリノ」大學解剖研究部 O. M. Olivo

胚雛ノ發達初期ニアル心臟ヲ摘出シ生活セルママ培養スルトキハ母體ヨリ獨立シテ發達セシメ得ベクカクシテ心臟組織ノ收縮性其ノ他特殊ナル組織學的特徴ハ少ナクトモ六ヶ月間保持セシメ得ベシ猶正常ナル孵卵溫度(二九・五度)ヨリモ低溫(三四・五度)ニテ孵卵サレシ胚雛ニ於テハ心臟ノ成長ハ孵卵期間ノ前半期ニ在リテ緩漫ナルモ後半期ニ於テ著シク急速ナリト述ブ

第一三號 鳥類ノ「エンブリオ」期ニ於ケル卵巢竝ニ輸卵管ノ解剖學的脈管狀態

及其ノ官能の意義

「ボロニヤ」大學教授 E. Giacomini

卵黃囊壁ノ透明部竝ニ脈管部及尿管ノ外壁ノ解剖學的研究ハ右各部ニ於ケル血管特ニ其ノ分枝管ガ夫々特殊ナル配列ヲナスコトヲ明ニセリ是等各部ハ密接ナル關係ヲ有シ夫々相互ニ作用ス透明部ハ濾過作用ヲ營ミ其ノ脈管ハ特ニ孵卵第一週間ハ卵黃液ヲ形成スベキ液體竝ニ羊膜囊ニ供給スベキ液體ヲ滲出スト述ブ

第十四號 鶩ニ於ケル諸形質ノ遺傳

「ボロニヤ」 Anita Vecchi

支那鶩 (Cygnopsis cygnoides) ト普通鶩 (Anser anser) トヨリ作レル蕃殖力アル雜種ニ於テハ支那鶩ニ於ケル前額ノ瘤及暗色背線ハ何レモ中間狀態ヲ呈ス而シテ雜種第二代ニ於テハ種々ナル程度ノモノ分離シ來ルヲ以テ是等ノ形質ハ遺傳因子ノ重複ニ因ルベク從テ前額ニ瘤ヲ有スル白色乃至灰色鶩其ノ他種々ノ組合ノモノヲ生産シ得ベシト述ブ

日 本

第一五號 鶏精絲ノ體外ニ於ケル生存期間

人工的媒液ヲ用ヒ體外ニ於ケル鷄精絲ノ生存期間ヲ觀察セルモノニシテ其ノ精液ハ著者考案ノ器具ヲ用ヒテ交尾ノ際之ヲ採取セリ

(一)生理的食鹽水濃度ノ影響 生理的食鹽水ノ濃度ヲ 〇・三、〇・五、〇・七、〇・九及一・〇%トシ精液ヲ一〇倍ニ稀釋シ精絲ノ生活狀態ヲ檢セルニ 〇・九及一・〇%ノ濃度ノモノ最モ有效ナルヲ認メ實用濃度トシテハ 〇・八一——〇・九〇%ヲ良シトス本實驗ニ於テ濃度高キ場合ニハ精蟲ハ三時間以上活動シ低キ場合ニハ二時間以内ニ短縮セリ

(二)稀釋度ノ影響 濃度一・〇%生理的食鹽水ヲ以テ精液ヲ 二、五、八、一〇、一五、及二〇倍ニ稀釋シ夫々精絲ノ活力ヲ檢鏡セルニ 五——一〇倍ニ稀釋セルモノ最良ノ結果ヲ示セリ

(三)化學反應ノ影響 苛性曹達ハ其ノ 〇・〇〇二%溶液ノモノ最良ノ結果ヲ示シ鹽酸ヲ用ヒタル一例ハ其ノ 〇・〇〇〇二%溶液ノモノ最良ノ結果ヲ得タリ

(四)日光、溫度、血清及卵白ノ影響 精絲ノ生存期間ハ分散光線ニ曝スモ暗所ニ蓄フルモ殆ド差異ナキモ日光ヲ直射セシムレバ短縮セラル、溫度ニツキテハ體溫ヨリモ低溫ニ於テ生存期間永シ次ニ雌鷄ノ血清及一%生理的食鹽水ヲ以テ夫々精液ヲ一〇倍ニ稀釋シタルニ雌鷄ノ血清ハ精蟲ノ活力ニ有害ナル作用ヲ及ボスガ如シ又卵白中ニ於ケル精蟲ノ生存期間ハ一%生理的食鹽水中ニ於ケルヨリモ

長キヲ見タリ

第一六號 白色「レグホーン」種ニ於ケル產卵能力増進ニ關スル蕃殖試驗

農林省畜產試驗場 木 村 和 誠

一九一九年畜產試驗場ニ於テ孵化セル未ダ血統ノ記載ナキ二八羽ノ單冠白色「レグホーン」種ヲ基礎トシ爾後血統ヲ記錄スルハ勿論「トラップネスト」ニヨリ年々子孫ノ產卵ヲ記錄シ累代系統蕃殖ヲ行ヘル結果最近著シク產卵能力増進ノ實績ヲ收メ得タルヲ述ブ、即チ一九一九年——二〇年ニ於テハ平均初年度產卵數百四十二箇、最高百七十七箇、最低八十箇ナリシモ一九二八——二九年ニ於テハ平均初年度產卵數二百三十箇、最高三百二十二箇、最低百四十五箇ニシテ二百五十箇以上ノモノ二八・一%ヲ占メ其ノ三羽ハ三百箇以上ノ記錄ヲ示セリ

次ニ各個體產卵ノ平均重量ハ最近產卵箇數ノ著シキ増加ニ伴ヒ幾分低下シタルガ如キモ連年ノ變化ヲ見ルニ其ノ増減必ズシモ箇數ノ多寡ニ伴ハズ又各年度ニ於ケル產卵箇數ト平均卵重量トノ相關ヲ檢スルニ兩者ノ關係ハ殆ド之ヲ認メ難キ場合多キヲ以テ將來產卵箇數ノ増加ニ加フルニ卵量ノ増大ヲ期待シ得ルノ希望大ナリ

初産日齡ニ關シテハ最近急速ニ其ノ日數ヲ短縮シ、一九二八——二九年ニ在リテハ百八十日ノ平均ヲ示セリ而シテ各年度ニ於ケル初産日數ト產卵箇數トノ間ニハ概ネ可ナリノ相關係數(負)ヲ示セル

モ初産日齡ト平均卵量トノ間ニハ少數ノ場合ニ於テ多少ノ相關(正)ヲ認メシムルニ過ギズ
和 蘭

第一七號 「バルネフェルダー」種竝ニ「ウエルズンマー」種ノ起源及和蘭實用鶏種ノ産卵狀況

P. J. Wijk and P. abbels

約八〇年前「バルネフェルド」地方ニ飼養セラレタル地方在來鶏種ニ順次「コーチン」、「ブラマ」、「ラ
ンシヤン」、「コバフォンピントン」等交配セラレ一九一〇年以來羽色及體型ノ均一ニ努力セラレタル鶏
種ハ爾後「バルネフェルダー」ノ名ヲ以テ呼バルルニ至レリ、「ウエルズンマー」種ノ起源モ亦前種ト
同期ニ溯リ得ベク後年「バルネフェルダー」、「ロードアイランドレッド」、「バートリッチレグホーン」
等トノ交雜盛ニ行ハレシモ後特ニ「ウエルズム」村近在ニ於テ本種體型ノ固定ニ極力努力シ遂ニ公
認産卵記録法ヲ適用スルニ至レリ、以上二種何レモ褐色大形卵ヲ生産ス、實用鶏種ノ産卵狀況ニツ
キテハ一九二六年以降、白色「レグホーン」、「バルネフェルダー」、「ロードアイランドレッド」、白
色「ワイヤンドット」ニ就キ産卵檢定会ヲ開催シ(一)十月十五日ヨリ二月一日マデノ産卵ニシテ四十
三瓦以下ノモノ、二月一日ヨリ十月十日マデノ産卵ニシテ五十瓦以下ノモノハ失格トシ、(二)生産卵
價格ハ毎週ノ平均價格ヨリ毎月ノ卵一疋ニ對スル價格ヲ算定シ各品種ノ優劣ヲ比較シツツアリ、而
シテ一九二六年以降三ヶ年間ニ於ケル産卵檢定成績ノ平均數値ハ次ノ如シ

品 種	年 産 卵 個 數	平均卵重量(瓦)	卵一個平均價格(セント)
白色レグホーン	一九七・二	五八・二	六・三
バルネフェルダー	一六八・〇	六〇・三	六・七
ロードアイランドレッド	一六九・四	五九・八	六・九
白色ワイヤンドット	一七三・〇	五八・一	六・四

第一八號 品種ノ純粹性ニ關聯セル鶏ノ外部特徴

萬國家禽學會副會頭 C. S. The. van Gink

品種ノ純粹性ヲ表示スベキ外部特徴ノ研究ハ現在甚シク等閑視セラル最新式蕃殖法竝ニ極メテ精確
ナル記録法ヲ以テスルモ蕃殖家ニシテ其ノ飼養鶏ノ個體別蕃殖價值ヲ十分ニ判定シ得ザレバ利スル
所僅少ナルベシ、鶏ノ外貌ハ熟練セル蕃殖家ノ眼ニハ恰モ外貌ガ不明ノ交配ヲモ表明スルガ如ク、
其ノ活力竝ニ狀態上ノ微細ナル缺陷ト雖モ反映ス、數種ノ和蘭種ハ如何ナル雜種交配ニテモ直チニ
判明スルガ如キ羽色ノ特徴ヲ示サウ改良蕃殖セラレタリ

第一九號 遺傳學者ガ種鶏蕃殖家ト協力シ得ベキ諸方途

「ライデン」大學遺傳學講師 A. L. Hagedoorn

遺傳學者ノ學理的發見ノ實際方面ヘノ應用ハ科學者ト蕃殖家トノ協調ヲ缺クガ故ニ困難トナル、而シテ兩者ノ協調ハ科學者ガ蕃殖家ノ立場ヲ理解シ直接ニ接觸スルコトニヨリテ達セラル、蕃殖家ノ利用シ得ベキ學理的的研究事項トシテハ(一)個體ノ差異竝ニ雌雄別ノ遺傳學的分析、(二)多産鶏選別方面ヨリ見タル相關關係、(三)近親蕃殖竝ニ雜種活力、(四)疾病抵抗力ノ遺傳、(五)多産性及孵化率ノ相異ノ遺傳等ニ關スル諸研究ナリトス、又科學者ガ蕃殖家ト協調ノ下ニ應用シ得ベキ實際方面ノ事項トシテハ(一)既成品種ニ遺傳因子ヲ添加シテ新品種ヲ作出スルコト、(二)既成品種ノ新劣性品種ヲ固定スルコト、(三)雜種及其ノ子孫ニ關スル研究、(四)應用遺傳學ニ關スル相談所ノ設置、(五)産卵檢定ニ關スル改良法ノ案出等之ナリ

西班牙

第二〇號 卵殼重量ノ變異ト其ノ卵量ニ對スル關係

「トルンナ」 R. de Escarriaza

四百九十二箇ノ卵ヲ秤量シ其ノ卵殼ノ風乾物ヲ秤量シタル數字ヨリ次ノ結論ヲ得タリ、(一)同品種、同氣候及同飼料ニ於テハ卵殼重量ノ變異ハ個體ノ變異ニ起因ス、(二)卵ノ大キサ及重量ハ卵殼重量ノ變異ニ關係ヲ有ス、即チ最小及最大卵ニ於テハ共ニ卵殼重量ノ全卵量ニ對スル比率大ニシテ、中間大ノモノニ在リテハ其ノ比率最小ナリ

第二一號 多産鶏ノ選擇ニ限度存スベキカ

「バルセロナ」 F. Font y Mateu

優秀ナル多産鶏ヨリ選抜セル白色「レグホーン」種群ト、蕃殖上何等ノ選抜ヲモ加ヘザル「バフ」色「ブラツ」種群ノ二年間ノ産卵統計ヲ比較スルニ第二年度ノ産卵減少數前者ニ於テハ平均四六・三箇、後者ニ在リテハ同ジク六・九箇ヲ示セリ、此ノ結果ヲ經濟的ニ調査スルニ「レグホーン」種ハ毫モ優良ナル結果ヲ示サズ果シテ然ラバ多産鶏ノ選別ニハ恐ラク限度アルベシト述ブ

北米合衆國

第二二號 短脚鶏及逆羽鶏ノ遺傳學竝ニ生物學的研究

「コネテカット」州立農事試驗場(ストーアス) Walter I andauer

短脚鶏ノ特性ハ單性優性因子ニヨリ決定サルルモノニシテ其ノ同種接合型ハ致死ヲ結果ス即チ同種接合型ノ胚ハ孵卵第四日目ノ初メニ死滅スルヲ普通トシ少數ハ孵化前マデ存生スルモ甚シキ畸形ヲ呈ス、而シテ畸形胚雖ノ大部分ハ雜種活力ノ原理ニ基キテ生キ殘レルモノニシテ血族關係ナキ短脚鶏ノ交配又ハ一代雜種相互間ノ交配ヨリ生ゼルモノナルヲ見タリ
逆羽鶏ノ特性ハ單性優性因子ニヨルモノニシテ異種接合型ノモノヲ相互ニ交配セシ場合ハ同種接合型一、異種接合型二、及正常一ノ比ニ分離ス、同種接合型ハ致死ニ至ラザルモ生育ノ當初殆ド裸ニ

シテ雄ノ大多數ハ未成熟ニ終ル猶逆羽ノ形狀ニハ三型アルコト及其ノ相互間交配ノ結果等ニ關スル研究ヲ述ブ

第二三號 鶏ニ於ケル卵ノ大サ竝ニ多産性ニ關スル因子間ノ連鎖關係

「マサチュセッツ」州立農事試驗場 F. A. Hays

一九二七年ヨリ三ケ年間ニ孵化セル多産系統ニ屬スル「ロードアイランドレッド」ノ雌鶏三百五十四羽ノ産卵成績ニツキ研究セルモノニシテ各個體ノ初産ヨリ十二月末日マデノ産卵ニツキ平均卵重量ヲ算出シ比較セリ

各遺傳因子間ノ連鎖關係中卵ノ大サニ關スル因子A及Bト早熟性因子E及E₁トノ間ニハ連鎖關係現レズ又A、Bト冬季休産因子Mトノ間ニモ連鎖關係見出サレズ次ニ大形卵因子Bト連産因子I(二・一——三箇連産)トノ間ニハ連鎖關係存在シ其ノ交叉價ハ約三四・〇四%ナリ又小形卵因子Aト連産因子I₁(三箇以上連産)トノ間ニモ亦連鎖關係存在シ其ノ交叉價ハ約三六・五六%ナリ而シテ卵ノ大サニ關スル二因子ト就巢性ニ關スル二因子間及産卵持續性因子トノ間ニハ連鎖關係ナキガ如シ

第二四號 孵卵ニ於ケル湿度ノ條件

「オハイオ」州「クリーブランド」スミス」式孵卵器會社技師 T. S. Townsley

「キヤビネット」型扇風装置ヲ施セル孵卵器ヲ使用シ其ノ温度竝ニ湿度ヲ種々ニ變化シ孵卵試驗ヲ行ヒシ結果次ノ結論ヲ得タリ

- (一)「キヤビネット」型孵卵器ヲ使用シテ鶏雛及鶯雛ノ最高孵化率ヲ得ンニハ比較的高濕ヲ必要トス、
- (二)湿度及温度ノ適當ナル平衡ハ極メテ肝要ナリ、
- (三)湿度ノ増加ニ從ヒ温度ノ必要ハ減少ス、
- (四)該孵卵器ニアリテハ器内ノ湿度十分ナルトキ「フォルマリン」「瓦斯燻蒸消毒」ハ有效ナリ、
- (五)鶯卵ニ撒水スルコトハ温度ノ高キニ過グル場合ニノミ有效ナリ

第二五號 鶏ニ於ケル活力ノ遺傳

「カンサス」州立農科大學 D. C. Warren

米國養鶏家ノ間ニハ近年鶏ノ活力減退セリト稱スルモノ多シ蓋シ蕃殖法ノ如何ガ活力ニ如何ニ影響スルヤヲ考究スルノ要アルベシ近親蕃殖ハ概ネ速ニ活力ノ衰退ヲ結果シ雜種蕃殖ハ活力ヲ増進スルコトハ既知ノ事象ナリ、著者ハ白色「レグホーン」ト「ジャージーブラックチャイアント」ノ交配ニヨリ著シキ刺戟ヲ認メタリ、即チ右交配ニヨル卵ハ已ニ純粹交配ノ卵ヨリモ孵化成績良好ナルノミナラズ雛ハ活力大ニシテ生長速ク且ツ兩原種ノ何レヨリモ多産ナリキ、「ロードアイランドレッド」雌ニ白色「レグホーン」雄ヲ交配セルモノハ活力ニ於テ何レノ原種ヨリモ優リ其ノ逆交配ニアリテハ成熟ヤヤ晚キ傾キアルモ晚熟ノ原種ヨリ遙ニ早熟ナリキ、又各別ニ蕃殖セラレタル白色「レグホーン」

ノ二系統間ノ交配ハ異品種間交雜ノ場合ニ比シ刺戟ノ程度ハ輕少ナリ、猶白色「レグホーン」、「コロドアイランドレッド」及橫斑「プリマスロック」三品種間ノ凡テノ組合セノ交配雜種ハ其ノ成長及活力ニ於テ何レノ純粹原種ヲモ凌駕セリ

第二六號 「コーネル」大學試驗場ニ於ケル多產寡產兩系統ノ「レグホーン」蕃殖二十年間ノ結果

「コーネル」大學養鶏部 G. O. Hall and D. R. Marble

本報告ハ一九〇八年ヨリ一九二八年ニ亘リ行ハレタル單冠白色「レグホーン」ノ二ツノ異ナレル系統ノ淘汰竝ニ交配ノ結果ヲ示セルモノニシテ主トシテ初年度產卵數、從トシテ卵重量、初産日齡及生體量ヲ考察セリ

右二十年間ニ於テ是等諸形質ニハ甚ダ顯著ナル變化起リ、然モ多產系、寡產系ト呼ベル二系統間ニハ其ノ變化中ニ確然タル相違ヲ示セリ

本試驗ノ實際的價值ハ兩系統ノ鶏ニヨル經濟的収益ヲ示セルコトニヨリテ明ニ、又產卵ニ關係アル遺傳的要素ノ重要ナルコトハ其ノ行ハレタル豫備研究ニヨリテ極メテ明白ナリ、要スルニ周到ナル淘汰ト交配ニヨリ體量竝ニ卵重量ヲ増加スルト同時ニ產卵數ノ増加ヲ期待シ得ベク嚴密ナル淘汰ニ依リ、產卵數増加ニ伴ヒ體量竝ニ卵重量ノ減少スル一般ノ傾向ヲ防除シ得ベシトス、產卵鶏ガ能率高キ生産者タルガ爲ニハ良ク飼養セラルルト同時ニ良ク蕃殖セラレザルベカラザルノ理ヲ實證セ

リ

第二七號 孵化力ノ遺傳

農務省畜産局養鶏主任技師 Morley A. Jull

多數ノ娘鶏ノ(産卵セル卵ノ)孵化率ト其ノ母鶏ノ(産卵セル卵ノ)孵化率ヲ比較シタル結果、孵化力ハ遺傳スルモノツ以上ノ遺傳因子ニ依ルノ結論ニ達ス、又近親交配ノ孵化力ニ對スル結果ハ、孵化力ニ影響スル生理的要素ノ存スベキヲ暗示シ異種交配ニ於テモ同様ノ現象ヲ觀察シ得ベシトス斯クシテ孵化力ノ遺傳ニ關スル因子ノ正確ナル數ヲ決定スルニハ尙多クノ研究ヲ要スベシトナス

第二八號 孵卵中ニ於ケル胚雛死滅ノ起ル時期竝ニ其ノ原因

農務省畜産局生理專攻技師 T. C. Byerly

一九二九年六月ヨリ翌年一月ニ至ル間ノ孵卵中ニ生ゼルニ、〇八七ノ死胚雛ヲ研究セル結果ヲ報告セルモノニシテ胚雛死滅ノ起ル最初ノ頂點ハ孵卵第三日ニシテ、是ハ排泄物ノ蓄積ト「ヴォルフ」氏體ノ機能廢絶ニ起因スルナラン、次ノ頂點ハ孵卵第十日ニシテ其ノ原因モ亦排泄物ノ蓄積ナルベシ、最後ノ三日間ニモ死籠卵ハ増加シ、其ノ過半數ハ何等カノ異常位ヲ示セリ而シテ死胚總數ノ九・三六%ハ構造上ノ畸形ヲ示シ就中轉位及眼、腦部ノ缺陷最モ多數ナリ猶孵卵第七日目ニ無精卵トシテ除去シタル卵ノ二二・五%ハ受精卵ニシテ發生ノ初期ニ死滅セシモノナルヲ知レリ、故ニ燈光檢卵ノ

ミニヨリ無精卵ヲ決定スルハ生産卵ノ孵化力ニ對スル種鶏選抜ノ根據トシテ不確ナリト云ハザルベカラズ

第二九號 産卵鶏ノ個體別産卵重量變化ノ經濟的意義

「ニュージャーシー」州立農事試驗場養鶏技師 Willard C. Thompson

經濟的採卵養鶏改良上飼養鶏ノ素質向上ニ關シテハ適正ナル淘汰蕃殖ニヨリ一等卵ノ最大生産率ヲ有スル産卵鶏ヲ得ルニアリ、白色「レグホーン」産卵鶏ノ記録ヲ檢スルニ年産卵數ト一等卵、中等卵及小卵ノ生産率トノ間ニハ何等ノ相關關係ヲモ見出シ得ザルヲ以テ、卵重量ハ全然別個ノ因子トシテ遺傳スルモノト見ナシ種鶏ヲ淘汰スルヲ妥當トス、一等卵、中等卵、小卵ノ初年度産卵數ハ個體ニヨリ著シク異ナルヲ以テ單ニ「トラップネスト」ニ依ル初年度産卵數ヲ以テ優劣ヲ判斷スルハ適正ナラズ、寧ろ生産卵ノ評價額ニヨリ或ハ産卵總數ト一等卵ノ生産歩合トニヨリ産卵鶏ノ經濟價值ヲ表示スルヲ可トスベシ

第二部 榮養及育成

白耳義

第三〇號 紫外線ト養鶏

「リエーシュ」、「スクルサン」 C. Bouhon

養鶏上ニ人工的紫外線ノ照射及紫外線透過硝子ノ使用ハ種々ノ理由ニ由リ實際應用困難ナリ結局肝油又ハ紫外線ヲ照射セル飼料ヲ給與スルコト等ニヨリ實際的效果ヲ擧グベクカカル特殊飼料ノ比較的價值ヲ知ルニハ生理的效果ノ單位ニヨラザルベカラズ而シテ從來之ガ決定ニハ鼠ヲ使用シ來リシガ著者ハ之ニ鶏ヲ用フベシトナシ其ノ實施法ヲ述ブ

加奈陀

第三一號 榮養ト孵化力

「オンタリオ」州立農科大學(グェルフ) W. R. Graham

母鶏ニ與ヘタル蛋白質ノ給源ノ異ルニ從ヒ其ノ生産セル卵ノ孵化力ニ相違アレド右各種蛋白質飼料ニ肝油ヲ添加スルニ其ノ産卵ノ孵化ヲ良好ナラシムルト然ラザル場合トアリ猶肝油ハ日光ノ代用物トシテノ作用ヲナサザルコトヲ説ケリ

佛蘭西

第三二號 孵卵中胚ノ榮養ニ變化ヲ與フル實驗

「シニール」縣、「メリー、エ、ボア、ロルローイ」 Mlle. L. Bouges

胚ノ天然榮養物質ナル卵黃ノ内容ヲ人工ニヨリ其ノ質及量ヲ變更スル實驗ニ於テ孵卵開始前ノ鶏卵

ニ於テハ失敗シタルモ孵卵開始後ノモノニツキ成功シタルコトヲ發表シ將來本法ノ應用ニヨリ孵化卵ノ性ヲ人爲的ニ左右シ又孵化雛ノ人工的改良ヲナスノ可能性ヲ信ズト述ブ

大英國及北部愛蘭

第三三號 養鶏飼料ニ關スル試驗

科學的養鶏協會幹事 Tom Newman

科學的養鶏協會ニ於テ行ヘル試驗ノ結果ヲ綜合スルニ、(一)優良魚粉、肉粉及鯨粉ノ間ニハ動物蛋白ノ給源トシテノ價值ニハ殆ンド差異ヲ見ズ、血粉(乾燥血液)ハ明ニ右三者ニ劣レリ、(二)粉餌ヲ給與スル場合、練餌或ハ芽出穀類ノ幾分ヲ添加スルニ卵ノ平均重量ヲ増大セリ、(三)食用鶏ハ全然舍飼ニヨリ有效且ツ經濟的ニ育成スルヲ得、(四)飼料中ニ鹽類ノ含量十分ナラバ新鮮ナル練餌ハ若鶏、成鶏何レニモ必要ナラザルモノノ如シ、(五)「アルファルファ」粉ハ混合鹽類ニヨリ換置スルヲ得、(六)産卵鶏ニ對スル鹽類ノ十分ナル給與ハ動物蛋白ヲ多給スルコト以上ニ重要ナリ、(七)小麥屑ニ比較的少量ノ動物蛋白ヲ加ヘテ給與スルコトハ玉蜀黍ノ如キ炭水化合物ニ富ム飼料ノ多量ト比較的多量ノ動物蛋白トヲ給與スルヨリモ鶏ノ健康、發育竝ニ産卵ニ對シ良結果アリ

第三四號 養鶏飼料中纖維ノ用

「ケンブリッジ」大學農學部家禽營養研究所 E. T. Hahan

養鶏飼料中ノ纖維ハ消化微量ナルコト纖維ノ含有ハ飼料中ノ有機物及無窒素浸出物ノ消化ヲ妨グルコト等ヲ述ベ要スルニ飼料中ノ纖維ハ營養成分トシテハ無益ナルモノナレドモ鶏ノ攝食量調節ノ效果アルモノナリト結論シ尙實際ノ給與飼料ニ於テ如何ニ右ノ調整行ハレツツアルカヲ述ブ

第三五號 産卵鶏用飼料ノ配合ニ對スル肝油ノ價值

國立養鶏研究所長(ニューボート) R. T. Parkhurst

産卵鶏ニ對スル肝油ノ給與ハ「ヴァイタミン」(D)ノ效用ヲ呈シ舍飼鶏ノ産卵ヲ著シク増加セリト述ベ併テ肝油選擇上ノ標準ヲ示シタリ其ノ標準左ノ如シ

- (一)「ヴァイタミン」(D)——一瓦ヲ以テ少クモ六十頭ノ鼠ニ抗尙優性ヲ與フルモノ、
- (二)「ヴァイタミン」(A)——「ロビボンド」青色單位八以下ナラザルモノ、(三)遊離脂肪酸(オイレン酸トシテ)——一・五%ヲ超エザルモノ、(四)不鹼化物——一・五%ヲ超エザルモノ、(五)沃土價——一五五——一七三、(六)比重——〇・九二〇——〇・九三〇、(七)鹼化價——一七九——一九二、(八)屈折率(四〇度ニ於テ)——一・四七〇四——一・四七四五、(九)味——魚味ヲ帶ビ苦カラズ、(十)臭——惡臭ナキ輕キ魚臭

第三六號 家禽甲状腺ノ大サ及其ノ沃土含有量ニ影響スル諸因子

「ケンブリッジ」大學農學部家禽營養研究所 Ethel M. Cruickshank

甲狀腺ハ發育及新陳代謝作用ノ調整ニ重要ナル關係アリ甲狀腺ノ活力ハ其含有沃土量ニ比例ス而シテ甲狀腺ノ大サ及含有沃度ノ多寡ハ飼料、年齡、動物ノ種類、季節等ニヨリテ影響セラルルコトヲ論ズ
第三七號 雛ノ榮養ト其ノ成長、成熟、産卵及斃死率トノ關係

北愛蘭農務省 J. H. Prentice, R. G. Baskett and G. Scott Robertson

白色「ワイヤンドット」種ヲ以テセル實驗ヲ基礎トシ雛ノ榮養ガ其ノ發育ノミナラズ成熟、産卵力及疾病ニ對スル抵抗力ニ著シキ影響アルコトヲ論ジ就中脱脂乳ノ效果極メテ大ナルヲ力説セリ即チ穀類粉餌ト脱脂乳トヲ與ヘタル群ハ粉餌ト水トヲ與ヘシ群ニ比シ孵化後十三週ニ於ケル體量二倍以上ニ達シ成熟期ハ後者ノ一八六日ナルニ對シ前者ハ約一三七日ナリ又穀類粉餌ニ一八%ノ大豆粕及三・七五%ノ混合鹽類ヲ添加スレバ粉餌ト脱脂乳ヲ與ヘシ場合ト大差ナキ結果ヲ得、飼料配合ノ如何ニヨリ育雛中ノ斃死率ハ五乃至二〇%ノ間ニ變化シ榮養價高キ飼料ヲ與フレバ早熟ニシテ斃死モ亦尠ナシ、成長早ク體量増加速ニシテ早熟ナレバ産卵亦多シ、成熟ノ促進ハ飼料中ノ蛋白質ニ依ラズシテ主トシテ礦物質ノ作用ニヨル、速育早熟ナラシムル飼料ハ又拔雄ヲ早期ニ處分スルニ利ナリ即チ粉餌ト脱脂乳ノ群ハ九一日、粉餌ト水トノ群ハ一五四日ニシテ體量夫々三封度半ニ達シタレバ飼料費ヲ差引キタル利益前者ハ一羽當リ二志一片、後者ハ一片半ナル結果ヲ呈セリ
第三八號 家禽ノ榮養ニ關スル新研究

「ローウエット」研究所(アバデーン) A. Macdonald and J. B Orr

蛋白質及無機物ニ富メル飼料、「ヴィタミン」(A)、(D)、(C)ヲ含有スル飼料ト鶏ノ榮養トノ關係ヲ略述シ猶鶏ノ體組織竝ニ血液中ニ於ケル「カルシウム」ノ濃度變化ヲ研究シタル結果ヲ發表シ産卵期ニ於テ其ノ濃度高マリ換羽期ニ低下スルコト竝ニ鶏ノ産卵、換羽ニ關スル生理的周期ニ關聯スル甲狀腺ニモ組織上ノ變化アルコトヲ述ブ

第三九號 養鶏ニ於ケル蛋白質飼料ニ就テ

國立養鶏研究所(ニューボート) E. B. Lomax

産卵ニ對スル各種蛋白質特ニ動物性及植物性蛋白質飼料ノ效果ヲ比較論述ス又放飼區ト舍飼區ニ肝油ヲ給與セルモノトヲ比較シ其ノ産卵ニ殆ド差異ヲ認メズト述ブ猶乾燥脱脂乳ヲ肉粉ニ加ヘタル場合ハ肉粉ノミノ場合ニ比シ産卵上經濟的増加ヲ認メタリ而シテ經濟的效果ヲ舉ゲムニハ單純ナル蛋白質飼料ヨリモ種々ナル蛋白質飼料ヲ混與スルヲ可トスベシト述ブ
第四〇號 食鶏生産ニ對スル鶏種ノ適否

南東部農科大學(ケント) C. E. Fernor

「ライトサセックス」種、「インデアンゲーム」(雄)ト「ライトサセックス」(雌)ノ雜種、銀灰色「ドーキング」(雄)ト「ライトサセックス」(雌)ノ雜種、白色「ワイヤンドット」種、「ロードアイランドレッド」

種、白色「レグホーン」種ニ關スル標題ノ試験ニ於テハ前三種ガ食鶏トシテ遙ニ後三種ニ優ルノ結果ヲ得タリ猶「ライトサセックス」ニ對スル粉餌、練餌及前二者混用ノ實驗成績ヲ發表ス

第四一號 家禽榮養上沃土ノ作用

「ローウエット」研究所(アバデー) F. C. Kelly

家畜家禽ノ榮養上ニ於ケル沃土ノ必要、作用等ヲ説キ鶏ノ甲状腺ノ重量及其ノ沃土含有量ニ關スル觀察及沃土給餌ニ關スル實驗成績ヲ舉ゲ日常養鶏飼料ニ給與スベキ沃土ノ適量ヲ結論スルニ至ラザルヲ遺憾トセリ

愛蘭自由國

第四二號 育雛竝ニ若雌ノ飼料配合上澱粉價ノ適量ニ就テ

「アルバート」農科大學(ダブリン) E. J. Sheehy

數種類ノ飼料ノ配合割合ヲ變化シ其ノ澱粉價ヲ五六、六〇、六三、六六ナラシメ比較試験ヲ行ヒタル結果澱粉價高キモノ程成績良好ナリト述ブ

伊 太 利

第四三號 甲状腺分泌物ニ對スル血液ノ影響

「ボロニヤ」 E. Giacomini

牛ノ甲状腺分泌物ニ牛、馬、羊、豚、鶏ノ血粉ヲ種々ニ混ジテ雌鶏又ハ若雄鶏ニ給與シタルニ換羽等ニ現ハレタル結果ニ於テ血液ハ分泌液ノ作用ヲ減退セシメタルヲ證セリ

日 本

第四四號 養鶏飼料ノ蛋白質補給材料トシテノ大豆粕

農林省畜産試驗場 鈴木 幸三 波多野 正

大豆粕ノ蛋白質ハ其ノ榮養價値高ク之ニ石灰、曹達及鹽素ヲ適量補フトキハ魚粉ノ蛋白質ト略々同等ノ飼料的價値ヲ示スコトヲ次ノ試験ニ依リ驗證セリ

(一)白色「レグホーン」ノ雛ヲ三群トシ(イ)二〇%ノ魚粉ノミノモノ(ロ)一〇%ノ魚粉ト一五%ノ大豆粕トノモノ(ハ)三〇%ノ大豆粕ノミノモノノ三種ニツキ成長ヲ比較セルニ何等ノ差異ナク何レモ普通以上ノ成育ヲ遂ゲタリ

(二)前記ハニテ育成セル雌鶏ニ千分中大豆粕一四〇分ヲ混ゼル飼料ヲ與ヘ(ロ)ニテ育成セル雌鶏ニ大豆粕一四〇分ノ代リニ大豆粕七〇分ト魚粉五〇分トヲ與ヘ六ヶ月間ノ産卵ヲ調査シタルニ一羽平均ノ産卵數前者八五・三個ニ對シ後者七九・五個、一個ノ平均重量前者五二・六瓦ニ對シ後者五二・〇瓦ナリキ

(三)生育、産卵兩期ヲ通ジ飼料ノ蛋白質補給材料トシテ大豆粕及魚粉ヲ混與セル雌雄鶏ヨリ得タル卵

ト大豆粕ノミヲ給與セル雌雄鶏ヨリ得タル卵トニツキ孵化率ヲ比較シタルニ前者ハ受精卵ノ七〇・三——七七・二％ナルニ對シ後者ハ八四・五——八七・三％ヲ示セリ

(四)前記(三)ノ後者ヨリ得タル雛ヲ再ビ(一)ノハト同様ノ飼料ニテ育成シタルニ初産時ノ平均體量一、五六二瓦、初産マデノ平均日齡一七〇日ニシテ何等ノ異常ヲ認メザリキ

(五)白色「レグホーン」雌鶏ノ既往一年間ノ産卵數略々相等シキモノヲ三群ニ等分シ左ノ飼料以外ハ同様ノ配合トナシ一年間ノ産卵數ト其ノ重量トヲ調査セリ

群	玉蜀黍	魚粉	大豆粕	鹽類
イ	一五〇	一〇〇	—	三〇
ロ	一三〇	五〇	七〇	三〇
ハ	一〇七	—	一四七	三〇

而シテ産卵成績ニ於テハ右三群ノ間ニ著シキ差異ヲ認メザリシヲ以テ魚粉ノ代リニ大豆粕ヲ使用スルコトニヨリテ飼料費ニ於テ約一八％ヲ節約シ得ルコトヲ證セリ

瑞典

第四五號 産卵鶏ノ榮養

國立農事試驗場(ストックホルム) Nils Hansson

雌及産卵鶏ノ榮養、雛ノ發育上紫外線ノ效果、瑞典石灰岩ノ輸入貝殻代用等ニ關シ試驗セル結果石灰岩ヲ貝殻代用飼料トシテ單用スル事ハ卵殻ノ形成ニ對シテ不適ナルコト、紫外線ノ應用ニヨリ雛ノ飼料消費量及其ノ發育ヲ増進シタルモ增體量一坵ニ要スル消費飼料ヲ増シタルコト竝ニ雌鶏ノ榮養上ノ要求ハ主トシテ産卵ノ多寡ニヨリテ定マルモ亦其ノ體重及季節ニモ關係アルコトヲ示セリ

而シテ一・五乃至二・〇坵ノ平均體重ヲ有スル白色「レグホーン」種ノ要スル榮養量ハ之ヲ産卵ノ多寡ニヨリテ類別スルニ略左表ノ如シトセリ

産卵率 (一日百羽毎)	一羽一日當ノ飼料單位	相當濃粉價
五〇——五五	〇・一〇〇——〇・一〇五	〇・〇七〇——〇・〇七四
五五——六〇	〇・一〇五——〇・一一〇	〇・〇七四——〇・〇七七
六〇——六五	〇・一一〇——〇・一一五	〇・〇七七——〇・〇八一
六五——七〇	〇・一一五——〇・一二〇	〇・〇八一——〇・〇八四

備考 同一産卵率ノモノニアリテハ冬季ハ夏季ヨリモ榮養量ヲ多ク要ス
右瑞典飼料單位ハ標準大麥一坵ノ榮養價ヲ一單位トスルモノニシテ濃粉價〇・七坵ニ相當ス

北米合衆國

第四六號 雛鳩及鳩ノ肉特ニ其ノ蛋白質ノ分布ニ關スル研究

農務省畜産局 Roma C. Elmer, F. C. Hilberg and Paul E. Howe

雛鳩及鳩ノ體各部ニ於ケル肉ニツキ含窒素物(粗蛋白質)、溶解性蛋白質非蛋白質含窒素物、不溶性蛋白質、各種單純蛋白質物等ノ含量ヲ比較セリ

第四七號 幼雛ノ初期生長ハ時間ヨリモ寧ロ攝食量ノ函數ナリ

農務省畜産局 H. W. Titus and W. A. Hendricks

飼料ノ給與量ヲ異ニセル幼雛飼育試験ヲ行フニ體重約一封度ニ生長スルマデハ各群ノ平均體重ハ消費飼料ノ函數ト見ナスコトヲ得蓋シ生長幼雛ノ維持飼料ハ攝食全量ノ極少部分ニ過ギザルニヨルベシ、故ニ生長中ノ幼雛ニ對スル飼料ノ比較試験ニハ給與量ヲ一定スベク消費量不定ナル場合ハ消費量ニ對スル體重ノ變化ヲ對照比較スベシトス

第四八號 飼料ニ調合貯藏セラレタル肝油ノ佝僂病ニ對スル效力

「カンサス」州立農事試驗場 L. F. Payne

肝油ヲ飼料ニ調合貯藏シタル場合佝僂病ニ對スル效力ノ有無ニ關シ諸説アルニ對シ著者ノ實驗セル所ニヨレバ肝油ハ之ヲ適當ナル配合飼料ニ調合シ乾燥ニシテ通氣良好ナル場所ニ貯藏スル時ハ半年

乃至一年ヲ經過スルモ其ノ風味竝ニ佝僂病豫防ノ效力ヲ失ハズト述ブ

第四九號 單冠白色「レグホーン」種ノ生長ニ必要ナル榮養分ノ最少量

「イリノイ」大學畜産部(アーバナ) H. H. Michell, L. E. Card and T. S. Hamilton

單冠白色「レグホーン」種孵化ヨリ四十週ニ至ル間時々鶏體成分ヲ分析シ生長トノ關係ヨリ各日齡ニ於テ諸成分ガ一日ニ體內ニ集積セラルル分量ヲ算出シ之ヲ基礎トシテ雌雄別、體重別ニ粗蛋白質、「カルシウム」、「ネットエナジー」ノ一日所要量ヲ算出セリ而シテ生長中ノ白色「レグホーン」種ノ鶏ガ一日ニ要スル粗蛋白質及「ネットエナジー」ノ概量ハ左ノ如シ猶給與飼料中ノ粗蛋白質所要量ハ可消化分ヲ五〇%ト見做シ算出セルモノトス

體 重 (封度)	粗 蛋 白 質 (瓦)			給與飼料 中所要量	ネ ッ ト エ ナ ジ ー (大カロリー)			玉蜀黍ノ等 價 量 (瓦)
	維 持	生 長	計 (最少量)		維 持	活 動	生 長	
若 雄								
〇・五	〇・五	二・二	二・七	五・四	三七	一八	一五	七〇
一・〇	一・〇	二・五	三・五	七・〇	五五	二七	一九	一〇一
一・五	一・五	二・六	四・一	八・二	五九	二九	二一	一〇九
二・〇	二・〇	二・六	四・六	九・二	七二	三六	二一	一二九
三・〇	二・八	二・五	五・三	一〇・六	九四	四七	一九	一六〇

四・〇	三・〇	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	若雌	五・〇	四・〇
一・四	二・八	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・五	二・五	三・六
〇・四	一・〇	二・一	二・三	二・二	一・七	一・七	二・〇	二・一
一・八	三・八	四・一	三・八	三・二	二・二	二・二	四・五	五・七
三・六	七・六	八・二	七・六	六・四	四・四	四・四	九・〇	一一・四
一・四	九・四	七・二	五・九	五・五	三・七	三・七	一・三	一・四
五・七	四・七	三・六	二・九	二・七	一・八	一・八	六・六	五・七
一・九	二・二	二・五	二・三	二・〇	一・二	一・二	一・〇	一・四
一・九	一・六	一・三	一・一	一・〇	六・七	六・七	二・一	一・八
六・八	五・八	四・八	四・〇	三・六	二・四	二・四	七・五	六・六

第五〇號 雛ノ生長速度ニ對スル蛋白質量ノ影響

コーネル大學農事試驗場養鶏部

G. F. Heuser and L. C. Norris

雛ノ生長速度ハ孵化後四週頃迄極メテ著シク後漸次低下スルコト並ニ之ニ應ジテ其ノ飼料蛋白質量ヲ調節スルノ要アルコトヲ實驗ニ基キテ説述シ實際的ニハ雛ノ育成期間ヲ孵化後六——八週、爾後一二——一四週、爾後生長終了期迄ノ三期ニ別チ飼料中蛋白質ノ配合量ヲ漸減スベシト結論ズ

第五一號 孵化率高キ種卵ノ生産ニ對スル「ヱイタミン」(D)ノ效力限度

「オハイオ」州立農事試驗場畜産部

D. C. Kennard and R. M. Bethke

穀類、穀類ノ副産物、肉粉、骨粉、牡蠣殻、鹽等ノ配合飼料ニ肝油、又ハ日光或ハ紫外線照射ヲ併用セル場合ノ孵化率ハ之ニ「クロバール」、大豆又ハ「アルファルファ」ノ乾草、「アルファルファミール」又ハ綠餌ヲ加用スルコトニヨリ著シク増加スルコトヲ認メタリ、又右肉粉ノ代リニ脱脂乳又ハ脱脂粉乳ヲ與フルニ同ジク孵化率ヲ増加セリ要スルニ孵化率高キ種卵ヲ生産センニハ「ヱイタミン」(D)モ其ノ母鶏ニ對スル飼料成分ノ一要素ナレドモ更ニ綠餌、豆類、乾草、「アルファルファミール」又ハ牛乳ニ含有セル或種ノ成分ヲ必要トスト論ズ

第五二號 舍飼養鶏ニ就テ

「オハイオ」州立農事試驗場畜産部

R. M. Bethke and D. C. Kennard

多年實驗ノ結果ニ徴スルニ育雛、産卵鶏ノ飼育等ニ舍外放飼場ハ必シモ必要ナラズ飼養管理サへ適切ナラバ舍飼養鶏ニヨリ成功ヲ收メ得ベク大規模ノ實用養鶏ノ如キニアリテハ却テ舍飼ヲ有利トスベシト論ズ

第五三號 雌鶏ニ於ケル鶏卵ノ成生ニ關スル化學的事項

「ケンタッキー」州立農事試驗場

G. Davis Buckner, J. Holmes Martin & W. M. Insko, Jr.

前回「オタワ」ニ於ケル萬國家禽會議ニ發表シタル「産卵鶏ノ石灰新陳代謝作用」ニ繼續研究ノ結果ヲ發表セルモノニシテ鶏卵ノ體內成生ノ状態ヨリ攝取營養分ノ卵成生ニ至ル迄ノ化學變化ヲ説キ産卵

鶏ノ小腸靜脈血中ノ「カルシウム」含有量ハ小腸動脈血ヨリ多ク又心臟左心室ノ血液中ノソレハ兩者ノ中間ニアルヲ見タリ更ニ飼料中ノ石灰分ト血液ノ石灰濃度、産卵數、卵殼卵量及其ノ孵化力等ノ關係ニツキ實驗ノ結果ヲ述ベ猶輸卵管各部位ノ水素「イオン」濃度ヲ檢定シソノ酸度ノ差異ハ卵殼膜、卵殼ノ分泌ト關聯ヲ有スベシト論ゼリ

第五四號 鶏及吐綬鶏ノ舍飼ニ就テ

「ペレシルバニヤ」州立農科大學 H. C. Krandel

鶏ヲ成熟ニ至ルマデ舍飼セル實驗ニヨレバ蟬蟲及線蟲ノ寄生ヲ豫防スル上ニ最モ有效ナルヲ認メタルモ將來ニ於ケル一般の應用ニ關シテハ年内ノ或ル期間ハ放飼ヲ行ヒ其ノ他ハ舍飼スルヲ有利トスベシト結論セリ、吐綬鶏ニツキテモ舍飼育成ヲ實驗シ好成績ヲ擧ゲタリト發表ス

第二部 疾病及其ノ防遏

白耳義

第五五號 「サルモネラ」屬ニ因ル鳩ノ疾病

獸醫學校及家畜檢疫所(ブラッセルス) J. Lahaye & R. Willems

白耳義ニ普通ナル鳩ヲ襲フ一種ノ疾病ハ種々ナル年齢ノモノニ發生シ孵化后十五日以内ノ幼齡ノモ

ノニテハ急性ニ來ルヲ常トシ敗血症ヲ以テ四十八時間以内ニ死ニ到ラシムルモ成鳥ニアリテハ多ク慢性ニ來リ衰弱、下痢、關節炎等ノ症狀ヲ現ハス、罹病鳩ハ或ハ治癒シ保菌鳩トナルモノノ如ク斯クシテ更ニ子孫ニ傳染セシムルモノノ如シ、猶本病ノ原因ニツキテハ「バラチフス」B型菌ニ因ルモノナリトシ細菌學的特徵ヲ檢査セルノミナラズ右細菌ニヨル同病ノ發生ヲ實驗的ニ證明セリ而シテ幼齡ノモノハ極メテ感染シ易ク成長ト共ニ抵抗力ヲ増スモノニシテ若齡罹病ノモノニツキテハ治療法ナシトセリ

加奈陀

第五六號 加奈陀ニ於ケル家禽ノ害虫竝ニ外部寄生虫

農務省昆虫技師 A. Gibson

加奈陀ニ於テ家禽ニ大害ヲ與フル外部寄生虫タル壁虱、羽虱、蚤、黒蠅、蚊及非寄生性害虫ノ各種類ニツキ概要ヲ記載シ就中重要ナル寄生虫ノ防遏上有效ナル實際法ヲ述ブ

第五七號 白色「レグホーン」種及横斑「プリマスロック」種ニ於ケル斃死ノ原因竝ニ産卵能力ト斃死率ノ比較

農務省中央研究所 C. H. Weaver

一九二四年ヨリ一九二九年ニ至ル五ケ年間ニ加奈陀ニ於ケルニ主要産卵檢定会ニ出品セラレタル白

色「レグホーン」、横斑「プリマスロック」ノ二種ニツキ斃死ノ原因及斃死率ヲ調査セルモノニシテ斃死鶏ハ病因ニヨリテ類別セラレタリ而シテ斃死率産卵率等ノ算定ニハ檢定ノ一年ヲ四週間ヲ一期トスル十三期ニ分チ調査セルモノニシテ其ノ斃死率ハ左ノ如シ

材料	鶏數	斃死數	斃死率
白色レグホーン	四、〇〇〇羽	八六六羽	二一・六五%
横斑プリマスロック	一、八一〇	三九一	二一・六〇%
計	五、八一〇	一、二五七	

右斃死率ハ季節ニヨリテ變化スルモノニシテ右兩種ヲ合同セル斃死率ハ五月中旬ヨリ六月中旬ニ亘ル時期ニ於テ最モ高シ

産卵率ノ高低ハ兩種トモ極メテヨク相類似シ兩種ヲ合同スルニ三月下旬ヨリ四月中旬ニ亘ル期間ニ最高ヲ示ス而シテ兩種ノ平均産卵率ハ左ノ如シ

白色「レグホーン」 四七・二九%

横斑「プリマスロック」 四七・六二%

猶産卵率ト斃死率トノ相關ヲ求ムルニ左ノ如シ

白色「レグホーン」 .78±.07

横斑「プリマスロック」 .81±.06

計 .85±.05

第五八號 鳥類及哺乳類ヨリ得タル結核菌ニ依ル發病狀態ノ差異

農務省獸疫研究所 C. A. Mitchell, C. W. Mc Intosh & R. C. Dutlie

六系統ノ結核菌ニツキ之ニ因ル發病狀態ニ依リ菌型ヲ檢査セルモノニシテ牛結核「ツベルクリン」ニ陰性ナリシ牛ノ淋巴腺ヨリ得タル一四三號系ハ鶏「モルモット」ヲ發病セシメ兔ニハ極テ輕度ニ發病セシムルヲ見タリ次ニ牛ノ皮下結核菌ヲ動物ヲ通過セシメ分離セル一四四號系ハ「モルモット」及兔ヲ發病セシメ鶏ニハ比較的輕度ニ發病セシメタリ又「ツベルクリン」反應牛ノ皮下結核菌ヲ動物ヲ通過セシメ分離セル一四五號系ハ「モルモット」及鶏ヲ發病セシメ兔ニハ極メテ輕微ニ作用セリ更ニ普通ノ鳥ヨリ分離セル一四六號系ハ鶏及「モルモット」ヲ發病セシメ兔ヲ輕度ニ發病セシメタリ以上四系統ノ外牛結核ヨリ分離セル一〇〇號系ハ「モルモット」及兔ヲ發病セシメ鶏ヲ罹病セシメズ而シテ鶏ヨリ分離セル一〇一號系結核菌ハ兔及鶏ヲ發病セシメタルモ「モルモット」ヲ罹病セシメズ要スルニ哺乳動物及鳥類ヨリ分離セラルル或種ノ系統ノ結核菌ハ試驗動物ニ依リ其ノ毒性ヲ異ニシ又或種ノ系統ハ或種ノ試驗動物ニ對シ潜伏的毒性ヲ保有スト結論セリ

第五九號 白痢病防遏ノ爲ノ孵卵器消毒

「オンタリオ」州立農科大學及獸醫科大學 F. N. Marcellus, R. Gwatkin and J. S. Glover
 約一四五・七立方呎ノ容積アル孵卵器ニ於テ其ノ一立方呎毎ニ一・五罈ノ「フォルマリン」ニ一瓦ノ過
 マンガン酸加里ヲ加ヘタル分量ノ瓦斯ニ十五分間作用セシメテ染毒セル卵殻ノ充分ナル消毒ヲナシ
 得タリ、十分間ニテハ不充分ナルモ十五分以上ハ不必要ナリ右消毒中寒暖計ノ乾球ハ始メノ三分間
 ニ華氏二度上昇セルモ速ニ定温ニ降下ス、濕球ハ使用セル藥品ノ分量ニ依リ華氏四度乃至十四度上
 昇セリ消毒ニ有效ナル最低濃度ニテ一時間作用セシムル場合ニ加温後二四——九六時ノ期間ニ於テ
 卵内胚ノ斃死率ハ増加セリ故ニ此ノ期間ニハ右瓦斯消毒ヲ行ハザルヲ可トス又孵化ニ近キ破卵中ニ
 瓦斯ヲ作用セシムルモ卵内ノ雛ニ有害ナル影響ハ認メラザルモ其ノ後三——五時間ヲ經タル際瓦
 斯ヲ作用セシムレバ大ナル斃死率ヲ示ス

第六〇號 經濟的ニ有用ナル水禽ノ寄生虫竝ニ寄生性疾病

農務省病理技師(オタワ) A. B. Wickware

野生鳥類、渡鳥等ノ寄生虫及寄生性疾病ニヨル被害ノ程度ヲ研究スル要アリト説キ馴養水禽ガ野生
 ノ同族水禽トノ接觸ニヨリ生ズベキ患害ヲ述べ水禽ノ寄生虫及寄生性疾病研究ノ必要ニ言及シ鶯、
 鶺鴒、雁等ノ右疾病ニツキ説明セリ

佛 蘭 西

第六一號 佛國ニ於ケル家禽傳染病ノ防遏

「バストール」研究所(巴黎) A. Staub and C. Truche

佛國ニ於テ慘害ヲ續クル家禽「チフス」ニ對シテハ死菌「ワクチン」ニ依リ豫防ス家禽「コレラ」ハ蔓延
 ヲ見ズ發生ノ際ハ生菌「ワクチン」及死菌「ワクチン」ヲ使用シテ有效ニ防止セラル、家禽黴病ハ沃度
 加里ニテ治療セシム、細菌性白痢ニ對シテハ保菌鶏ノ淘汰ニ依リテ豫防ス、凝集反應ニヨル保菌鶏
 ノ檢出ハ最モ確實ニシテ且實際的ナル方法ナリトスベシ

第六二號 小家畜ノ衛生及病理ニ關スル「アルフォール」試驗場ノ業績

「アルフォール」試驗場長 G. Lesbouyries

一九二九年ニ於ケル同所ノ研究ハ佛國ノ養鶏場ヲ襲ヒツツアル鶏ノ白痢病及兔ト鶏ノ「コクシヂウ
 ム」病ノ二種ナリ而シテ鶏ノ細菌性白痢病ニ關シテハ罹病鶏ノ治療不可能ナル現狀ニ於テ唯一ノ防
 遏法ハ總テノ保菌鶏ヲ檢出除去スルニアリ、此ノ目的ニ血清凝集反應ト「パローリン」皮内反應ノ二
 種アリ、後者ノ方簡便ニシテ同研究所ニテ製造セル「パローリン」ハ極メテ好成績ヲ示セリ「コクシヂ
 ウム」病ニ對シ「チモール」油ヲ用フルモ效果疑ハレ酸乳ヲ用ヒテ效果アリシ成績ニ鑑ミ「コクシヂ
 ウム」ニ罹レル若兔及雛ノ治療ニ乳清(ホニー)ヲ用ヒタリ而シテ惡液質トナルニ先チ之ヲ與フレバ特

ニ好結果アリ、若兔ハ好ンデ乳清ヲ採リ發育モ促進セラル鶏ニアリテモ他ニ腸内寄生虫ナク「コクシヂウム」ノミニ懼レル場合ニハ乳清ヲ與フルニ兔ノ場合ト同様好結果アリト報ズ

獨逸

第六三號 獨逸ニ於ケル主要鶏病ト其ノ防遏

「ライプチヒ」 R. Reinhardt

養鶏ノ改良蕃殖ハ經濟的重要度ヲ進メタルト共ニ一面之ニ因ル鶏病ノ蔓延ハ其ノ診斷、治療及豫防ヲ益々重要ナラシム、近時集約養鶏ノ發達ハ鶏病ノ發生、蔓延及感染率ノ増加ヲ結果セリ鶏「コレラ」及鶏「ペスト」ハ著シク減少セルモ雖ノ疾病特ニ細菌性白痢、結核及傳染性白血病ガ増加シ來レリ「ループ」及「デフテリー」ハ接種ニ依リ豫防シ得ルモ傳染性鼻加答兒及傳染性白血病ニアリテハ未ダ有效ナル防遏法ナシ本病ガ最近數年間ニ著シク傳播セルハ近時ニ於ケル蕃殖、飼養、管理法ニ起因スルモノアルガ如シ、「コクシヂウム」モ蔓延ヲ見ルモ體內ノ寄生體ヲ撲滅スルハ極メテ困難ナルヲ以テ糞便ノ除去、床及運動場ノ消毒、運動場ノ變換、飼料、飲水ノ清潔等ヲ勵行セザルベカラズ、又腸寄生虫ハ驅虫劑ノ給與、排泄物ノ消毒及中間寄主ノ撲滅ニ依リ防遏スベク新陳代謝及榮養障礙、「ヱイタミン」缺乏症ハ飼料ノ適正ナル選擇ニ依リ阻止シ得ベシ猶產卵器官ノ疾病ハ屢々蛋白質ノ過給ニ起因スルモノニシテ過度ニ產卵ヲ促進セシムベキモノニアラズ

第六四號 細菌性白痢症即チ鶏「チフス」

「ハノーヴァー」 H. Miessner

細菌性白痢症ハ數年前マデハ獨逸國ニ全ク知ラレザリシモ今ヤ可ナリ廣ク蔓延スルニ至レリ而シテ同病原菌ハ「クライン」ノ鶏「チフス」病原菌ト同一ニシテ二者同一學名ヲ以テ呼ブヲ正シトセリ次ニ本病ノ蔓延ハ(一)孵卵器内ノ染毒卵ニ依ル、實驗例ニ依ルニ血清的ニ陽性反應ヲ呈セル雌鶏ノ産卵中平均一五——一六%ハ染毒セルモノト認メラレタリ(二)假母器内ノ罹病雛ニ依リ(三)保菌鶏ニ依リ即チ雌鶏間又ハ雄鶏ニ依リ傳播ス而シテ本病發生ノ誘因トナルモノハ誤レル人工蕃殖孵化法、假母器ニ於ケル雛ノ密飼、非衛生的環境、誤レル榮養、強制的產卵促進等ニシテ本病ノ發生ヲ豫防スルニハ蕃殖用鶏ハ少ナクモ一年ニ一回凝集反應ニ依リ血液検査ヲ行ヒ陽性ノモノハ之ヲ除外スベク假母器ハ検査済ノモノヲ用ヒ使用ノ都度清掃消毒シ、雛ハ眞ニ健康ナルモノノミヲ殘シ假母器内ノ雛數ヲ制限シ、最初數日間ハ排泄物及汚レタル敷藁ハ一日數回取り換フルコトトシ飲水器給餌器ハ常ニ之ヲ清潔ナラシムルヲ要ス

第六五號 家禽結核

衛生省 K. Beller

白痢症ガ近代式養鶏場ニ被害ヲ與フルト異リ獨逸ニ於テ鶏結核ハ主トシテ小飼養者ヲ襲フ蓋シ其ノ

飼養鶏ノ多數ハ恐ラク「ツベルクリン」肉髯反應ニ陽性ナルベキヲ以テナリ尤右検査ニヨリ得タル統計的成績ハ斃死後ノ剖檢統計結果ト相當差異アルコトヲ示ス、鶏結核ハ主トシテ消化管ノ疾病ニシテ其ノ傳染ハ消化管ニ起リ症狀明白トナルマデニ相當期間傳染毒ハ有力ニ活動セルモノト見做サザルベカラズ、實際ニハ哺乳動物及人類ノ結核ハ鶏ニ傳染スルコトナキモ罹病鶏ト畜舎及運動場ヲ同ジクスル哺乳動物殊ニ豚又稀ニ馬、牛、山羊ハ鶏結核ニ犯サルルコトアリ、獨逸ニ於ケル養鶏者竝ニ種禽業者ハ今ヤ定期的ニ飼養鶏ノ検査ヲ行ヒ結核ヲ完全ニ撲滅セントシツツアリ

第六六號 家禽痘病(家禽「デフテリア」)ト其ノ防遏

「ギーセン」大學 W. Zwick

家禽痘病ト家禽「デフテリア」トハ同一家禽病ノ二型ニシテ濾過毒ニ依テ起リ傳染性强ク概ネ慢性症狀ヲ呈ス此ノ危険ニシテ治療シ難キ痘病ハ主ニ歐洲及米大陸ニ流行シ歐洲ニテハ和蘭、白耳義、佛國及獨逸ニ多ク特ニ秋冬季ニ發生ス本病ニ依ル損害ハ往々著シク特ニ雛ニ甚ダシ猶傳染狀況、病毒ノ抵抗力、症狀等ヲ説明シ藥物的治療ハ效遅ク屢々無效ナルモ有效ナル「ワクチン」接種ニヨリ豫防シ得ベシト説キ接種ハ毎年繰返シ未ダ傳染ノ兆候ヲ認メザル六月乃至八月ノ頃ニ行フベク既ニ發病ヲ見タル鶏群ニハ緊急接種ニヨリ其ノ蔓延ヲ防止スベシト述ブ

大英國及北愛蘭

第六七號 細菌性白痢

「ウェルカム」生理學研究所 (ベッケンハム) T. Dalling and miss G. H. Warrack

英蘭ニ於ケル細菌性白痢症蔓延ノ狀態、原因、蔓延ト傳染ノ方法、最近ノ豫防法ニツキ説述シ更ニ診斷トシテハ病原菌ノ分離ガ唯一ノ確證ナルコト傳染ハ孵卵器内ニ於テ卵ヨリ雛へ、雛ヨリ雛へ傳染スルヲ最モ普通トスルコト、凝集反應ニ依リ陽性ノ保菌鶏ヲ排除スルハ本病ヲ免カルル要法ナルモ右検査法ハ未ダ完全ナラズト述べ猶將來ハ標準検査法ヲ決定シ又疑似反應鶏ノ眞義ヲ明確ニスルノ要アルヲ論ジ殘留反應鶏ニ關スル説明ヲ試ミタリ

第六八號 鶏痘

農漁省獸疫實驗所 T. M. Doyle

鶏痘ハ濾過性病毒ニ起因スル傳染病ニシテ頭部無毛部ノ發疹、口腔ノ黃色乾酪膜、眼及鼻ノ漏液ヲ特徴トス是等ハ總テ同種ノ病毒ニヨルモノナルヲ以テ症狀ニヨリ「ループ」又ハ家禽「デフテリア」等ノ病名ヲ用フル煩ヲ避ケ凡テ鶏痘ト命名スルヲ可トスベシ、本病ノ傳播ハ専ラ傷害傳染ニ因ルモノノ如ク保菌鶏ナルモノハ發見セラレズ奏效適確ナル「ワクチン」發見ノ研究モ未ダ満足ナル成績ヲ得ザルヲ以テ感染セシモノハ屠殺スルヲ可トスベシ死菌ハ何等防遏ノ作用ナク生菌ハ實用上不確ニシテ危険ナリ只鳩ノ痘病「ワクチン」ヲ鶏ニ接種スルニ約十四日ニシテ免疫性ヲ生ジ確實ニ自然感染ヲ

豫防シ得ルノミナラズ人工感染モ亦或程度マデ豫防シ得ルコト判明セリ、而シテ本「ワクチン」ハ鶏ノ健康ニ障碍ヲ惹起セズ且ツ産卵ヲモ低下セシメザルヲ以テ鶏痘ノ防遏上極メテ有效ナリト認ム

第六九號 「ゲーブ」症特ニ野鳥ト鶏ノ「ゲーブ」症トノ關係

農漁省獸疫實驗所 E. I. Taylor

「ムクドリ」及「ミヤマガラス」ハ屢々「ゲーブ」蟲ヲ有シ鶏ノ「ゲーブ」蟲ト差異ナキモ之ガ鶏ニ傳染スルニハ相當多量ニ攝取セラルルヲ要ス、「ゲーブ」蟲ハ寄主ノ體內ニ於ケル増殖不可能ニシテ世代ノ經過緩漫ナルヲ以テ「ゲーブ」症ヲ激發スルニハ豫メ土地ニ病原蟲ノ蓄積サルルヲ要ス、近時蚯蚓ガ有力ナル中間寄主ナルコトヲ發見セラレタリ即チ「ゲーブ」蟲ノ幼蟲ハ其ノ筋組織中ニ胞囊ヲナシテ貯藏セラレ時ヲ經テ十分ニ蓄積セラルレバ鶏ニ傳染可能トナル又「ゲーブ」蟲ガ氣管中ニ棲息スルニハ雌雄ノ接合體タルヲ要スルモノニシテ該寄生性幼蟲ノ侵入容易ナラザルコト及傳染最少量ノ大ナルコトヲ考フレバ本蟲ヲ有スル野鳥ハ鶏ノ「ゲーブ」症ニ大ナル關係アリト云フヲ得ズ

第七〇號 鳥類ノ「コクシデウム」症

獸醫科大學(エデンボロ) D. C. Matheson

過去十六年間ニ検査セル鶏一、四二六羽中本病ニ罹レルモノ七・五%ニシテ罹病群ノ殘存鶏一、〇九四羽ノ糞ヲ検査シ五・七%ハ保菌鶏ナルヲ見タリ英國ニ於ケル本病ノ發生ハ普通三月ニ入りテ漸次

多ク爾後順次増加シテ六月ニ至リ最高ニ達ス其ノ後ハ十月マデ漸次減少ス

本病ノ防遏法トシテハ蕃殖用トシテ曾テ本病ニ罹リシコトナク病鶏ニ接觸セヌヤウ育成セラレタル鶏ヲ用フベシ又種鶏家ノ飼養鶏ニツキテハ斃死鶏及罹病屠殺鶏ノ屍體剖檢ヲ行ヒ本病ノ有無竝ニ程度ヲ闡明シ無病健康ヲ保證スル制度ヲ設クルコトニヨリ有效ニ本病ヲ驅逐シ得ベシトス

匈 牙 利

第七一號 匈牙利ニ於ケル白痢病竝ニ鶏結核ニ對スル防遏策

國立獸醫衛生研究所長 R. Manninger

一九二八年ヨリ匈牙利政府ガ實施中ノ白痢防遏制度ハ特別ニ養成サレシ獸醫ガ時々養鶏場ヲ検査シ國立獸醫衛生試驗場ニ於テ血液検査及屍體剖檢ヲ行ヒ凝集反應陽性ナラバ直チニ之ヲ屠殺スルコトトス現ニ其ノ管理下ニアル種鶏所ハ一〇八ヶ所三萬餘羽トス之ノ防遏制度ノ成績ハ極メテ良好ニシテ血液検査法ハ細心ノ注意ヲ以テ行フトキハ保菌鶏ヲ一掃スルヲ得ベシトナス猶鶏結核ニ對シテモ同様ノ防遏法ヲ施行シ「ツベルクリン」反應ヲ呈スルモノハ之ヲ淘汰シツツアリ但シ鶏結核ニ對スル本防遏法ノ成否ニ關シテハ未ダ確言スルヲ得ズ

印 度

第七二號 印度ニ於ケル濾過性病毒ニヨル鶏ノ新疾病(Ranikhet disease)

國立獸疫研究所 H. Cooper

本病ハ一九二七年印度ニ於テ初メテ認メラレ急性ニシテ普通發熱ナク傳染性極メテ強キ鶏ノ疾病ニシテ濾過性病毒ニ原因シ呼吸困難ト斃死率高キヲ特徴トス、人工的ニ發病セシメシ場合ノ潜伏期ハ普通三——五日ニシテ病徴ノ認メラルルハ平均一日半位ノ短期間ナリ、傳染試驗ニ供セラレタル印度地方鶏ノ九五%ハ感受性ヲ有シ感染鶏ノ生殘レルモノ僅ニ一〇%ニ過ギズ治療「ワクチン」ノ作製ハ試ミラレタルモ失敗ニ歸セリ猶本病ハ英國ノ「ニューキャッスル」病及比律賓ノ鶏「ペスト」ト同一ノモノナルコト證セラレタリ

愛蘭自由國

第七三號 七面鳥ノ黒頭病

愛蘭自由國獸醫科大學長 J. F. Craig

本病ハ英國及愛蘭ニ於ケル七面鳥ニ最モ普通ニシテ恐ルベキ傳染病ナリ本病ニ因ル幼雛損失ハ夏季及秋季ヲ最多トシ成鳥ニモ感染スルコトアリ鶏ニモ亦感染スルモ危險少ナシ猶本病ノ原因、症候、傳染經路、防遏法等ニツキ詳述ス

伊 太 利

第七四號 伊太利ニ於ケル鶏ノ疾病ニ關スル研究

國立獸醫研究所(ボロニヤ) A. Lanbranchi

伊太利ニ於テハ近年鶏疾病ノ診斷ニ關スル研究進ミ鶏「ペスト」、鶏痘、鶏「コレラ」、鶏「チフス」及大腸「チフス」菌屬ニヨル疾病等ノ存在ヲ認メタリ、而シテ鶏「ペスト」防遏ニ適用シ得ベキ豫防的並ニ治病的方法ナキコトヲ述ベタル後鶏痘ニハ接種豫防並ニ治療法ノ有效ナルヲ指摘シ又他ノ疾病ニ對スル豫防並ニ治療接種法ノ效果ハ(一)鶏「コレラ」、(二)大腸「チフス」菌屬ニヨル疾病、(三)鶏「チフス」ノ順序ナルベシトス猶各種「ワクチン」ノ效力比較並ニ接種時期ニヨル效果ノ差異ヲ述ブ

第七五號 伊太利ニ於ケル過去三ケ年間ノ家禽疾病ノ減少

羅 馬 衛 生 省

過去三ケ年間伊太利ニ於ケル家禽傳染病ノ發生ハ著シキ減少ヲ示セリ即チ一九二七年ニ於テハ鶏「コレラ」一、九八五件、鶏「ペスト」三七一件ヲ算シタルモ一九二九年ニアリテハ夫々一三九件及五件ヲ見タルニ過ギズ「チフス」及「チフテリ」ハ極メテ少數ナリ、家禽傳染病ハ嚴格、敏速ナル衛生警察的處置ニヨリ防滅セラレ就中家禽「コレラ」ニ對シテハ廣ク豫防接種ヲ行ヒ好結果ヲ收メタリ

第七六號 「ポー」河流域ニ於ケル小家畜ノ疾病

家畜病理研究所(ミラン) P. Stazzi

「ミラン」家畜病理研究所ニ於テ六六二羽ノ斃死鶏ヲ検査セル結果鶏「ペスト」三〇%、鶏「コレラ」三

○%ヲ見出セリ「ペスト」ニ對スル豫防接種ハ相當ノ結果ヲ收メ、「コレラ」ニ對シテハ優秀ナル效果ヲ呈セリ、出血性敗血症菌ハ往々「ループ」ニ因ル斃死鶏ヨリ分離セラレ又化膿菌ノ見出サレシ場合ハ更ニ多ク之ヲ以テ製造セル「ワクチン」ハ極メテ良好ナル效果ヲ呈セリ、成鶏ノ「チフス」ニ對シテモ亦特種ナル「ワクチン」ヲ適用シ又凡テノ「チフテリー」ニ對シテハ和蘭製「ブリーク」氏「ワクチン」ヲ使用セリ

日本

第七七號 鶏ノ盲腸壁ニ於ケル寄生性結節ノ性状及「ヘテラキス、ヴェジキュラーリス」(Heterakis vesicularis)ノ發育

東京帝國大學農學部 板垣 四郎

鶏蛔虫ニ起因スル鶏ノ寄生性結節性盲腸炎ニ關スル研究ニシテ六二〇羽ヲ剖檢セル内八〇羽ハ盲腸壁ニ寄生性結節ヲ發見シ各結節ニハ種々ノ發育期ニアル一個又ハ數個ノ鶏蛔虫ヲ包含セルヲ見タリ、而シテ盲腸結節内ニ存スル幼蟲形ト小腸結節内ニ存スルソレトノ間ニハ何等ノ差異ヲモ發見シ得ザリシヲ以テ兩者ハ同一ノモノナルベシトセリ又嘗テ著者ガ小腸筋壁ニ發見セル「アスカリデア、ベルスピシラム」(Ascaridia perspicillum)ノ幼蟲ハ小腸壁ニ侵入シ寄生性結節ヲ形成スルモ他ノ一部ハ盲腸ニ侵入シ其ノ固有膜ニ結節ヲ形成スルモノナルベシト認ム

和蘭

第七八號 「コクシデウム」ノ防遏

瓜哇、「ビユイテンゾルグ」 B. J. Krijgsman

「コクシデウム」ノ防遏ハ次ノ如クシテソノ目的ヲ達シ得ベシ、(一)治療的處置トシテ「コクシデウム」ノ内部發生體ヲ絶滅センタメノ藥品使用ハ無効ナルヲ見タリ血清治療法モ抗毒素ノ生成モ免疫性モ認メラレズシテ有望ナラズ唯乳糖ハ腸管内ニ於テ「コクシデウム」ニ不利ナル條件ヲ生成シ其ノ發達ヲ制限ス猶適當ナル飼養法ニヨリ「コクシデウム」ニ對スル抵抗力ヲ刺戟増進セシムルヲ得ベシ、(二)豫防的處置トシテハ寄生虫ノ傳染期ヲ排除スルヲ要ス即チ其ノ孢子ヲ絶滅スベク又其ノ嚙下ヲ防ギ更ニ已ニ體內ニ入レル孢子爾後ノ發育ヲ阻止セザルベカラズ

要スルニ現在ノ知識ニ於テハ適當ナル豫防處置ヲ採ルコト、懼病鶏ヲ強健ナラシムルコト、腸管内ニ於テ寄生虫ニ不利ナル條件ヲ生ゼシメ其ノ發達ヲ阻止スル等ニヨリ「コクシデウム」ノ防遏ヲ期シ得ベシ

北米合衆國

第七九號 白痢病ニ對スル抵抗力ノ遺傳

「イリノイ」州立大學畜産學科 L. E. Card and E. Roberts

一九二四年次ノ研究ヲ開始セリ即チ(一)雛ノ白痢病ニ對スル抵抗力ノ差異、(二)抵抗力存ストセバ其ノ遺傳、(三)抵抗力ニシテ遺傳ストセバ抵抗力ヲ有スル系統ヲ作出スルコト之ナリ、先ヅ培養白痢菌ヲ經口的ニ初生雛ニ接種シ三週間生存セシ雛數ノ百分率ニヨリ其ノ抵抗力ヲ測定セリ、過去五年間ニ於テ抵抗力ニツキテ選抜セラレタルモノヨリ出デタル雛ニ接種セルモノノ生存率ハ六六・六%ニシテ選抜セザル對照鶏ヨリ出デタル雛ニ接種セルモノニアリテハ二七・七%ノ生存率ヲ示シタリ、近親蕃殖群ヨリノ雛ノ生存歩合ハ五六・八%ニシテ非近親蕃殖群ヨリノ雛ノ生存歩合ハ僅ニ一二・二%ニ止マレリ次ニ右抵抗力ニツキ選抜セル雄ト選抜セザル雌鶏トノ配合ニヨリ得タル雛及其ノ逆交配ニヨリ得タル雛ノ生存率比較、更ニ右ノ一代交配雌雄間ノ配合、一代交配ノモノヲ各原種ニ戻シ交配ヲ行ヒタル結果ノ生存率比較等ニヨリ白痢菌ノ傳染ニ對スル抵抗力竝ニ感受性ハ少クトモ一部ハ優性遺傳因子ノ存在ニヨルモノナルコトヲ信ゼシム

第八〇號 鶏ノ腸寄生線蟲 (Ascaridia Linata) ノ重要性竝ニ其ノ防遏法

「カンサス」州立農科大學 James E. Ackert

鶏ノ大形線蟲ハ屢々發生シ而モ全世界ニ分布ス本蟲ハ一罹病鶏ヨリ直接他ニ傳播スルモノニシテ中間寄主ヲ要セズ卵ハ土壤中ニテ一週間餘潜伏發育シ鶏ニ嚙下セラレテ幼蟲トナル、雛ニ於テハ本幼蟲ハ腸管壁ヲ貫通シ血液及淋巴液ノ消耗、筋骨發達ノ遲滯、血液内糖量ノ減少及胸腺ノ萎縮ヲ惹起

セシム、寄生後約二週間ニシテ幼蟲ハ腸壁ヨリ腸管腔中ニ出デ一、二ヶ月間ノ後成蟲トナル、線蟲ノ成長ニ對スル抵抗力ハ幼雛時代ヨリ發達シ孵化後百日ニ至ル迄漸次増加シ此期ニ至リテハ多數ノ卵ヲ嚙下スルモ何等其ノ影響ヲ被ラザルニ至ル但シ「ヴァイタミン」A及Bニ乏シキ食餌ヲ以テ飼養サルレバ其ノ抵抗力ハ減退ス

線蟲豫防策トシテハ雛ヲ一〇——一二週間線蟲ヨリ隔離飼育スルニ在リ又運動場ヲ輪換使用スベシ蓋シ土表ノ卵ハ夏季ニ死滅スベキヲ以テナリ運動場ハ土壤中ヨリ線蟲卵ヲ分離シ生存卵ノ存否ヲ檢スベク、猶四鹽化炭素其ノ他ノ驅蟲劑ヲ用ヒ鶏ヨリ線蟲ヲ驅除シ卵ノ産出ヲ阻止スベシ

第八一號 北米合衆國ニ於ケル白痢病防遏ノ現況

「コネテカット」州立農事試驗場(ストーアス) Leo. F. Rettger

白痢保菌鶏檢出ノ諸法ヲ考察スルニ、「パローリン」檢査、「ルンネル」氏其ノ他ノ簡易凝集反應檢査法及「バンエー」、「ホール」及「ドーセット」氏ニヨル其ノ改良法ノ三者ハ未ダ試驗時代ニ屬スルモ肉眼的凝集反應法ハ廣ク官設ノ防疫實驗所ニ採用サレ白痢根絶ノ基礎トシテノ標準認斷法ト謂フヲ得ベシ而シテ本病ノ防遏ヲ確實ナラシメ遂ニ之ヲ根滅センニハ(一)反應鶏ノ檢出ニ一様ナル標準法ヲ適用スルコト(二)認斷實驗室ト鶏ノ所有者及養鶏場トヲ嚴密ニ監督スルヲ要シ右管理トシテハ血液檢査ニ關スル規則及取締法ノ制定ト勵行、反應鶏ノ除去及處分竝ニ鶏ノ一般的飼養管理法等ニ亘ラザル

ベカラズ、右管理監督ノ權能ハ米國ニ於テハ各州農務當局又ハ農科大學或ハ農事試驗場ニ屬セリ、コ
 ネテカット州ニ於テハ一群ノ鶏ハ二回連續血液ニ合格セル場合健康ヲ證認セラレ毎年ノ検査ニ反應
 鶏ヲ出サザル限リ健康證認簿ニ登録セラル將來ハ各州會合協議ノ上一定ノ制度ノ下ニ検査法ヲ施行
 スルニ至ルベキ見込ナリ

第八二號 畜産局ニ於ケル家禽疾病ニ關スル研究事業

農務省畜産局長 J. R. Mohler

家禽疾病ニ關スル問題ハ近年獸醫病理學ノ方面ニ於テ重要ナル位置ヲ占ムルニ至レルコトハ他ノ家
 畜ニ於ケル組織的防疫手段施行ノ結果ヨリ推シ必ズヤ養鶏經營ニ經濟的安定ヲ與フベシト信ズ、一
 九二九年初頭ニ於ケル米國ノ鶏飼養數ハ約四億六千六百萬羽ニシテ家禽評價額及其ノ生産物ニヨル
 收入ハ實ニ年十億弗以上ニ達ス而シテ同年ニ於テ畜産局ガ家禽ノ疾病竝ニ寄生蟲ノ研究ニ支出セル
 金額ハ約三萬五千弗ナルヲ以テ之ヲ右家禽總生産額ニ比スレバ其ノ三萬弗ニ對シ僅ニ一弗ヲ支出セ
 ルニ過ギザル結果トナル、而シテ更ニ各州立及私設研究機關ニ於ケル家禽疾病ニ關スル研究費ヲ相
 當多額ニ見積リ右ニ加算スルモ猶全額右養鶏資金額ノ一%ノ極小部分ニ過ギズ、事情斯クノ如キヲ
 以テ一〇%ヲ最低トスル鶏ノ斃死ニヨル多大ナル損失ヲ輕減スルタメ更ニ一層調査研究ノ行ハレン
 コトヲ望マシム

米國ノ養鶏業ハ今ヤ研究ト新智識應用ノ進歩時代ヲ經過シツ、アリト云フベキモ斯業ノ極メテ急激
 ナル發達、生産方法ノ變遷及新輸送法ニヨリ疾病寄生蟲ノ傳播極メテ容易ナルコト等ニヨリ斯業ノ
 現狀ハ複雑化セラル而モ同國政府、州、私團體等ハ養鶏ニ關スル諸問題殊ニ疾病ノ原因及防遏策ニ
 對シ一層多大ノ注意ヲ用ヒツツアルヨリ見レバ右各種關係者間ノ永續的協力ニヨリ益々斯業ノ改良
 發達ヲ期待シ得ベク現今ノ障礙亦從テ輕減セラルベシト信ズ

第八三號 白痢病ノ傳播竝ニ防遏ニ關スル研究

農務省畜産局病理課 Hubert Bunyca and Walter J. Hall

白痢病ノ孵卵器内傳染ヲ試験セルモノニシテ同病ノ反應陽性ナル鶏群ヨリ保菌卵ヲ採リ反應陰性ナ
 ル鶏群ヨリ試験用竝ニ比較用ノ正常卵ヲ採リ保菌卵及試験用正常卵ヲ同一孵卵器中別箇ノ卵架ニ收
 容シ、同時ニ比較用正常卵ヲ別ノ孵卵器ニ收容セリ而シテ保菌卵、試験卵及比較卵ヨリ孵化セル雛
 ハ之ヲ嚴密ニ分離シテ二週間育雛シ其ノ間斃死セシ雛ハ凡テ剖檢シ且ツ白痢菌ノ有無ヲ細菌學的ニ
 検査セル結果白痢病ハ雛ノ直接ノ接觸ナキニ拘ラズ孵卵器中ニ於テ保菌雛ヨリ無菌雛ニ傳染セルヲ
 發見セリ猶本試験ニ關聯シ白痢病ノ凝集反應検査ノ簡易法ヲ提示セリ

第八四號 鶏「チ」フス

「カンサス」州立農事試驗場細菌部 I. D. Bushnell

本傳染病ハ鶏「チフス」菌ニ因ルモノニシテ地球上ニ廣ク擴ガレルモ其ノ發生年ニヨリ季節ニヨリ甚シク變化ス此ノ變化ノ原因ハ判明セザルモ一部ハ若鶏ガ最も感受性强キ事實ニヨルガ如シ、傳播ノ經路ハ不明ナルモ主トシテ病菌ノ機械的移動及保菌鶏ノ接觸ニヨルモノナリ又確實ナル診斷ニハ細菌學的研究ヲ必要トシ衛生的管理及豫防接種ハ保菌鶏竝ニ健康鶏ノ損失ヲ防止スル上ニ有效ナルベシ

第八五號 鶏「コレラ」ノ疫學の所見

「ロックフエラー」醫學研究所(紐育) L. T. Webster

遠隔ノ各地ニ發生セル鶏「コレラ」ヨリ得タル *Pasteurella avicida* 菌ノ二〇九系ヲ研究シタル結果其ノ培養上竝ニ血清學上ノ性狀ハ殆ド同一ナルヲ見タルモ聚落形成ニ於テ三群ニ類別シ得タリ即チ螢光性聚落型、青色聚落型及中間聚落型之ナリ、而シテ家禽「コレラ」菌ノ侵入門戸ニ就テハ呼吸器感染ナリト認メラル、本病ノ發生ニ際シ實地研究ノ結果病原ガ從來長ク其ノ地方ニ存在セシ場合ト比較的近時移入セラレシ場合トニテ流行狀況ヲ異ニスルコト認メラレタリ即チ前者ニアリテハ傳染ハ季節ニヨリ變化シ傳染ノ激烈性ハ秋季ニ於テ甚シク冬季ニハ最も激甚トナリ、夏季ニ於テ最も微弱ナリ又後者ニアリテハ前者ニ比シ遙ニ激烈ナル流行性ヲ現ハセリ其ノ發生ハ冬季ニシテ斃死率モ高ク流行後ノ殘存鶏中ニハ保菌鶏稀ナリ、猶流行ヲ了リタル後ハ傳染力ヲ失フ傾向アリ

第八六號 家禽ニ於ケル寄生性線蟲ノ生活史

農務省畜産局動物課 Eloise B Crann

北米合衆國ニ於ケル家禽及獵鳥ニ寄生スル五種ノ線蟲ノ生活史ニ關スル實驗ノ結果ヲ述ブ、鶏ノ腺胃ニ寄生スル一種ハ「バッタ」(*Melanoplus femurrubrum* and *M. differentialis*)ヲ中間寄主トシ鶏ノ砂囊ニ寄生スル一種及獵鳥ノ砂囊ニ寄生スル一種モ上記ノ「バッタ」ヲ中間寄主トナス又家禽及獵鳥ノ腺胃ニ寄生スル一種ハ「ワラジムシ」(*Porcillo scaber*)ヲ中間寄主トシ鶏及七面鳥ノ嗉囊ニ寄生スル一種ハ「ダイコクコガネ」及「コガネムシ」(*Copris minutus* and *Phanaeus vindex*)ヲ中間寄主トナスコトヲ報告ス

第四部 經濟竝取引

白 耳 義

第八七號 白耳義ニ於ケル鶏卵ノ取引ト標印

「狩獵及漁獵」記者(ブラッセル) V. Pulnick-Eeman (ブラッセル)

最近白耳義ニ於ケル國內生産卵竝ニ輸出入狀況ニ就テ述ベ更ニ標印ニ就テハ第一回萬國家禽會議ノ際既ニ自國ヨリ提唱セルガ未ダ實施ニ到ラザルモ速ニ實施サレンコトヲ希望セリ

第八八號 白耳義ニ於ケル鶏卵ノ取引狀況

白耳義農會聯合會「ブラッセル」支部長 M. F. Mannes(ブラッセル)

白耳義ノ養鶏業ハ大戰後急激ニ發達シ一九一四年マデハ鶏卵輸入國ニシテ更ニ戰時中養鶏羽數ノ三分ノ二ヲ失ヒタルモ戰爭終熄後市場ノ景氣回復ト共ニ鶏モ漸次増殖セリ最近合理的經營法ノ採用ニ依リ養鶏業ハ急速ニ發達シ一九二一年ニハ五千二百萬箇ノ鶏卵ガ輸入サレタルニ拘ラズ一九二九年ニハ輸出七億一千三百萬箇ニ對シ輸入卵ハ僅ニ一千八百萬箇ナリキ

加 奈 陀

第八九號 「サスカッチェワン」州ニ於ケル鶏卵、鶏ノ共同販賣

「サスカッチェワン」州農務省共同經營並ニ市場指導官 W. Waldron (サスカッチェワン)

西部加奈陀地方ノ初期ニ於ケル鶏卵食鶏ノ取引ノ困難ナリシ狀況、州農務省ノ獎勵事業、共同販賣施行ノ經過ヲ述ベ更ニ小賣商人ノ共同組合、屠鶏ノ共同販賣、前金拂法、養鶏教育等ニ就テ敘述セリ

第九〇號 加奈陀ニ於ケル共同販賣事業ノ養鶏ニ對スル貢獻

加奈陀養鶏生産物共同販賣所專務取締役 W. A. Landreth

加奈陀ニ於ケル鶏卵ノ一人當消費量ハ世界各國ノ首位ニアリ之レ有力ナル共同販賣組織ノ發達セル

コトト鶏卵ノ格付統一完全ナルニ要素ニ歸因ス而シテ加奈陀ノ共同取引機關ノ發達ハ加奈陀養鶏生産物共同販賣聯合會ノ力ニ依ル所多シ猶同團體ノ最近ノ發達狀況並ニ其ノ組織、宣傳、事業施行方法等ニツキ詳記セリ

第九一號 「ブリテッシュ、コロンビア」州ニ於ケル農場調査ト鶏飼養ノ狀況

「ブリテッシュ、コロンビア」大學養鶏部 E. A. Lloyd & W. J. Riley (シンクバー)

「ブリテッシュ、コロンビア」大學ノ調査ニ係ル一九二一年乃至二九年ノ九年間六一三養鶏農家記録ニ付キ行ヘル調査報告ニシテ平均全收入ノ八〇%ハ鶏生産物ニ依ル鶏種ノ七〇%ハ白色「レグホーン」種、殘ハ横斑「プリマスロック」種、「ロードアイランドレッド」、白色「ワイヤンドット」種等飼養羽數ハ平均九百羽ニシテ過去五年間ニ三〇%ヲ増加セリ又飼養雌鶏中六〇%ハ若雌鶏ナリ養鶏場ノ大サハ平均一三「エーカー」其ノ價格ハ一「エーカー」當リ二〇〇弗トス養鶏場ノ資本ハ土地、建物、鶏、備品合セテ七、五〇〇弗ニシテ其ノ三五%ハ土地、二〇%ハ住宅、一八%ハ鶏、一四%ハ鶏舎、一三%ハ備品ナリ猶代表的養鶏農家十戸ニツキ養鶏收支ノ詳細ヲ報告ス

大英國及北部愛蘭

第九二號 一般農場ニ於ケル養鶏

「アベイストウキス」大學農業經濟部 A. W. Ashby

養鶏ノ利益ハ他ノ諸生産物ノ比較的下落ノタメ増加シ前途有望ノ副業ノ一ナリ養鶏羽數ハ歐洲大戰終了當時ヨリ六〇%又過去二十年間ニ於テ四〇%ノ増加ヲ示セリ專業養鶏業及專業的養鶏ハ其ノ數ヲ増シ且ツ重要性ヲ加ヘ來レルモ販賣鶏卵ノ七五乃至八〇%ハ副業養鶏農場ヨリ産出サレツツアリ養鶏ノ發達ハ地方ニヨリ著シキ差異ヲ示シ各州ニ依リ農場全收入ニ對スル養鶏收入ノ割合ニハ頗ル相違アリ而シテ一般農場ニ於ケル産卵鶏ニ對スル飼養費ノ要目ハ左ノ如シ

鶏維持費	七——一〇%
勞銀	一八——二三%
飼料費	五八——六八%
雜費	七——九%

計 九〇——一〇〇%

猶各費目ト利益トノ關係ヲ述ベ年一羽平均産卵數ニツキテハ普通農場ニ於テハ最低四〇箇、最高一二〇箇、平均八〇箇前後ナルモ特ニ養鶏ニ留意スルモノニアリテハ一六〇箇以上ニ達スト結論ス
第九三號 大英國ニ於ケル鶏卵、鶏ノ價格

「アベイストウキス」大學農業經濟部 A. W. Ashby

鶏卵ト食鶏價格モ他ノ諸物價同様ニ諸種條件ノ支配ヲ受クルモノナルガ鶏卵及食鶏ニ對シテハ市場

ニ於テ特別ノ事情アリ諸物價トノ比較價ハ近年其ノ生産者ニ有利ナル結果ヲ呈セリ之レ主トシテ生産物殊ニ鶏卵ノ需要増加ト飼料用穀物ノ比較的低廉ナリシニ歸因セリ猶輸入卵ノ供給狀況及一般鶏卵ノ季節的供給ノ如何モ亦卵價ニ多大ノ影響ヲ及ボスモノナリ又他方ニ於テ卵ノ需要ハ或程度マデ價格ニ支配サル、蓋シ鶏卵ノ需要供給及價格ニ關シ詳細ナル通報ハ卵ノ生産者ニトリテ極メテ有用ナルベシ、食鶏ノ需給及價格ニ關スル報告ハ現在不十分ナルモ此種取引關係ニツキ組織的ニ研究セバ養鶏者ニ裨益スル所多大ナル可シ

第九四號 北愛蘭ニ於ケル鶏卵ノ取引狀況

北愛蘭農務省 Sydney Smith (マルファスト)

一九〇〇年乃至一九二二年ノ間ニ於ケル愛蘭ノ鶏卵取引沿革ヲ略述シ強制検査規定ヲ採用スルニ至レル所以ヲ説明セリ北愛蘭ノ農家ハ七五%迄二〇「エーカー」以下ノ小經營ニシテ家禽ノ大部ハ此等小農ノ飼養スル所ナリ而シテ右鶏卵ノ強制的販賣及検査組織ハ他ノ大農經營ノ諸國ニハ其ノ例ヲ見ザル所ナリ猶右鶏卵取引ニ關スル規程ニツキ集卵、選別、包裝、輸送各種取扱業者ノ分擔事項竝ニ検査官ノ検査事項等ヲ詳説ス而シテ該事業ハ各關係者ノ支援ニ依リ今ヤ大ナル成功ヲ收メ次ノ如キ成績ヲ現ハセリ

	家 禽 數	家 禽、生 產 物 總 額
一 九 二 五 年	六、七三三、一二五	三、三三〇、〇〇〇
一 九 二 九 年	八、三〇九、一九一	三、五六九、〇〇〇

第九五號 蘇格蘭ニ於ケル鶏卵ノ生産ト其ノ取引狀況

蘇格蘭農務局 Alex. F. Smith

養鶏ハ有利ナル副業トシテ蘇格蘭ノ一般農民ニ歡迎セラレ過去二十年間ニ於ケル毎年ノ孵化數ヲ見ルニ約百五十萬羽(即三七%)ノ増加ヲ示セリ而シテ耕地一〇〇〇「エーカー」當リ家禽密度ノ最大ナル「オークネー」地方ニ於ケル鶏卵ノ輸出狀況ヲ説明シ「リース」地方ニ於ケル鶏卵ノ輸入狀況竝ニ鶏卵市價ノ變動ヲ敘述セリ猶蘇格蘭農務省ハ品質優良ナル國產卵ノ需要ヲ促進スル目的ヲ以テ國定商標計畫 (National Mark scheme) ニ依リ檢卵、格付、包裝ニ關スル規則ヲ制定シ任意ニ之ヲ施行シツツアルコトヲ説ケリ

第九六號 英國ニ於ケル輸入卵市場

「ゼームス、ギルランダーズ」商會(倫敦) E. W. Sutherland (ロンドン)

一九二九年ニ於ケル鶏卵ノ輸入ハ愛蘭自由國ヨリ約六億箇ヲ合シ約三十億箇ニシテ一九〇〇年ニ於

ケル愛蘭以外ノ各國ヨリノ輸入卵二十億箇ニ比シ約二〇%ノ増加ナリ而シテ戰後ニ於ケル各供給國ノ關係ヲ見ルニ「バルチック」各國ヨリノ輸入著シク減ジ和蘭及白國ヨリノ輸入著シク増加セリ、丁抹ハ依然大供給國ニシテ輸入總額ノ二二%ヲ占メ愛蘭自由國之ニ亞ギテ二〇%ニ達ス、南阿、濠洲ヨリモ季節的(十月ヨリ一月ニ至ル)輸入ヲ見ルニ到レリ又國產卵ト輸入卵ノ總數ヨリ推算スルニ人口一人當リ鶏卵ノ消費量ハ一九二四年ニ於ケル一〇箇ヨリ現今ノ一三五箇ニ増加セリ猶戰後輸入卵ノ品質ハ著シク向上シ輸出國ニ於ケル檢査規定一層普及セラレ包裝箱亦統一サレタリ、倫敦ハ大英國ニ於ケル最も重要ナル鶏卵ノ集散地ニシテ輸入卵ノ約五〇%ヲ取扱フ、倫敦及南部英國ニ於ケル輸入卵取引ノ大部ハ倫敦鶏卵取引所ノ規定ニヨリ取締調停ヲナシツツアリ會員ハ每週一回同所ニ會合ス

第九七號 英國ニ於ケル輸入食鶏市場

倫敦中央市場 A. S. Juniper (ロンドン)

家禽ハ英國ニ於テ比較的大量ニ生産サレツツアルモ全年ニ亘リ需要ヲ滿スコト能ハズ毎年約三二、〇〇〇噸ヲ輸入ス其ノ最大需要ハ十二月、一月ニシテ六〇%ニ當レリ主トシテ「クリスマス」及新年用ノ七面鳥ト鶩ノ類ナリ右三二、〇〇〇噸中二二、〇〇〇噸ハ愛蘭ヨリ其ノ他ハ露西亞、佛蘭西、東南歐洲、和蘭及伊太利ヨリ輸入サル、將來家禽ノ國內生産ハ増加スル傾向アリ殊ニ鶏ニ於テ然リト

第九八號 倫敦ニ於ケル鶏卵小賣ノ状態

A. I. Hunt

國産竝ニ輸入卵ヲ問ハズ鶏卵取扱ニ關シ取引ノ増進ヲ計ルタメノ良法ヲ指摘ス即チ鶏卵取引ニ於テ各關係者ノ共同的協力ヲ必要トスルコト、一般公衆ノ信望ヲ得ルタメ小賣業者竝ニ集荷中心地ニ於テナス可キ事項竝ニ格付等ニ關シ記述セリ

第九九號 國定商標計畫ニヨル家禽生産物ノ取引

農漁省 A. W. Street (ロンドン)

國定商標貼付計畫 (National Mark Scheme) ハ公定標準ニヨル格付ニ依リ各種農産物ノ取引ニ資セントスルモノニシテ鶏卵及食鶏ニアリテモ政府ヨリ任命セラレタル公認處理者ガ規則ニ準據シ格付荷造ヲ行ヒ國定商標ヲ附シ販賣サレツツアリ又國定商標鶏卵中央會ナル中央販賣機關ヲ設立シ之レガ販賣消費ノ獎勵宣傳ニ努メツツアルモ商人ノ競争、生産者ノ無理解等ノ障礙ヲ生ジ進展容易ナラズ將來鶏卵市場ノ統制ニ關スル中央機關ノ設立ヲ必要ト認ムル旨ヲ述ブ

第一〇〇號 各國ニ於ケル家禽及卵ノ生産竝ニ取引ノ統計的資料

羅馬 萬國農事協會

各國ニ於ケル家禽及卵ノ生産竝ニ取引ニ關スル最近ノ統計ヲ掲ゲ且ツ其ノ統計ノ不完全ナルコトヲ評論シ萬國協定シテ確實ナル統計調査ヲ行フノ必要ヲ論ゼリ

愛蘭自由國

第一〇一號 愛蘭自由國ニ於ケル鶏卵竝ニ鶏ノ取引狀況

愛蘭自由國農務省市場検査官 H. W. Stevens

愛蘭自由國ヨリ輸出スル鶏卵竝ニ食鶏ハ一九二五年ヨリ農産物取引規則ニ準據スルコトトナリ品質ハ著シク改善サレ爲ニ英國市場ノ需要ヲ増加スル結果トナレリ此ノ規則ノ主ナル條項ハ鶏卵輸出業者ノ登録、鶏卵ノ検査格付、包装及卵ニ附スル印章等ニ關スル事項ナリ猶鶏卵及食鶏ノ格付、包装ニ關シ萬國共通ノ標準ヲ規定スベシト指摘ス

伊太利

第一〇二號 伊太利ニ於ケル家禽竝ニ卵ノ取引狀況

「ミラン」 C. Faccincani (ミラン)

伊太利ハ一八八〇年頃ヨリ鶏卵ヲ輸出シ來リ歐洲ニ於ケル最初ノ輸出國ナラン戰時中ヲ除ケバ一九二五年迄卵、鶏ノ輸出ハ次第二増加シ往年ニ於テハ若生鶏ハ瑞西、獨逸、佛蘭西、白耳義、和蘭市場ニ夥シク輸出セラレ此等諸國ノ地方種ノ改良ニ貢獻セリ然ルニ一九二五年以降輸出減少シ却テ

「バルカン」諸國ヨリ輸入ヲ見ルニ到レルハ國內生産ノ増加以上ニ國內消費ノ急激ニ増加セル結果ナリ

第一〇三號 伊太利ノ冷蔵工業ト家禽及卵ノ取引トノ關係

「マラン」 R. Vallarini

伊太利ニ於テハ年約一億七千五百萬箇ノ卵ヲ冷蔵シ其ノ價格ハ九〇〇、〇〇〇磅ニ相當ス大部分ハ伊太利生産卵ニシテ其ノ三分ノ二ハ國內ニテ消費サレ三分ノ一ハ主トシテ獨逸、瑞西等へ輸出サレツツアリ

和 蘭

第一〇四號 和蘭ニ於ケル鶏卵取引ト其ノ取締

「ハンシデ」 B. H. Vos

和蘭ニ於ケル養鶏ハ過去三十年間ニ農業上重要ナル地位ヲ占ムルニ至リ卵ハ今ヤ重要ナル商品トシテ全農産物賣上ノ一割ヲ占ムルニ到レリ一九〇四年以來絶エズ輸出超過ニシテ輸出卵ノ三分ノ一以上ハ生産者ノ販賣組合ニ依テ取扱ハレ品質優良ナル鶏卵ヲ輸出スルタメアラユル手段ヲ講ゼリ而シテ鶏卵輸出入ニ對スル規定及検査ハ凡テ政府ノ統制スル所トナルベク更ニ一段ノ進歩ヲ達成シ得ベシ

葡 萄 牙

第一〇五號 葡萄牙ニ於ケル養鶏業ト其ノ可能性

Dom Manuel L. A. R. de Braganca

葡萄牙ニハ昔カラ「鶏ヲ飼フモノハ金持ニナレヌ」ト云フ諺ガアルガ今日養鶏ハ頗ル盛ニ鶏卵肉ノ利用亦甚大ニシテ將來益々重要ナル産業ノ一トナルコトハ言ヲ俟タザル所ナリ殊ニ氣候良好、勞銀低廉、飼料安價及大消費地ニ接近セルコト等斯業ノ進展ヲ期待セシムルモノ多シトス

南阿弗利加

第一〇六號 南阿聯邦ニ於ケル養鶏業ト生産物取引ニ就テ

南阿聯邦農務局農業經濟及市場部 C. H. Spaner

從來南阿聯邦ニ於ケル養鶏ハ幼稚ナル副業ニシテ戰前ハ卵、鶏共ニ多額ノ輸入ニヨリシガ後養鶏ハ急速ナル進歩ヲ遂ゲ一九二九年ヨリ輸入ハ跡ヲ斷チ逆ニ鶏卵、食鶏ノ輸出ヲ見ルニ到レリ聯邦政府ハ輸出鶏卵取締規則ヲ出シ不良品ノ輸出ヲ禁ジタルモ内地市場ニハ未ダ適用サレズ北米合衆國

第一〇七號 米國ニ於ケル鶏卵冷凍業ノ經濟的重要性

「ミネソタ」州「セントルイス」 A. D. Greenlee

米國ニ於ケル冷凍卵ノ消費ハ最近著シク増加セルガ本事業ノ有利ナル點ハ多産期ニ於テ無制限ニ冷凍シ得、貯藏中品質ノ變化スルコト無キコトニテ更ニ殻付卵ニ比シテ貯藏ニ對シ包裝ニ勞力材料費少ク冷蔵費亦低廉ニシテ之ガ運搬ニ對シテモ運賃勞力諸掛少ク製「パン」業者ニトリテモ不良卵ヲ生ゼサル點ニ於テ有利トスル所ナリ而シテ鶏卵ノ冷凍業ハ鶏卵消費ノ方法ニアラズシテ單ニ鶏卵分配ノ一法タルニ止マル從テ鶏卵冷凍法ノ經濟ハ將來冷凍卵ノ消費ヲ益々發達セシムルニ至ルベシ

第一〇八號 太平洋岸鶏卵生産者組合ノ販賣方策、配車、輸出

太平洋岸鶏卵生産者組合總支配人(紐育)E. W. Benjamin(ニューヨーク)

太平洋岸鶏卵生産者組合(P、E、P)ハ一九二二年ニ組織セラレテ以來産卵ニ好適ナル環境、包裝ノ統一、無精卵出荷等ノ根本的生產條件ノ具備ニヨリ著シク發達シ一千八百萬弗ノ事業トナルニ至レリ新鮮卵ノ荷箱ニ對スル青、赤、綠、黒ノ普通商標ノ外市場ノ特別ナル要求ニ應ズベク「プロテクトー」(油ヲ被セタルモノ)、「ライナーバック」(水分、炭酸瓦斯ヲ透サヌ紙ニテ包メルモノ)、「スカウツ」(噴砂ニテ淨拭セルモノ)等特別ノ商標ヲ加ヘ主トシテ紐育市場ニ出荷シツツアリ、而シテ右出荷ノ一部ハ紐育市場ノ競賣ニ付シ活潑ナル賣行ヲ維持シ得タルト同時ニ最低豫定價格ノ發表ニヨリP、E、P卵ノ眞價ヲ知ラシムルニ努メタリ、尙配車計畫ニ依リ三——六月ニ到ル四ヶ月間同組合ニヨリ販賣サルル鶏卵ハ約千五百貨車ニシテ之ニヨリ春季貯藏卵ノ價格ヲ安定セシメ得ルト同

時ニ需要者ハ時期ニ應ジテ一定規格ノ卵ヲ求ムルコトヲ得ルノ便アリP、E、Pハ組合員一萬五千人ヲ有シ各種商標ノ卵ハ既ニ十四ヶ國ニ輸出セラレタリ、右外國輸出ハ僅ニ三年間ニ發達ヲ見タルモノニシテ外國ニ於テ輸入卵ニ關シ問題トナレル事項ニツキ組合ニ於テ進デ解決セント努力セルニ依ルモノトス

第一〇九號 標準格付ニ依ル鶏卵ノ購買ニ就テ

「カンサス」州「マンハタン、ペリー、バックン」
「グ」會社支配人「カンサス」卵、鶏出荷組合幹事 A. F. Peine

合衆國ノ植民ハ大陸ヲ横斷シテ西ヘト絶エズ波動シタルモノニシテ先ヅ毛皮、皮革、牛肉、玉蜀黍、豚肉次イデ酪農、養鶏等順ヲ追ヒ過量生産ヲ來セルガ養鶏産物ノ商品化セルハ極メテ最近ノコトニ屬セリ而シテ西部ノ産卵ハ最初其ノ安價ナルタメニ賞讃ヲ得タルガ品質ノ改良サレシ今日ニ於テハ優良ナルガ爲ニ需要ヲ増加シツツアリ、格付等級ノ發達ニ依リ取引ヲ圓滑ナラシメ集卵配給方法ノ改善ニ依リ更ニ生産並ニ販賣ヲ完全セル經過ヲ記セリ

第一一〇號 紐育市卵、鶏ノ市況通報ニ於ケル仲介業ノ位置ト諸問題

「アーナー、バリー」會社副社長(紐育) C. A. Urner

紐育ニ於ケル鶏、卵市場ニテ仲介斡旋業者間ノ一般建値ニ公認格付標準ヲ用ヒザル爲ニ蒙ル不利不便頗ル大ナリ州法ニ依ル強制的格付法ニヨリテ卸賣相場建ヲ行ヒ更ニ小賣相場ニ於テモ同様ニ公認

格付法ニ據ルノ要アルヲ述ベタリ

第一一號 米國ニ於ケル家禽及卵ノ外國貿易

合衆國商務省貿易局 Margaret A. Wulfert

合衆國ニ於ケル養鶏生産物ノ對外貿易狀況ヲ述ベ對外貿易ノ促進ヲ圖ルタメ外國駐在官ト國內輸出業者ト共同シ外國市況ヲ生産者竝ニ取引業者ニ通報ス可ク組織的ノ連絡ヲ講ジツツアル狀況ヲ述ベタリ

第一一二號 養鶏生産物ニ對スル政府ノ市況通報竝ニ等級統一事業ノ發達ト範圍

農務省農業經濟局市場指導官 L. M. Davis and Rob R. Slocum

米國ニ於テハ農務省農業經濟局ガ家禽及鶏卵業ニ對シテノ市況通報及等級統一ニ關スル事務ヲ行フ其ノ主目的ハ生産物ノ需給狀態ヲ通報スルニ有リ、即各種關係事項ノ調査ハ毎日印刷二萬部以上ヲ配布スル外各種ノ報告印刷物、「ラデオ」等ヲ利用ス又市況通報事務連絡ノタメニハ一般農産物ト共同シ年額約四十萬弗ヲ投ジ電線一〇、六〇〇哩ヲ契約使用スル等多大ノ努力ヲナシツツアリ猶鶏卵、食鶏ノ格付及検査事業ハ料金ヲ徴シ一九二九年ニ於テハ約十四萬餘弗ニ上リ概ネ斯種經費ニ充當セラレツツアリ

第一一三號 中部加州ニ於ケル卵、飼料、家禽ノ共同組合業況

中部加州養鶏業者組合總支配人 J. Lawler

中部加州養鶏業者組合ハ卵鶏竝ニ飼料其ノ他ノ販賣購買ニ關スル公益法人ニシテ一九一六年設立、一九二四年來株式組織ニ改正シ、飼料、家禽、鶏卵等ノ各部門ニ分テ全區域ヲ分割シテ飼料工場、配給所、集卵包裝場ヲ設ケ太平洋岸地方鶏卵生産者組合ト連絡シテ極メテ有利ニ伸展シ一九二九年ノ此等取扱額ハ約二千二百萬弗ニシテ鶏卵ノ如キモ此種團體トシテハ他ニ類例ヲ見ザル取扱數量ナリ

第一一四號 鶏、卵出荷ニ對スル新聞雜誌類ニ依ル指導機能

合衆國鶏卵協會幹事(シカゴ) Paul Mandeville

廣義ニ於ケル新聞雜誌即チ「ポスター」其ノ他ノ各種印刷物、「ラデオ」、講演等ノ公衆指導機關ガ卵及鶏ノ商品化改善ニ及ボス所大ナルヲ解キ、更ニ同協會機關雜誌竝ニ各種關係事業ヲ紹介ス

「シカゴ」 C. J. Eldredge

第一一五號 市俄古商業取引所ノ使命ト其ノ事業

市俄古商業取引所ニ於ケル鶏卵、「バター」ノ取引方法竝ニ同所ノ維持、經營ノ方法ヲ説述シ鶏卵、「バター」ノ消費宣傳、生産經濟調査等ノ事業ヲモ説明シ此等生産品ニ對スル公正ナル市價ハ代表的取引所ニ於テ決定セララルベシト論ゼリ

第一一六號 丸雛ノ罐詰

「ミネソタ」州「オーステン」、「ホルメル」商會生産物係 E. J. Cashman
從來丸雛罐詰ハ品質不良ニシテ殆ンド問題トナラザリシガ品質ノ改善ト政府ノ材料現場検査トニ依
リ近時著シク商品價値ヲ加フルニ到レリ

第五部 教育及一般

ブルガリヤ

第一一七號 「ブルガリヤ」ニ於ケル養鶏竝ニ其ノ發達ニ對スル方策

「ソフィア」 G. S. Chlebaroff

「ブルガリヤ」ニ於ケル輸出農産物トシテハ煙草、穀類、卵及鶏ヲ主トシ一九二九年ニ於テハ卵及鶏
ハ全輸出品中ノ第二位ヲ占メタリ
一九二六年ニ於ケル鶏ノ總數九百十四萬羽人口千ニツキ千六百七十羽可耕地千「エトカー」ニツキ二
千三百八十五羽ニシテ一九二九年ニ於ケル鶏卵ノ輸出ハ千二百七十二萬廷、七億六千八百萬「レバ」
ニ達シ食鶏モ亦生産輸出共ニ増加ノ傾向ニアリ政府ガ一九二七年「ソフィア」ニ中央家禽研究所ヲ創
設セル以來同國養鶏ノ改良發達ハ顯著ナルモノアリ又民間養鶏諸團體ニ在リテモ夫々養鶏ノ發達ニ

貢獻シツツアリ猶中央家禽研究所ニテ改良蕃殖中ナル國産ノ二鶏種 (Black Schmenka, white Sewlew
Pa) ヲ紹介ス

加 奈 陀

第一一八號 七面鳥ノ等級査定登録

「アルバータ」州農務局養鶏課長 G. M. Cornie

加奈陀ニ於ケル七面鳥ノ品種竝ニ資質ノ改良ヲ目的トシテ等級査定登録ヲ行フニ至レリ右ハ主トシ
テ米國家禽標準ニ依リ體重、體型及品種ノ特徴等ニ付キ實地検査ノ結果七面鳥ヲA、B、C三階級
ニ分チテ登録シ大體ノ評價ヲ付ス而シテ該法實施ノ結果逐年R、O、M (Record of merit) 七面鳥ノ
増加ト共ニ其ノ資質ハ改良セラレ漸次他地方ニモ其ノ設立ヲ見ントシツツアリ

丁 抹

第一一九號 丁抹ニ於ケル鶏卵ノ生産及輸出

Harald Faber

丁抹ヨリノ鶏卵ノ輸出ハ一八六〇年代ニ始マリ一八九〇年代ニハ其ノ額三十五萬磅ニ達セリ其ノ後
英國ノ非難ニヨリ一時停滯ヲ來セルモ一八九五年丁抹鶏卵共同輸出組合設立セラレ凡テノ仲買人ヲ
廢シ生産者ヲ識別シ得ルヤウ卵ニ捺印ヲナシ品質ヲ保證スルヲ目的トセリ右ハ急速ニ輸出卵ノ品質

向上ヲ結果シ延テハ全輸出額ノ四分ノ三ヲ占メタル個人輸出業者ノ卵質ヲモ向上セシメタリ一八九五年ニ於ケル輸出一億二千萬箇ナリシモノ今ヤ八億四千萬圓ニ及ビ内四分ノ三ハ英國ニ輸出セラレ而シテ一年ノ産卵總數ハ十一億四千萬ト推計セラル卵ハ集卵セラレ五種以上ノ階級ニ選別セラレタル上檢卵セラレ千四百四十又ハ七百二十卵容リノ長形木箱中ニ詰メラルルヲ常トス輸出卵ノ約四分ノ一ハ春季生産ノモノヲ石灰水ニ貯藏シ秋冬季用ニ供セラル輸出業者ハ凡テ農務省ニヨリ公認セラレルヲ要シ輸出卵中新鮮卵ハ殻ニ(Danish)ナル赤色「マーク」ヲ標記スベク二等品ハ一切輸出ヲ禁止セラル卵ハ格付ニ從ヒ其ノ十打ノ重量ヲ箱ノ内外ニ明記シ且ツ發送ノ週番號ヲモ箱ノ内外ニ明記スルコトトス更ニ輸入卵ニ對シテモ其ノ出所ヲ卵殼及箱ニ明記スベシト定ム猶鶏卵検査官ハ貯藏倉庫、波止場、停車場等隨所ニ卵ヲ検査シ規定ニ違反スルモノアレバ罰金ニ處シ不良卵ハ之ヲ沒收ス

第一二〇號 丁抹ノ養鶏

政府養鶏顧問 W. A. Kock

亞細亞種ノ歐洲ニ輸入セラレシハ十九世紀ノ中葉ニシテ爾後丁抹ニモ養鶏熱ハ惹起セラレタリシモ其ノ發達ハ英國ニ負フ所多ク當時丁抹ノ園藝家及農家ニシテ英國ニ訪遊セシモノ歸國後養鶏ヲ試ミタルニ因ル然レドモ此種趣味ノ養鶏ハ其ノ後幾モナク衰退シ次デ「ボーリッシュ」佛蘭西種等輸入セ

ラレタルモ普及スルニ至ラズ後地中海品種ガ最モ同國ニ恰適スルコト認メラレ後丁抹鶏卵ノ生産増加ト卵ノ大サノ改良上重要ナルモノトナリタリ一八七五年ニハ伊太利ヨリ直接「レグホーン」種ノ輸入ヲ見次デ「プリマスロック」、「ワイヤンドット」、「ロードアイランドレッド」ヲモ輸入セリ就中「ロードアイランドレッド」種ハ「レグホーン」種ニ次デ多數飼養サル

一八八〇年代丁抹農業ノ困窮時代ニ際シ農家ハ其ノ收入ヲ増加スベク各種ノ業務ヲ試ミタル結果養鶏ハ收入ノ好資源ナルヲ見出セリ爾來特ニ小經營ノ農家ニ於テ養鶏ノ普及著シク現ニ小農家純收入ノ三分ノ一ハ養鶏ニ依リ得ラルル狀況ナリ

卵ノ生産ハ丁抹養鶏ノ主眼ニシテ其ノ人口ニ比シ輸出額ノ大ナルコト世界ニ冠タリ一八八八年ニ於テハ成鶏、雛合計四百五十萬羽ニ過ギザリシガ後連年増加シ一九二九年ニハ二千二百萬羽ニ及ベリ卵ノ輸出ハ其價額ニ於テ輸出農産物中ノ第三位ニアリ輸出ノ當初一八六五年ニハ僅ニ七十萬箇ニ過ギザリシモノ爾來漸増シ一九二九年ニ於テハ七億九千萬箇價額八千四百五十萬「クローネ」ニ及ベリ産卵増進ニ關シテハ一八七八年種禽家組合組織セラレ後幾多ノ變遷ヲ經テ一九一二年丁抹養鶏家聯盟ニ綜合セラレ種卵、種雛、種鶏ノ配布、能力檢定、品評會、養鶏經營競技會等ノ事業ヲ行ヒ養鶏發達ニ寄與スル所少ナカラズ

右ノ外農業上ノ團體、鶏卵輸出組合等モ養鶏ノ改善發達ニ努力シ政府モ各方面ノ獎勵施設、助成ヲ

ナスト同時ニ指導教育竝ニ試験研究機關ノ整備ニヨリ養鶏ノ改良發達ニ貢獻スル所頗ル大ナリトス

佛 蘭 西

第一二一號 佛蘭西ニ於ケル養禽教育

「セーヌ、エ、オアズ」縣農業部長 E. Blanchard

佛蘭西ニ於テハ青年婦人ニ對スル養禽教育ハ行ハルルモ未ダ所希ノ發達ヲ示サズ青年男子ニ對シテハ殆ド全ク其ノ施設ヲ見ズ由來佛國ニ於ケル養禽業ハ經濟上相當重要ナル位置ニアルヲ以テ其ノ進歩發達ニ一層ノ努力ヲ致スノ要アリ新式ニシテ更ニ普遍的ニ養禽教育ノ振興ヲ圖ルノ要大ナリト述ブ

第一二二號 養禽ト自然科學

佛蘭西農會家禽部長 Count Delamarre de Monchaux

自然科學研究者ト種鶏蕃殖ニ從事スル實地家トノ密接ナル提携研究ヲ希望シ養禽ニ對スル應用方面ニ於ケル自然科學ノ進歩ニ貢獻スベキ試験研究所陳列館等ノ増設ヲ切望スト述ブ

第一二三號 佛蘭西ニ於ケル七面鳥ノ飼育

G. Legendre

現今佛蘭西ニ飼育セラルル七面鳥ハ年内最多數ヲ示ス時季ニ於テ約百五十萬羽、最低二十萬羽餘ナリ而シテ育成法宜シキヲ得バ一ヶ月一疋乃至一・五疋ノ増體量ヲ示スベク七月—八月月ニシテ市場ノ要求ニ適スル體量ニ達シ出荷セラル猶同國ニ於ケル關係團體ハ七面鳥飼育ノ改良普及ニツキ努力シツツアリ

獨 逸

第一二四號 婦人ノ養鶏管理ニ於ケル習練ト農事ニ於ケル任務

Frau Von Treuenfels-Dannerow

獨逸ニ於ケル養鶏數ハ五千萬羽ニ近ク内四千七百萬羽ハ小農家ノ飼養スル所ニシテ主婦ノ管理ニ屬ス而シテ農家婦人ニ對スル養鶏ノ實地作業ニ關シテハ養鶏技術員ノ指導ニ待ツモ實例ヲ示ス意味ニ於テ農家ヲ指定シ優良ナル一群ノ實用鶏ト共ニ模範鶏舎ヲ配付シ家婦ヲシテ之ガ飼養管理ニ當ラシメ且ツ養鶏ニ關スル收支ヲ記帳セシメ時々實況検査ヲ行フコトトナシ成功ヲ收メタリ又婦人農事協會ハ市街地ニ販賣所ヲ設ケ新鮮卵、食鶏ヲ市民ニ供給シ良成績ヲ擧ゲツツアリ而シテ歐洲大陸各國ノ蓬著シツツアル農業ヲ有利ナラシムルコト及都市人ヲ歸農セシムルコトノ難問題ニ對シ農耕ニ養鶏ヲ結合スルハ其ノ解決ノ一助タルベク右養鶏ハ専ラ家婦ノ手ニ依リテ管理セラルベキナリト説ケ

大英國及北部愛蘭

第一二五號 産卵能力檢定實施上ノ二、三ノ問題

「ハーバー、アダムス」農科大學 C. Crowther

現今採用サレツツアル能力檢定方法ノ不完全ナル諸點ニツキ論ズ即チ産卵數及卵重量等ハ明確ニ決定シ得ルモ其ノ記録ヲ擬賞審査ノ基礎トシテ評點スルニ當リテハ各人ノ意見ニ依ルヲ以テ絶對ニ均等公平ナル判定ヲ期シ難シ併シ産卵格付方法ニツキテハ全國家禽評議員會ノ現行方法即チ檢定期間ヲ通ジニ「オンス」以上ヲ一等卵、一「オンス」八分ノ七マデヲ二等卵トスルヲ可トスベシ又評點方法ニツキテハ農務省法即チ評點ノ標準ニハ季節的變更ヲ行ヒ且ツ相當セル標準價格ヲ併記スルヲ可トスベシ又檢定群ノ成績ヲ比較スルニハ全群ノ生産卵ヲ以テセズ寧ロ部分的ニ即チ假ニ一群ノ羽數ヲ六羽トセバ其ノ最良ノ四羽乃至五羽ノ生産卵ヲ比較スルコトトシ豫備鶏ヲ用ヒザルヲ可トスベシト述ブ

第一二六號 産卵鶯ノ管理

「サセックス」、「ブラックランズ」 H. B. Carrington

鶯ヲ有利ニ産卵セシムルニハ最低ノ費用ヲ以テ最高ノ價格ニ賣却シ得ルヤウ産卵ヲ調節スルニアリソレニハ一健全ナル多産系鶯ヲ蕃殖スルコト二育成ニハ適當ナル飼ヒ方ヲナシ成長ニ頓挫ヲ來サシ

メザルコト三成鶯ヲ正シク管理シ成ルベク自然的生活ヲ許スコトヲ要ス又鶯ハ殆下例外ナク午前九時前ニ産卵シ且ツ連産期間ノ相當長キヲ特性トシ百卵以上ヲ連産スル場合稀ナラズ故ニ卵ノ高價ナル時季ニ連産セシムルヤウ調節スルコト必要ナリ猶「インデアン、ランナー」ヲ飼養セル試験ニテハ一羽平均一九六卵ヲ生産シ一羽當リ年ニ九志ノ純益ヲ擧ゲタリト述ブ

第一二七號 英國家禽改良ニ對スル能力檢定ノ影響

「ランカシャー」、「ニューチャーチ」 J. E. Helm

實用家禽俱樂部ハ三十四年前卵用種改良蕃殖獎勵ノ目的ヲ以テ設立サレ其ノ事業ノ一トシテ産卵競技會ヲ行ヘリ此ノ産卵競技會ハ爾後漸次發展ヲ見今ヤ官公設竝ニ私設ノ産卵檢定ハ各地ニ普及シ極メテ盛況ヲ呈スルニ至レリ全國家禽評議員會ニ於テハ一等級卵ノ生産一定數ニ達シタル鶏ノ登録ヲ行ヒ登録鶏ノ配合蕃殖所ノタメ系統蕃殖所ノ設立ヲ見タリ斯クシテ産卵檢定会ハ優良ナル多産鶏ノ改良蕃殖上多大ノ貢獻ヲ爲シツツアリ現時公認檢定会ニ於テ産卵檢定ヲ受クル鶏ハ年ニ七千羽以上ナリ又最近五年間五大檢定会ニ於テ檢定セラレタル十八鶏種三萬七千羽餘ノ平均産卵數ハ四十八週間ニ於テ一八三箇ナリト述ブ

第一二八號 英蘭及威爾斯國立養鶏研究所ノ業績及其ノ影響

國立養鶏研究所長(ニューボート) R. T. Parkhurst

國立養鶏研究所ハ教授、研究及指導ヲ行ヒ鶏、水禽及家兔ノ三部ニ分タル試験研究調査事項トシテハ養鶏經濟ニ關スル諸問題、養鶏混合飼料、産卵鶏ニ對スル動物質並ニ植物質蛋白ノ比較、舍内飼育ト「ヴィタミン」D 缺乏症ノ豫防、雛及産卵鶏ノ飼育法等ナリ

第一二九號 英蘭及威爾斯ニ於ケル養鶏教育並ニ研究

農漁省 H. E. Dale

現時ノ養鶏教育ト研究事業ハ事實上大戰後創始セラレタルモノニシテ教育ハ一般農業教育ト密接ナル協調ノ下ニ行ハレ研究モ亦農業ニ於ケル他方面ノ研究ト關聯シテ行ハレツツアリ猶養鶏ニ關スル教育及研究ガ右ノ趣旨ニ基キ實施セラレツツアル狀況ヲ詳述ス

第一三〇號 「インデアン、ランナー」鶯ノ起原ト沿革

「インヴァーネスシャー」、「ゴランフィールド」 Miss M. Chisholm

過去ニ於ケル本品種ニ關スル論争ノ梗概ト本品種ノ起原、沿革ニ就テ述ブ

第一三一號 北部愛蘭ニ於ケル養鶏ノ發達

北愛蘭農務省 John Getty

北部愛蘭ハ耕種、養畜混合農ニ適シ養鶏ハ其ノ重要ナル一部ヲナス一九〇〇年來農務省ハ諸種ノ方法ヲ講ジ養鶏ノ發達ニ努メタリ各縣少クトモ一人ノ技術員ヲ置キ而モ技能優レ地方ノ事情ニ精通セ

ルモノノミヲ採用スルコトセリ「アルスター」酪農學校ニテハ婦人養鶏技術員ノ養成ヲモ行フ優良

種卵供給ノ爲三五ヶ所ノ種卵場ヲ設ケ産卵檢定会モ開催セラル農事試験場ニ於テハ養鶏ニ關スル榮養、疾病ノ試験調査ヲモ行ヒ市場檢査官ハ英蘭ニ駐在シ養鶏及生産物市況ノ報告ヲナス斯クシテ今ヤ鶏數八百三十萬羽、卵及鶏ノ産額ハ農産ノ主位ニシテ三百四十一萬磅ヲ示スニ至レリ

第一三二號 蘇格蘭ニ於ケル養鶏教育

西蘇格蘭農科大學(グラスゴー) Miss A. Kinross

養鶏教育ハ蘇格蘭三農科大學ニ於ケル一部門ニシテ農務省ノ管理ニ屬ス其ノ中心ハ「キルマーノック」ノ養鶏學校ニシテ主トシテ婦人養鶏技術員ノ養成ニアリ之等技術員ハ其ノ擔任地方ノ要地ニ於テ養鶏ニ關スル講義ヲナス外養鶏家ヲ歴訪シ助言ヲ與フル等ノ事項ヲ述ブ

希臘

第一三三號 希臘ノ養鶏

全國家禽委員會幹事長 J. G. Antonides and D. G. Zografos

希臘ニ於ケル養鶏ノ起原、人口孵化法、「アリストートル」鳥學上ノ研究等ヲ述ブ而シテ一九二九年ニ於ケル家禽數ハ九百萬羽ニシテ卵及鶏ノ生産額三百萬磅ト評價セラルルモ卵用ニモ肉用ニモ傑出セルモノナシ然レドモ近時諸外國ヨリ新品種ヲ輸入シ人口孵化、合理的育成法ヲ行フモノ多キヲ加

（農務省ハ傳染病ノ研究竝ニ豫防法ニ努力シツツアリト述ブ

匈牙利

第一三四號 匈牙利ニ於ケル養鶏ノ現狀

「ブタベスト」 A. Keleman

從來匈牙利ニ於ケル農家婦人ニ依ル副業養鶏ハ主要ナル收入源ヲナシ今日モ農家婦人ノ間ニハ廣ク
簡單ナル養鶏ヲ營メリ然レドモ農業組織竝ニ經濟上ノ事情ニヨリ新式養鶏法ヲ採用スルコトハ困難
ニシテ猶優良ナル食鶏ノ生産ヲ主トセリ將來ハ卵ノ生産方面ニモ發達スベク諸外國ノ投資ニヨリ大
規模養鶏新興ノ餘地モ亦大ナリ

印度

第一三五號 熱帶地ニ於ケル鶏ノ飼養

印度聯邦政府養鶏技師 Mrs. A. K. Fawkes-Ansell

印度及東洋ニ於ケル土產鶏種ハ自ラ採食シ得ル餌食ニヨリテ生存スルモ改良種ニ在リテハ適當ナル
飼料ノ十分ナル給與ニ俟ツ穀類ニアリテハ歐洲地方ト異ナル印度地方特産ノモノヲ給スルモ動物蛋
白ハ土地ヨリ啄食スルニ委セ特ニ購入飼料ヲ與フルノ要ナシ綠餌モ亦最高温期ノ外ハ自然ノ供給十
分ナリ

愛蘭自由國

第一三六號 愛蘭自由國ニ於ケル養鶏指導竝ニ教育

農務省養鶏主任官 Miss Mary Hennerty

愛蘭自由國ニ於ケル養鶏ノ發達ハ著シク現時ノ飼養數二千五百萬羽以上ニ達ス同國ノ農家ハ大部分
小、中經營ニシテ養鶏ハ主トシテ之等農家ノ行フ所概ネ家婦ノ管理ニ屬ス小農家ニシテ子女ヲ都市
ノ學校ニ入學セシメ得ザルモノニ對シ當局ハ巡廻講師ヲ派遣ス養鶏講師ハ男女トモ農學校ニ於テ養
成セラル猶產卵競技會、疾病ノ豫防治療、共進會ニ於ケル養鶏陳列、印刷物配布、養鶏協會、「ラヂ
オ」等ニヨリ養鶏ノ發達ヲ獎勵シツツアリ

伊太利

第一三七號 國立種鶏場ノ地方設置ト其ノ成果

羅馬 農務省

伊太利農務省ニ於テハ最近三ケ年間ニ三十四ヶ所ニ地方種鶏場ヲ設置セリ右ハ各地ノ農學校、農科
大學、動物學研究所、科學研究所等ニ附設セラレ技術上ニ就キテハ「ロヴィゴ」國立養鶏試驗場ノ管理
ヲ受ク此地方種鶏場ハ養鶏ノ指導竝ニ多産鶏ノ配布ニヨリ養鶏ノ發達ヲ期セントスルモノニシテ一
九二九年度ニ於テハ白色「レグホーン」種卵三萬七千箇、雛七千羽、成鶏三千六百羽ヲ配布セリ

第一三八號 國粹黨全國農業者同盟ノ指導統轄ニヨル養鶏獎勵組織

「ボロニヤ」 A. Ghigi

全國「ファシスト」農業同盟ニテハ全國養鶏及養兔部ヲ新設シ地方農業同盟ニモ養鶏及養兔部アリ其ノ代表員ハ全國同盟ト連絡ヲ保チ斯業ノ進展ヲ圖リツツアリ

日本

第一三九號 日本鶏種

東京帝國大學農學部 衣川 雄 義

日本ニ於ケル養鶏ハ起原ヲ遠ク上古ニ發シ恐ラク大和民族ノ日本移住ト時ヲ等ジウスベシト稱セラレ而シテ日本ハ島國ニシテ往時世界各國トノ接觸稀ナリシヲ以テ日本鶏種ハ長ク純粹ニ保存セラレタリ明治維新前ニアリテハ佛教ノ影響ヲ受ケ卵肉ヲ食用ニ供スルコト極メテ少ナカリシヲ以テ鶏ハ主トシテ報晨、鬪鶏其ノ他愛翫用トシテ飼養セラルルニ止マレリ然ルニ明治維新後泰西風習ノ傳播ニヨル卵肉食用ノ増加ハ養鶏ノ眞價ヲ一般ニ認ムシムルニ至リ爾後數種ノ實用鶏種ノ育成ヲ見タリ、而シテ日本固有鶏種トシテハ長尾鶏(三種)、簗曳鶏(二種)、矮鶏(チャボ二十一種)、長鳴鶏(三種)軍鶏(シヤモ四種)、地鶏(二種)ノ六種類ヲ舉ゲ各種ニ獨特ナル特徴ヲ詳説シ更ニ近代ノ育成ニ係ル實用鶏種トシテハ名古屋、三河、熊本、出雲、土佐九斤ノ五種ヲ舉ゲ各種ノ特徴、能力ニツキ概要

ヲ説明セリ

和 蘭

第一四〇號 産卵鶏ノ更新年度ニ就テ

農業技師 J. G. Tulker

採卵鶏ノ更新ヲ初年度産卵終了時トスベキカ二年度産卵後トスベキカニ關シ統計調査ノ結果ヲ報告セリ、即チ白色「レグホーン」種百六十三羽ノ産卵成績ヲ見ルニ平均初年度産卵數二〇一・九個、次年度一五二・〇個ニシテ其ノ中初年度平均二〇一個以上ノモノニアリテハ、次年度ニ於テ平均五八・一個ヲ減少シ、初年度二〇〇個以下ノモノニアリテハ次年度ニ於テ平均三五・二個ノ減少ヲ示セリ、斯クテ二年鶏ヲ飼養スル場合、一流養鶏家ハ二流養鶏家ヨリ多クノ産卵減少ヲ期待セザルベカラズト述ブ

第一四一號 和蘭農業者ニ對スル養鶏教育

J. S. Keyser

養鶏經營ヲ有利ナラシムルニハ斯業ニ對スル農家ノ實地教育ヲ以テ一要項トナス、即チ(一)技術者ニ依ル講習、(二)政府指導部ノ役員ノ講演並ニ農家視察、(三)技術官ノ定期的養鶏場臨檢、ニ依リ實地指導ヲ行フ、而シテ今後特ニ農村ノ婦女子ノ教育ニ努力スルノ要ヲ認ム

波 蘭

第一四二號 波蘭ニ於ケル養鶏獎勵

中央養鶏委員會長 M. Trybulski

波蘭國ニ於ケル養鶏獎勵ハ、専ラ農務省ノ管理下ニアル「ワルサウ」中央養鶏委員會ノ掌理スル所ニシテ同國鶏種竝ニ生産物ノ改良ニ對シ各種組合及養鶏家ノ實施シツツアル事業ヲ統制スルヲ主要目的トナシ(一)輸出養鶏産物ノ標準化、(二)卵用種ノ改良、(三)養鶏試驗場、(四)特種學校、講習、講話、放送等ニ依ル養鶏ノ宣傳、(五)産卵競技會其ノ他ニ依リ其ノ目的ノ達成ニ努力ス

瑞 西

第一四三號 瑞西ニ於ケル外貌ニヨル實用鶏審査法

瑞西養鶏協會審査標準部長 J. H. Heusser

瑞西ニ於ケル實用鶏新審査標準ハ、品種ノ定型の特徴ノ外ニ所謂經濟的の特徴ヲモ考慮スルヲ以テ現今諸外國ニ採用サルル標準ニ一新例ヲ拓クモノナリ、該審査標準ノ内容ニハ純粹種トシテノ特徴竝ニ實用鶏(成熟種鶏ニツキ)トシテノ輕濟的の特徴ヲ包含セシムベク努力セリ、本審査法ハ品種ノ保持ト固定ヲ保證スルト同時ニ諸外國ニ採用サルル純粹種標準ノ要求及純粹種形質ニ關スル詳細ナル審査上ノ要求ヲモ滿シ、且微細ナル點ヲモ看過セザルヲ特徴トス、而シテ該標準ニヨル審査ハ次ノ如キ評點ニヨリテ行ハル

品種ノ特徴(四〇點)

- 一、定型的外貌——外觀、大サ、均衡及姿勢、羽裝、冠形、眼色、耳朵、脚、嘴色……二〇點
- 二、羽裝——外部羽毛(一〇)、内部羽毛(一〇)……二〇點

實用種トシテノ特徴(六〇點)

- 三、體重……一五
- 四、頭部——頭形、組織、顏付……二〇
- 五、生産鶏トシテノ體構——體軀ノ重厚、背部、胸部、胸骨、臀部、體ノ周圍……一五
- 六、産卵鶏ニ特有ナル特徴——骨格、爪、皮膚、脚ノ上部竝ニ下部、羽裝……一〇

計

一〇〇

上記特徴ニツキ評點ヲ付スル標準ハ次ノ如シ

優秀 (Excellent)	一〇點	一五點	二〇點	滿點ヲ付ス
優 (Very good)	九	一四——一三	一九——一八	
良 (Good)	八	一一	一七——一六	
可 (Satisfactory)	七	一一——一〇	一五——一四	

不可 (Deficient) 六 一九 一二 一六
猶擬賞ト得點トノ關係ハ次ノ如ク定ム

- 七一——八〇點 佳 (Satisfactory) 三等賞
- 八一——八五點 良 (Good) 二等賞
- 八六——九〇點 優 (Very good) 一等賞
- 九一——一〇〇點 優秀 (Excellent) 名譽賞

第一四四號 瑞西ニ於ケル養鶏

瑞西養鶏家組合長 Karl Klieb

現時瑞西ニ於ケル鶏飼育戸數ハ二十九萬戸、飼育實用鶏四百二十萬羽、一平方籽當リ百四十五羽ナリ未ダ專業養鶏家稀ニ卵ハ國內消費ヲ滿タス能ハズ年二億箇ヲ輸入シ輸入卵ニハ捺印區別ス、普通小農家養鶏ノ平均産卵數ハ一羽年九〇——一〇〇箇、種鶏業者ノソレハ百三十六卵トス、一九二九年卵肉販賣組合組織サレタリ、飼養品種ハ愛翫種ヲ除キ「レグホーン」、褐色「イタリアン」、*「ラインランダー」*、「ワイヤンドット」、「スキス」、「ロードアイランド」、「オービントン」、「プリマスロック」及「ファブロール」ノ九種ナリ、瑞西ニハ特定ノ養鶏教育機關ハ存セザルモ最近新事業トシテ火災、盜難、野獸、事故、斃死、疾病等ニ對シ養鶏保險實施セラレツツアリ

北米合衆國

第一四五號 養鶏實地指導事業ノ組織

農務省畜産局養鶏指導官 H. L. Shrader

北米合衆國ニ於ケル養鶏實地指導事業ハ四十八州ヲ通ジテ行ハレ三千六百八十二名ノ地方農業技術員ハ其ノ八・一%ノ時ヲ該事務ニ費シ七十三名ノ州養鶏技師ハ専ラ本事業ニ従事シ、更ニ多數ノ有志是ヲ援助セリ而シテ右關係技術官ハ農科大學ヲ離レテ生活シ且ツ指導講演シツツアルモ大學ノ一員ト見做サル地方農業技術員ハ其ノ時ノ大部分ヲ成績ノ説明及農家訪問ニ當テ州養鶏技師ハ同ジク經營法及成績ノ説明竝ニ各種ノ會合等ニ費ス、實地指導ニハ講習、講演、印刷物配布及幻燈、活動寫眞、展覽會等ノ實示指導ヲ併用ス

養鶏實地指導事業ニ關スル計畫ハ豫メ作成セラルルハ勿論ニシテ地方養鶏ノ情勢、各種問題ニ對スル解決、改良法採用ニ關スル方法、指導實施日程表等ヲ含ムモノトス

第一四六號 農家婦人ハ養鶏ニ就テ何ヲ爲セシヤ又爲シ得ルヤ

養鶏記者(「ミゾリ」州「ナブトマン」) Mrs. Geo. B. Simmons

養鶏發達ノ大事業ヲ補助シタル農家婦人ノ各方面ノ功績ヲ説明シ、合衆國市場ニ現ハルル養鶏産物ノ過半ハ實ニ農家婦人ノ努力ニヨリ生産セラレツツアルコトヲ述ブ

第一四七號 「バッテリー」育雛ニ於ケル管理及榮養

「アイオワ」州「エームス」 H. A. Bittenbender

棚箱式育雛成功ノ主ナル要素ハ(一)温度、湿度及換氣(二)脚弱及共喰ヲ起サシメザル管理法(三)飼料中「ビタミン」、無機物ノ正シキ平衡ヲ保ツコトナリ

初生雛ハ湿度充分ナラバ八十八度ニテ最モ良ク成長スルモノニシテ湿度ハ少クトモ六〇%ナルヲ要ス、孵化ヨリ三週マデハ右同様ノ室温ニ保チ三——六週ハ七八——八〇度トスベク六週以後ハ七〇——七五ニ低下セシメテ支障ナシ、脚弱ハ給餌時間ヲ制限スルコトニ依リ防止サレ一日ニ一〇——一二時間ノ休養ヲ與フベシ、雛ノ正常ナル發育ヨハ「ビタミン」Aヲ黄色玉蜀黍ヲ以テ、Dヲ肝油ニテ給シ且ツ炭酸「カルシウム」及磷酸「カルシウム」ノ分量ヲ給與スルコト肝要ナリ、羽毛ノ發生不良ナルモノアルハ遺傳、湿度ノ低キニ過グルコト、過度ノ密飼、温度ノ過高等ニ起因スルガ如シ

第六部 家 兔

白 耳 義

第一四八號 白耳義ニ於ケル養兔改良及生産物ノ共同販賣

家兔生産物中央販賣所長(「ラ、ルーヴリエール」) H. M. Timanne

白耳義ノ養兔ハ古ケレド元ハ自家用トシテ肉ヲ目的トシ毛皮ハ顧ミラレザリキ然ルニ現在ニテハ養兔業關係者ノ多數團體ト權威者ヨリ成ル指導機關竝ニ農務省ノ後援、家禽協會聯合會ノ保護トニヨリ養兔業ハ著シキ發達ヲ遂ゲ品質優良ナル肉及毛皮ノ生産ヲ獎勵シツツアリ又家兔生産物中央共同販賣所ノ設置ヲ見「ブルツセル」ニ於ケル其ノ倉庫ニハ約四百ノ養兔組合ノ生産ニカカル毛皮ガ集中セラレ毎月格付販賣行ハレ幾百萬法ノ賣上金ヨリ諸經費トシテ其ノ五%ヲ差引キタル全額ハ直接生産者ニ仕拂ハル斯クシテ無用且ツ多勢ナリシ仲介商人ハ其ノ影ヲ消シ販賣ハ生産者ニトリテ極メテ有利トナレリ猶經濟的、實用的ニシテ而モ衛生的ナル飼育箱ノ懸賞考案募集、優良種兔ノ供給、輸出向兔肉ノ生産指導等モ行ハレ兔肉ハ英國ニ向ケ特ニ多量ニ輸出セラル

大英國及北部愛蘭

第一四九號 家兔毛皮ノ生産ト取引

毛皮共同販賣會社支配人(「サッフオーク」) W. Brunwell

歐洲大戰ニ際シ英政府ハ養兔ニヨリ食糧ノ速カナル生産ヲ可能ナラシムルタメ肉用兔ノ蕃殖ヲ獎勵セル結果戰後モ兔ノ飼育ハ趣味ト實益ノタメニ續ケラレタリ而シテ兔毛皮ノ自然ノ美シサガ染色セル毛皮ヨリ優レ毛皮取引ノ有望ナルヲ洞察セル先覺者ノ努力ト當局ノ保護獎勵トニヨリ一九二一年

毛皮共同販賣會社創設セラレ優良兎ノ蕃殖、安價飼料ノ利用、蕃殖育成法ニ關スル經驗、屠殺剥皮、市場向毛皮ノ整備ニ關スル熟練等ニヨリ成功ヲ收メタリ國立家禽研究所ニ於テ中型兎ヲ八ヶ月半マデ育ツルニ要スル飼料費ヲ一頭三志十片四分ノ一ト計上セルガ適當ナル飼料配合ニヨリ右ノ飼料費ヲ更ニ一志ハ減額シ得ベシトノ研究モアリ農家ニシテ劣等綠餌ヲ利用シ得ル場合ハ更ニ一層低カラシムルヲ得ン現在ハ毛皮ノ價格甚シク下落セルモ飼料ヲ安價ニ利用シ得バ小農家ニトリテ養兎ハ相當利益アル副業ノ一ナルベシ

第一五〇號 家兎ノ成長ニ及ボス諸事情

國立養鶏研究所家兎專攻員(ニューボート) W. King Wilson

家兎ノ成長ハ遺傳ト管理トニヨリ支配セラル、「ハバナ」種及「アンゴラ」種ノ平均生長曲線ハ生後百四十日マデ速カナル生育ヲ示シ特ニ六〇——八〇日間ニ於テ著シ爾後二百六十日マデ引續キ増量ヲ示スモ其ノ度緩漫ナリ體量増加ノ顯著ナル時期ニ食物ヲ良好ナラシムレバ成長ハ一層著シクナルモ其時期以後ニテハ容易ナラズ

産仔數ノ大小ハ成長率ニ影響スレドモ飼料充分ナレバ終局ノ成長ニハ大ナル影響ナシ、季節モ成長ニ影響シ通常ノ蕃殖育成期ガ成長ヲ速カナラシムルニ適シ晩夏ト初秋トハ適當ナラズ雌雄ノ性モ平均體量ト關係アリ雌ノ方ガ雄ヨリ概シテ稍重ク偏差大ナリ、飼箱ノ大サ各群ノ頭數モ成長ニ關スル

重要ノ事項ナリトス

第一五一號 家兎ニ於ケル受精力ノ調節

「ケンブリッジ」大學農學部 J. Hammond

家兎ノ卵子ハ交尾後ニノミ排出セラル、交尾ヲ行ハザレバ數週間發情状態ヲ持續ス、受精力無キ雄兎トノ交尾ニヨリテ生ジタル偽妊娠ハ一六——二〇日間ノ不妊期ヲ經過スルモノニシテ其ノ後再ビ妊娠可能トナル、受精力ハ次ノ三期ニ於テ調節セラル、(一)發情毎ニ成熟スル卵子ノ多少ハ主トシテ系統ニヨルモノニシテ血液中ノ特殊ナル物質ガ卵子ヲ成熟セシム、此物質ハ身體ノ成長及泌乳ニモ利用サルル故成長中或ハ哺乳中ハ受精力ガ抑制セラル猶排卵數ハ腦下垂體ノ注射ニヨリ大ニ増加セシムルヲ得(二)受精卵ノ數ハ交尾後數時間内ニ輸卵管ニ到達スル精絲ノ數ニヨリ定マル、人工授精實施ノ方法ニヨリ生來多産ナル雌兎ニテモ産仔數ヲ少ナカラシムルヲ得、産仔數少ケレバ各仔ハ出産時ニ於テ正常仔ノ二倍量アリ、人工授精ヲ行フニ精絲ノ蓄藏適良ナレバ採取後七日マデハ産仔ヲ得ベク、從テ精絲ノ郵送授精可能ナリ、(三)胎兒ハ屢々分娩ニ至ラズシテ死籠ルコトアリ、此ハ遺傳性ニシテ胎兒ノ六〇%マデ死籠トナル寡産系統ヲ分離シ之ヲ排卵數少キ他ノ寡産系統ト交配スルニ第一代ハ多産トナレリ

第一五二號 「アンゴラ」毛ノ成長

「ケント」州「シテングボーン」、「ストックベリ」養兔場 G. K. Chambers

「アンゴラ」被毛ノ種類、成長度、羊毛法ト剪毛法トニヨリ被毛ノ生産ニ如何ナル差異ヲ生ズルヤ、短被毛ト「アンゴラ」被毛トノ比較、不整ナル毛ノ生長障礙ノ原因、ソレラガ生産ニ及ボス影響生長障礙ヲ除クベキ最良ノ方法等ヲ述ブ

第一五三號 「アンゴラ」毛生産ノ過去及現在

J. B. Mc. Dougall

二十世紀初期ノ「アンゴラ」毛ノ生産業ニ就テハ知ラルル處些シ、歐洲大戰後「アンゴラ」毛ノ需要急速且ツ大量ニ興リ「アンゴラ」飼育場ノ増加ヲ來シ最良級ノ毛ハ一封度四十志ニ達セリ然ルニ間モナク生産過剩トナリ紡績業者ハ品質ヲ嚴選シ價格ハ從前ノ如ク高價ヲ呼バズ、一九二八年ニハ「アンゴラ」毛ノ需要甚ダ少ク「アンゴラ」飼育場ハ大缺損ニ陥リタリ、現在ニテハ最良品ト雖モ一封度二十五志ニ過ギズ養兔業者ハ自家ニテ織物トシテ販賣セルモノ多シ、將來「アンゴラ」毛需要ノ復活スルコトアリトモ養兔家ハ過去十年間ニ經過セシ教訓ヲ心セザルベカラズ

第一五四號 家兔ニ於ケル二三ノ疾病

家畜病理專攻者 H. Gray

家兔ノ主要ナル疾病即チ「コクシデウム」症、鼻加答兒、壞疽病、肛門病、結核病等ヲ論ジ、病因ト

豫防法トヲ説キ恐ルベキ傳染病竝ニ寄生蟲ノ大部分ハ嚴重ナル衛生ト清潔トニヨリ豫防シ得ト述ブ
第一五五號 英國養兔業ノ發達

全國養兔評議員會名譽幹事 J. N. Pickard

英國ノ養兔ガ經濟的基礎ノ下ニ行ハルルニ至リシハ兔肉ノ生産ヲ目的トシテ飼育獎勵セラレタル歐洲大戰ノ頃ニ始マル、當時一般ニ飼育サレシハ「フレミッシュチャイアント」及「ベルデアン」ナリシガ、其ノ後小型ノ方有利ナルヲ知リテヨリハ「チンチラ」、「ビバレン」ノ如キ新種ガ大陸ヨリ輸入サレ其ノ毛皮ノ價值ヲ認メラレタリ之レ現在頗ル重要トナレル英國兔毛皮業ノ起原ナリ、新品種ハ交配法ニヨリ作出セラレ既存ノ品質モ亦著シク改良セラレ今ヤ珍奇ナル毛皮獸ト殆ド識別シ難キ色澤ヲ有スル毛皮ヲ生産スルニ至レリ「アンゴラ」毛ハ一九二二年ヨリ重要視セラレ一九二七年最高價ニ達セルモ一九二八——二九年ニハ商況ハ甚シク不振トナレリ但シ將來ハ有望ナルベシ愛玩用即チ共進會用トシテノ養兔モ品質ノ平均標準ヲ向上セシムルニ重要ニシテ養兔協會ノ事業與ツテ力アリ、近時全國家兔登錄協會及全國養兔評議員會ノ創立ハ養兔業將來ノ隆盛ニ對シ甚大ナル效果ヲ期待セシム

第一五六號 家兔ノ妊娠期間竝ニ産仔數ニ及ボス諸條件ニ關スル豫備研究

J. N. Pickard

妊娠期間ハ調査セル五百八十二産ノ平均三一・四日ニシテ中四百二十二産ハ受胎ヨリ三十一日目又ハ三十二日目ニ分娩セリ又妊娠期間ハ重大種ノ方ヤ長ク、一腹ノ産仔數大ナルハ其小ナルモノヨリ短シ

産仔數ハ地方ニヨリテ可ナリ差異ヲ示シ南方ハ明カニ多産ナリ、又春ヨリ夏(三月——八月)ニハ多産性強ク現ハル、大型種ハ産仔多ク小型種ハ少シ産次ヨリ見ルニ初産ヨリ第二産ハ多ク其ノ後順次ニ減少ス

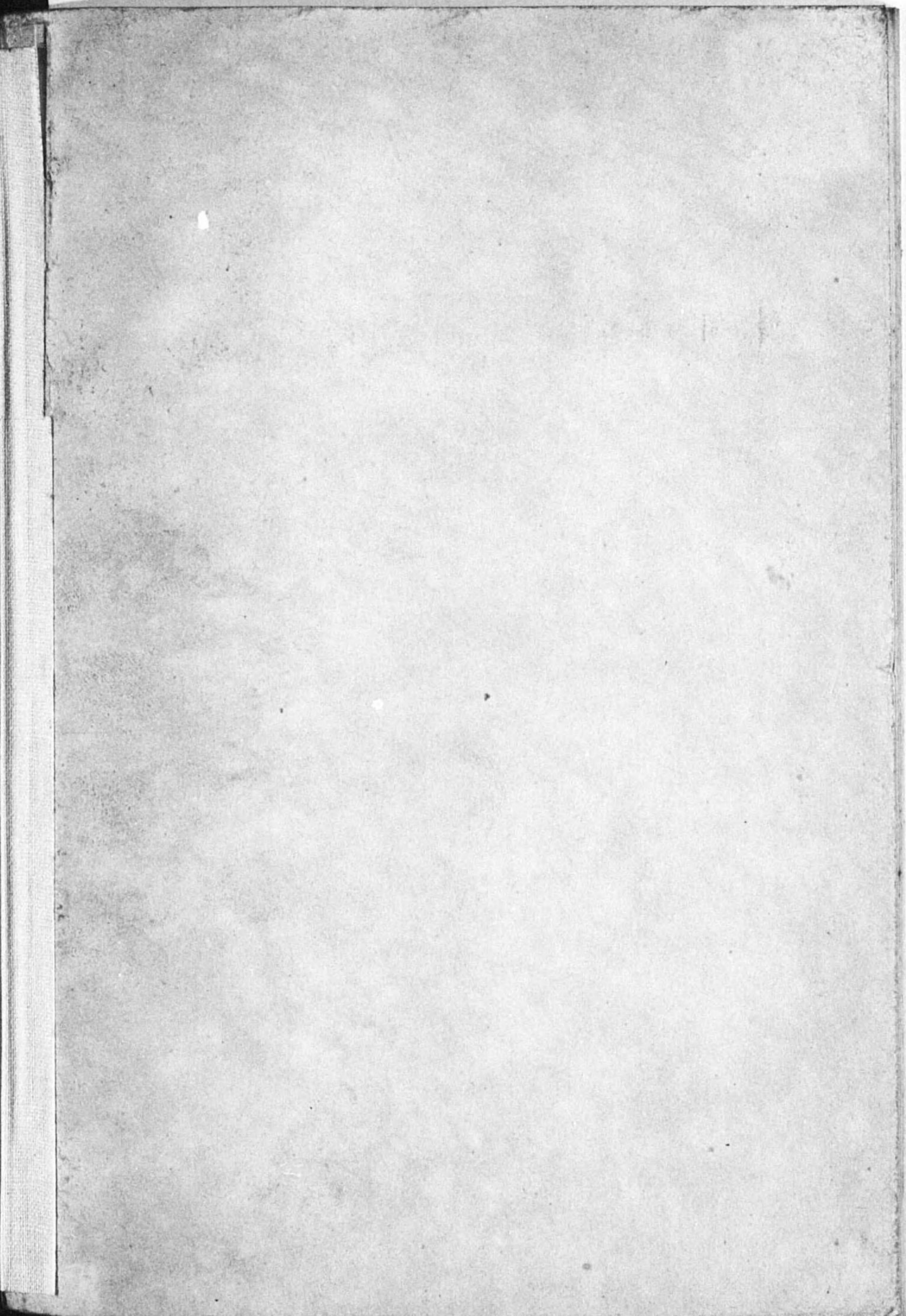
第一正種 養育費、...

昭和六年六月二十二日印刷
昭和六年六月二十四日發行

農林省畜産局

東京市京橋區横町二丁目五番地八
印刷人 小 張 才 三 郎
東京市京橋區横町二丁目五番地八
印刷所 小 張 印 刷 所
電話京橋(56)二二二二番

145
187



終